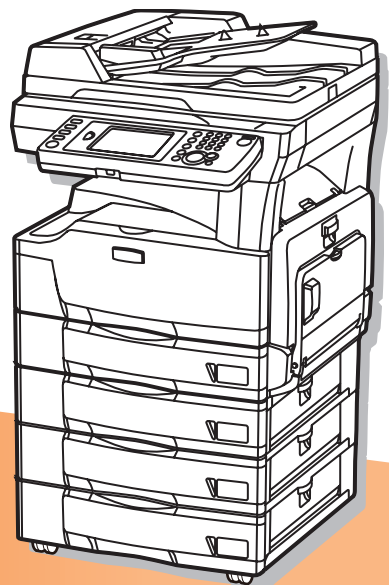




MFX-2870

取扱説明書 機器設定・管理編



第 1 章 機器を設定する

1

第 2 章 管理設定をする

2

第 3 章 メンテナンスについて

3

第 4 章 困ったときには

4

第 5 章 主な仕様

5

第 6 章 商標および著作権について

6

目次

本書のみかた	v
表示について	v
キーの表記について	vi
画面について	vi
操作手順について	vii
ご使用時にお守りいただきたいこと	viii
機器の設置場所について	viii
日常のメンテナンスについて	ix
換気について	ix
消耗品の取り扱いについて	x
製品のリサイクルについて	xi
取扱説明書の保管について	xii

第 1 章 機器を設定する

文字を入力する	1-2
文字入力画面について	1-2
文字入力について	1-4
漢字・ひらがなを入力する	1-5
英数字を入力する	1-7
カタカナを入力する	1-8
記号を入力する	1-9
数字を入力する	1-10
空白（スペース）を入力する	1-10
ドメイン名を入力する	1-11
文字を削除する・挿入する	1-12
優先応用機能を変更する	1-13
My MFP 画面ショートカットを変更する	1-16
ジョブメモリーを使用する	1-19
ジョブメモリーを登録する・変更する	1-19
ジョブメモリーを削除する	1-23
ジョブメモリーリストをプリントする	1-24
ジョブメモリーを実行する	1-25
機器情報を確認する	1-26
各種登録一覧	1-28
用紙に関する設定をする	1-30
プリントするカセットを設定する	1-30
用紙・仕分け設定一覧	1-32
初期値を設定する	1-34
初期値の設定例	1-34
初期値設定一覧	1-35
スマート節電を設定する	1-39

リストをプリントする	1-43
プリントのしかた	1-43
リスト一覧	1-45
個人設定を使用する	1-46
個人設定をする	1-46
個人設定一覧	1-48
個人画面・共有画面を切り替える	1-49
ログインする・ログアウトする	1-50
ログインする	1-50
ログアウトする	1-51

第 2 章 管理設定をする

機器管理設定一覧	2-2
セキュリティコードを設定する	2-4
管理者パスワードを設定する	2-4
プロテクトコードを設定する	2-6
設定や操作を制限する（機能プロテクト設定）	2-8
機能プロテクトを設定する	2-9
機能プロテクトを使う	2-10
モード禁止設定をする	2-12
ユーザー使用状況を管理する	2-14
通貨単位を設定する	2-14
料金を設定する	2-16
ユーザー使用状況管理リストをプリントする	2-17
集計データを消去する	2-18
ネットワーク設定をする	2-19
TCP/IP 設定をする	2-22
LDAP サーバーを登録する	2-30
ユーザー認証方法を設定する	2-37
アーカイブ設定をする	2-39
メールゲートウェイを設定する	2-43
機器設定をコピーする	2-45
機器設定コピーの方法	2-45
USB メモリーを使ってインポート・エクスポートする	2-47
ネットワーク経由で直接コピーする	2-52
自動ログアウト時間を設定する	2-54
拡張機能をアクティベートする	2-55

第3章 メンテナンスについて

トナー・ドラムカートリッジを交換する.....	3-2
ドラム、トナーカートリッジについて	3-2
トナーカートリッジを交換する	3-3
ドラムカートリッジを交換する	3-5
済スタンプを交換する	3-9
清掃する.....	3-10
機械の外側を清掃する	3-10
タッチパネルを清掃する	3-10
読み取り部を清掃する	3-11
記録部を清掃する.....	3-14

第4章 困ったときには

エラーメッセージが表示されたときは	4-2
通信エラーについて.....	4-2
画面に表示されるエラーメッセージ	4-3
困ったときには.....	4-6
画質が悪い.....	4-6
ネットワークに接続できない.....	4-9
停電のときは.....	4-10
本体の動作.....	4-10
メモリーバックアップ	4-10
消去通知	4-11

第5章 主な仕様

主な仕様.....	5-2
主な仕様	5-2
外形寸法	5-9

第6章 商標および著作権について

商標および著作権などについて	6-2
登録商標および商標について.....	6-2
オープンソースライセンスについて.....	6-2
環境対応などについて	6-21

本書のみかた

表示について

本書では、表示内容を無視して誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠ 警告 取り扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う可能性のある警告事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの警告事項をお守りください。

⚠ 注意 取り扱いを誤った場合に、傷害を負う可能性または物的損害が発生する恐れがある注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。

！お願い 誤った操作によるトラブルを防ぐために、必ず守っていただきたい重要事項や制限事項が書かれています。

📄補足 操作の参考情報や補足説明が書かれています。

本製品の故障、誤動作、不具合あるいは停電などの外部要因によって、通信、記録などの機会を逸したために生じた損害などの純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

キーの表記について

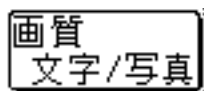
本書では、操作するキーを以下のように表しています。
〈 〉 内には操作パネル上のキー名称が、[] 内にはタッチパネル上のボタン名称が示されています。

■ 操作パネル上のキー



→ 〈通信確認▶ファクス中止〉 のように 〈 〉 で囲んでいます。

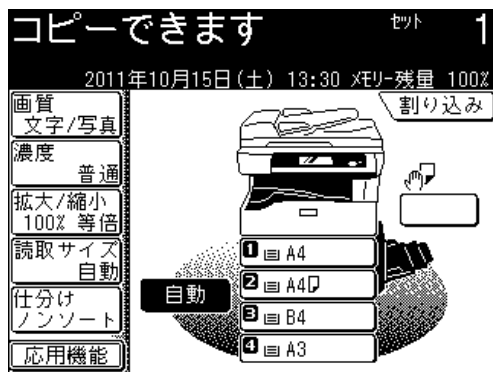
■ タッチパネル上のボタン



→ [画質] のように [] で囲んでいます。

画面について

本書では、特に断りがない限り 4 段タイプの画面を使用しています。オプションの装着によっては、画面が異なる場合があります。



操作手順について

操作中の説明では、[前へ]、[次へ] など次の画面を表示する手順を省いています。お使用のタイプやオプションの装着によっては、記載されたメニューが見当たらないことがあります。

たとえば、以下のように手順を説明しています。

1 [応用機能] を押します。

2 [小冊子] を押します。



実際には、[前へ]、[次へ]、[▲]、[▼]、などを押して、次の画面にメニューがあるか確認してください。

1 [応用機能] を押します。

2 [次へ] を押します。



3 [小冊子] を押します。



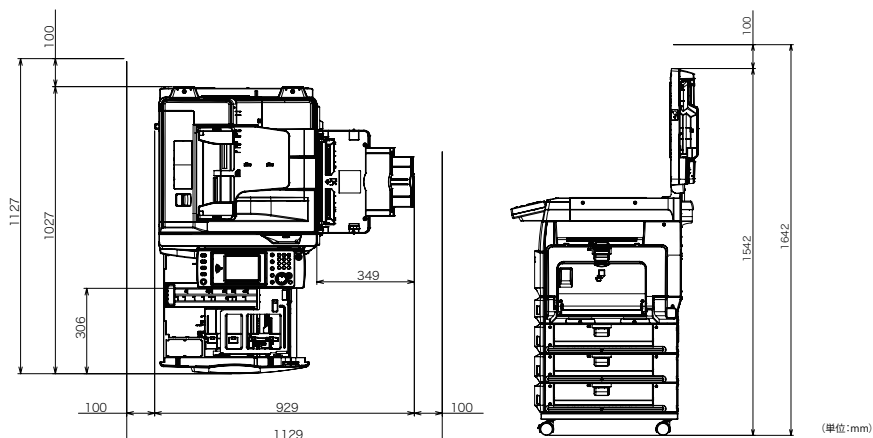
ご使用時にお守りいただきたいこと

安全にご使用いただくために、本製品に同梱されている『安全にご使用いただくために』も必ずお読みください。

機器の設置場所について

⚠注意

- 本製品の左側面にある通風孔を壁やほかの機器などから10cm以上離してください。
- 製品の操作に十分なスペースを確保してください。
- 温度差の激しい場所に設置しないでください。温度10～32℃、湿度20～80%RHの環境でお使いください。
- 屋外での設置や使用はしないでください。

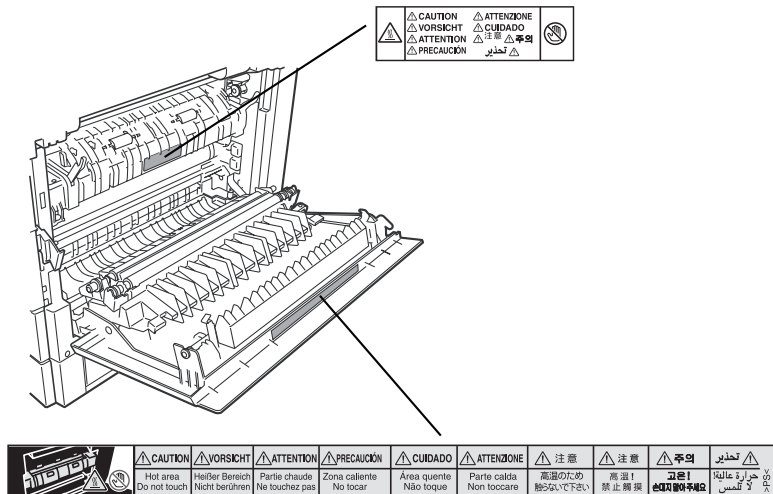


本図は4段タイプです。

日常のメンテナンスについて

⚠注意

- 機器内部の定着器周辺は動作時に高温になります。紙づまりの処理や内部を点検するときは、定着器周辺に触れないように注意してください。やけどをする恐れがあります。



- 紙づまりの処理や、ドラムカートリッジ、トナーカートリッジを交換するときは、トナーが目や口に入らないように注意してください。万一、トナーが目や口に入った場合は、直ちにきれいな水で洗い流し、医師の診察を受けてください。
- トナーで手や衣服を汚さないように注意してください。手や衣服が汚れた場合は、きれいな水で洗い流してください。温水で洗うとトナーが定着し、汚れが取れなくなる場合があります。
- 取扱説明書に記載されている以外のことは行わないでください。

換気について

⚠注意

定期的に部屋の換気をしてください。
本製品は使用中にオゾンが発生します。オゾンの量は人体に影響を及ぼすほどの量ではありませんが、換気の悪い場所で長時間使用したり、大量のプリントをしたりするときは、部屋の換気をしてください。

消耗品の取り扱いについて

⚠警告

絶対に、トナーカートリッジを火中に投げないでください。トナーに引火して、やけどや火災の原因になることがあります。

⚠注意

- トナーカートリッジを分解しないでください。トナーカートリッジからトナーが漏れたときは、吸い込んだり直接皮膚に付けたりしないように注意してください。トナーが皮膚についた場合は、石けんを使い水で洗い流し、刺激が残る場合や吸い込んだ場合には直ちに医師に相談してください。
- トナーなどの消耗品は幼児の手が届かないところへ保管してください。もしトナーを飲んだ場合は、直ちに医師と相談してください。

❗お願い

- ドラムカートリッジ、トナーカートリッジ、用紙を以下のような場所には保管しないでください。
 - ◆ 火気のある場所
 - ◆ 直射日光のあたる場所
 - ◆ 高温多湿な場所
 - ◆ 急激な温度変化のある場所
 - ◆ ほこりの多い場所
 - ◆ 自動車内での長時間放置
- ドラムカートリッジの感光体表面に直接手を触れたり、直射日光にあてたりしないでください。印字画質不良の原因になります。
- ドラムカートリッジ、トナーカートリッジを逆さに向けたり、斜めに放置したりしないでください。印字画質不良の原因になります。
- ドラムカートリッジ、トナーカートリッジを分解しないでください。
- ドラムカートリッジ、トナーカートリッジに強い衝撃や振動を与えないでください。
- ドラムカートリッジ、トナーカートリッジは使用する直前まで袋から出さないでください。

製品のリサイクルについて

■ 使用済み消耗品の回収について

使用済みトナーカートリッジおよびドラムカートリッジ返送のお願い

弊社では、環境保全と再資源化のために、使用済みの消耗品（トナーカートリッジおよびドラムカートリッジ）の回収を行っています。ご使用済みになりましたトナーカートリッジおよびドラムカートリッジを、ムラテック回収センターまで返送ください。詳しくはトナーカートリッジおよびドラムカートリッジに同梱の「回収ご協力をお願い」をお読みください。

弊社にご返却いただけないカートリッジにつきましては、お客様の責任で適切に廃棄処分していただきますようお願いいたします。廃棄の際はトナーがこぼれないようにビニール袋などに入れて、地域の条例に従い処分してください。ただし、粉じん爆発を起す恐れがありますので、カートリッジを火中に投じることは絶対におやめください。

トナーカートリッジのリユースについて

環境への配慮と資源の有効利用を目的として、構成部品のリユースを行っています。リユース処理した部品につきましては、品質保証済みの商品としてお客様に提供しています。

■ 使用済み機器の受け入れ場所について

弊社では、環境保全と資源の有効活用のために、回収された機器の部品や材料のリサイクルを行っています。

使用済み機器の回収については、お買い上げの販売店、またはインフォメーションセンター（『基本編』の裏表紙）にお問い合わせください。

弊社担当者が直接回収に伺うか、指定の受け入れ場所をお知らせします。（弊社担当者が直接回収する場合は、別途回収費用がかかります。）

なお、事情により回収にご協力いただけない場合には、廃棄物処理法に従い処分してください。

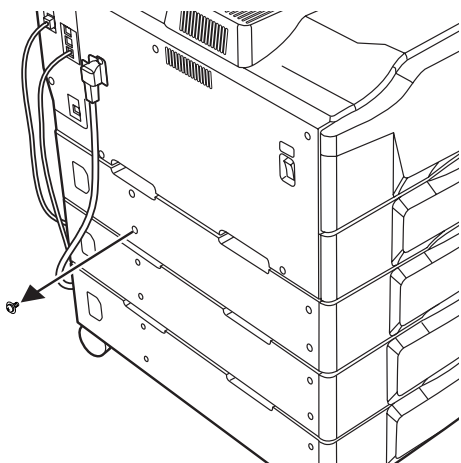
■ 2次電池（充電式バッテリー）について

本製品は2次電池（充電式ニッケル水素電池）を使用しています。廃棄するときは、お客様が2次電池を取り外す必要はありません。製品として2次電池も回収いたします。また、故障時の2次電池の交換は、お客様が行う必要はありません。当社にご相談ください。

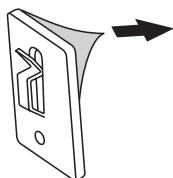
取扱説明書の保管について

取扱説明書は、本製品にフックを取り付けて保管してください。

- 1 本製品の左側から、下図の位置のネジを外します。

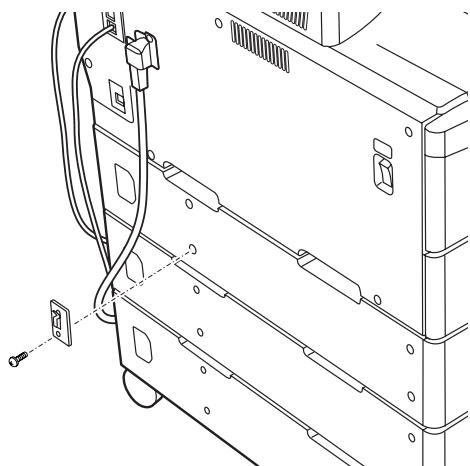


- 2 同梱されていたフックの背面から、シートを剥がします。



- 3 フックをネジ穴が見えるように取り付けます。

- 4 フックを同梱されていたネジで固定します。

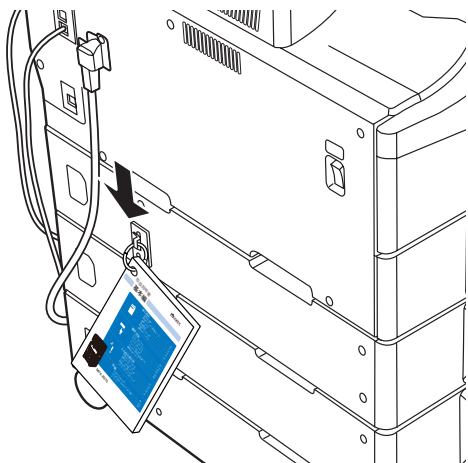


手順 1 で外したネジは使用しないでください。

- 5** 本体に同梱されていたリングを取説説明書に取り付けます。



- 6** リングを付けた取扱説明書を、フックに引っかけます。



(空白ページ)

第 1 章

機器を設定する

文字を入力する	1-2
文字入力画面について	1-2
文字入力について	1-4
漢字・ひらがなを入力する	1-5
英数字を入力する	1-7
カタカナを入力する	1-8
記号を入力する	1-9
数字を入力する	1-10
空白（スペース）を入力する	1-10
ドメイン名を入力する	1-11
文字を削除する・挿入する	1-12
優先応用機能を変更する	1-13
My MFP 画面ショートカットを変更する	1-16
ジョブメモリーを使用する	1-19
ジョブメモリーを登録する・変更する	1-19
ジョブメモリーを削除する	1-23
ジョブメモリーリストをプリントする	1-24
ジョブメモリーを実行する	1-25
機器情報を確認する	1-26
各種登録一覧	1-28
用紙に関する設定をする	1-30
プリントするカセットを設定する	1-30
用紙・仕分け設定一覧	1-32
初期値を設定する	1-34
初期値の設定例	1-34
初期値設定一覧	1-35
スマート節電を設定する	1-39
リストをプリントする	1-43
プリントのしかた	1-43
リスト一覧	1-45
個人設定を使用する	1-46
個人設定をする	1-46
個人設定一覧	1-48
個人画面・共有画面を切り替える	1-49
ログインする・ログアウトする	1-50
ログインする	1-50
ログアウトする	1-51

文字を入力する

発信元やワンタッチ宛先の相手先など、文字を入力するときに参照してください。
入力できる文字は、漢字（全角）、ひらがな（全角）、カタカナ（全角・半角）、英字（全角・半角）、数字（全角・半角）、記号（全角・半角）です。
漢字は JIS 第一水準、JIS 第二水準が入力できます。

文字入力画面について

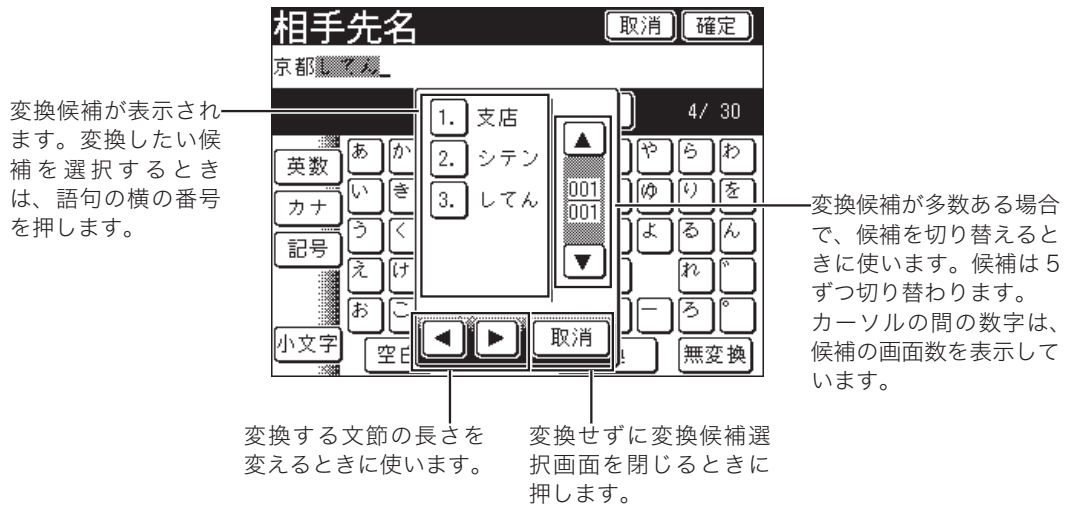
■ 文字入力画面

ひらがなを入力しているときの画面の例です。



■ 変換候補選択画面

ひらがなを入力中に [変換] を押すと、漢字の変換候補が表示されます。



文字入力について

■ 確定と未確定

文字が反転表示されているときは変換できる状態です。これを「未確定」といいます。[無変換]を押して、文字が変換できない状態に(入力を決定)することを「確定」といいます。未確定の文字は14文字まで入力できます。

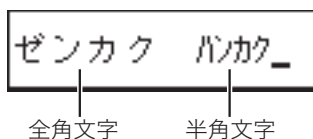


補足

かな入力モードで入力した文字は全て未確定になります。それ以外の入力モードでは確定した状態で入力されます。

■ 全角と半角

文字を入力するとき、全角文字と半角文字があります。全角は半角の2倍の大きさです。半角文字で24文字入力できる場合、全角文字では12文字入力できます。



■ 文節表示

変換途中の文字は、文節と呼ばれる単位で区切られて表示されます。複数の文節がある場合は、初めの文節だけが変換対象になります。変換対象になっている文節は網掛けになって表示されます。文節の長さを変えるには、カーソルキーを使用します。(→ 1-3 ページ)



漢字・ひらがなを入力する

■ 漢字・ひらがなを入力する

- 1 [かな] を押して、文字入力画面にひらがなを表示させます。
- 2 入力する文字を押します。



° (濁点) や ° (半濁点) を入力するときは、文字を入力したあとに、[°] や [°] を押します。

- 3 漢字に変換する場合は、[変換] を押します。



ひらがなを入力する場合は、[無変換] を押します。

- 4 変換したい漢字の番号を押します。



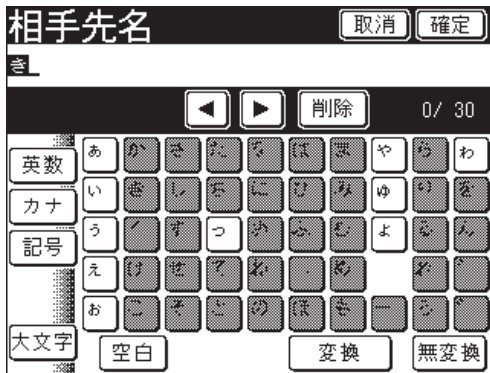
- 変換候補が多数あるときは、[▲] や [▼] を使って表示を切り替えます。
- [◀] や [▶] を押すと、変換する文節の長さを変更できます。(→ 1-4 ページ)
- [取消] を押すと、手順 3 の画面に戻ります。

■ 小文字を入力する

1 [小文字] を押して、小文字を表示させてます。



2 入力する文字を押します。



再び大文字を入力するときは、[大文字] を押します。

英数字を入力する

アルファベットと数字が入力できます。

- 1 [英数] を押して、文字入力画面にアルファベットを表示させます。



- 2 入力する文字を押します。



- アルファベットの大文字を入力するときは、[大文字] を押します。再び小文字を入力するときは、[小文字] を押します。
- 全角のアルファベットを入力するときは、[全角] を押します。再び半角のアルファベットを入力するときは、[半角] を押します。

カタカナを入力する

- 1 [カナ] を押して、文字入力画面にカタカナを表示させます。



- 2 入力する文字を押します。



- ° (濁点) や ° (半濁点) を入力するときは、文字を入力したあとに、[´] や [ˆ] を押します。
- 小文字を入力するときは、[小文字] を押します。再び大文字を入力するときは、[大文字] を押します。
- 半角のカタカナを入力するときは、[半角] を押します。再び全角のカタカナを入力するときは、[全角] を押します。

記号を入力する

- 1 [記号] を押して、文字入力画面に記号を表示させます。



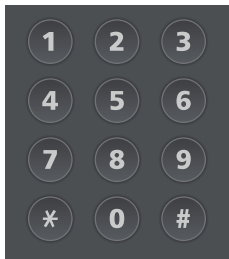
- 2 入力する文字を押します。



半角の記号を入力するときは、[半角] を押します。再び全角を入力するときは、[全角] を押します。全角と半角では入力できる記号の種類が違います。

数字を入力する

- 1 テンキーを押して、数字を入力します。



- 全角の入力画面のときは、全角の数字が入力されます。半角の入力画面のときは、半角の数字が入力されます。
- 数字は英数字の文字入力画面からも入力できます。

空白（スペース）を入力する

- 1 [空白] を押します。



ドメイン名を入力する

メールアドレスを入力する場合などに、ドメイン名ボタンを利用して、ドメイン名を簡単に入力できます。

補足

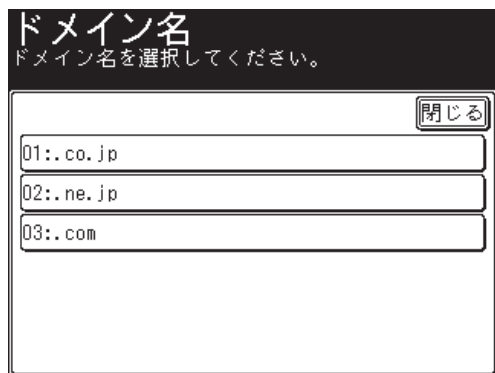
ドメイン名の登録のしかたは、『スキャナー・ファクス編 第7章』の「ドメイン名を登録・変更する」を参照してください。

- 1 [英数] を押して、文字入力画面にアルファベットを表示させます。
- 2 [.co.jp] を押します。



ドメイン名を登録していないときは、これで手順は終了です。

- 3 入力したいドメイン名を押します。



文字を削除する・挿入する

文字を削除するには、削除したい文字までカーソルを移動し、[削除]を押します。
文字を挿入するには、挿入したい位置までカーソルを移動し、文字を入力します。

■ 文字を削除する

- 1 [◀] または [▶] を押して、削除したい文字の位置までカーソルを移動します。



- 2 [削除] を押します。

直前に入力した文字は、[削除] を押すだけで削除できます。

■ 文字を挿入する

- 1 [◀] または [▶] を押して、挿入したい位置の右側までカーソルを移動します。



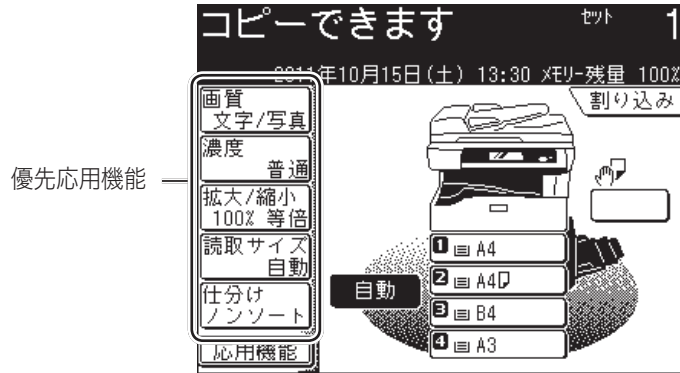
- 2 文字を入力します。

カーソルの前に入力した文字が挿入されます。

優先応用機能を変更する

各モードの応用機能を待機画面に5つまで表示できます。よく使う機能を、待機画面から使えるように設定できます。

コピー画面の例



待機画面	割り当てられる機能
コピー画面	ミックス原稿、ページ集約、リピート、ページ分割、とじしろ、枠消去、センター消去、読取サイズ、拡大/縮小、独立変倍、両面、カードコピー、画質、手差し用紙、濃度、連続読み込み、仕分け、白黒反転、小冊子
スキャナー画面	画質、濃度、解像度、拡大/縮小、読取サイズ、済スタンプ ^{*1} 、連続読み込み、カラー/白黒、両面読取、分割送信、ファイル形式、短縮送信、ファイル名、メールアドレス、メール編集、メール履歴、カラー調整、ファイル添付、文書分類、コメント、TWAIN 原稿、スキャンパス、保存期間、ページ分割、白黒反転、枠消去、センター消去、グループ送信
ファクス画面	画質、濃度、両面読取、リダイヤル、オンフック、短縮送信、自動配信、グループ送信、自動受信、セキュリティ、発信元名、送付案内書、送信確認証、ファイル形式、読取サイズ、済スタンプ ^{*1} 、連続読み込み、ポーリング、F ポーリング、ポーリング原稿、F コード送信、F コード原稿、閉域送信、ID チェック、メモリー送信、ダイヤル記号、メールアドレス、メール履歴、メール編集、分割送信、POP 受信、時刻指定、拡大送信、メールゲートウェイ、回線選択 ^{*2}

*1 オプションの済スタンプが必要です。

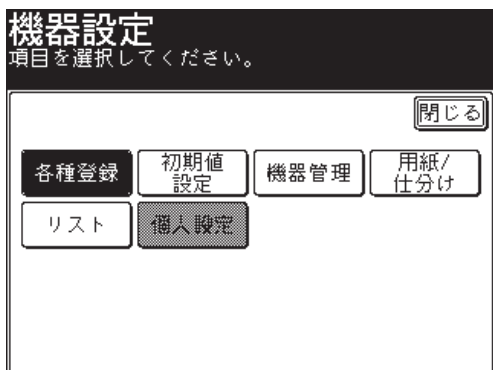
*2 オプションの2回線(スーパー G3) キットが必要です。

補足

__の付いている値が、工場を出荷したときにあらかじめ設定されている値です。

ここでは例として、コピー機能の優先応用機能を変更します。

- 1 〈機器設定〉を押します。
- 2 [各種登録]を押します。



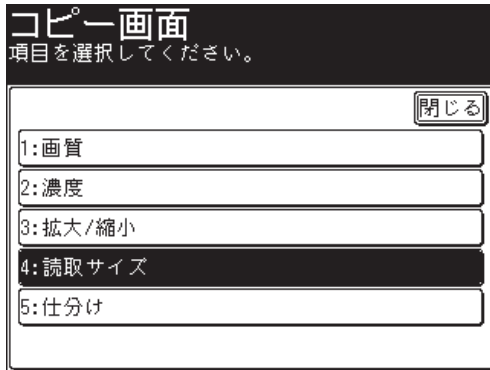
- 3 [優先応用機能]を押します。



- 4 設定する待機画面を選択します。

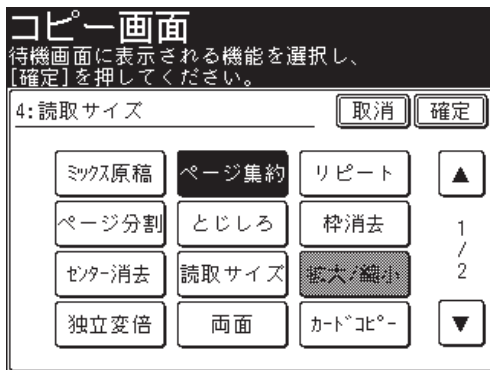


5 変更したい優先応用機能を選択します。



ここでは例として、読み取りサイズを変更します。

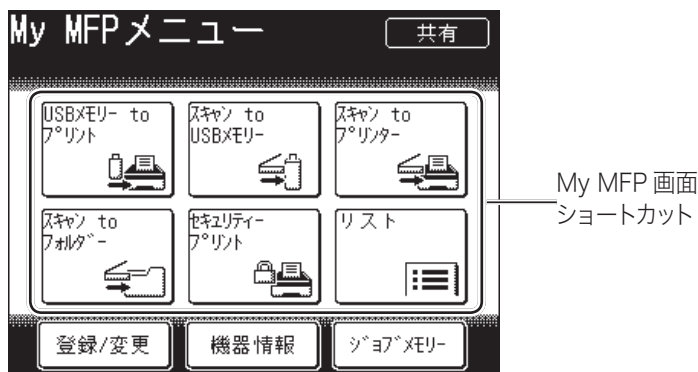
6 優先応用機能として表示したい機能を選択し、[確定] を押します。



- これで手順は終了です。
- 続けて操作する場合は、手順5から操作を繰り返します。

My MFP 画面ショートカットを変更する

〈My MFP〉 を押したときに表示される画面の、ショートカットボタンを変更できます。



My MFP 画面のショートカットには、以下の機能が割り当てられます。

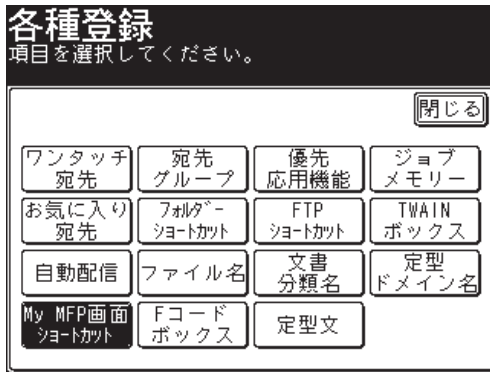
- コピー
- スキャナー
- ファクス
- プリンター
- スキャン to E-mail
- スキャン to フォルダ
- スキャン to FTP サーバー
- スキャン to ボックス
- スキャン to USB メモリー
- スキャン to プリンター
- 共有受信ボックス
- 受信ボックス
- 送信ボックス
- セキュリティープリント
- 共有ボックス
- ユーザーボックス
- フォルダ to プリント
- USB メモリー to プリント
- 各種登録
- 用紙 / 仕分け
- 初期値設定
- 機器管理
- リスト
- 個人設定
- 音設定
- 言語
- スキャン to Evernote

補足

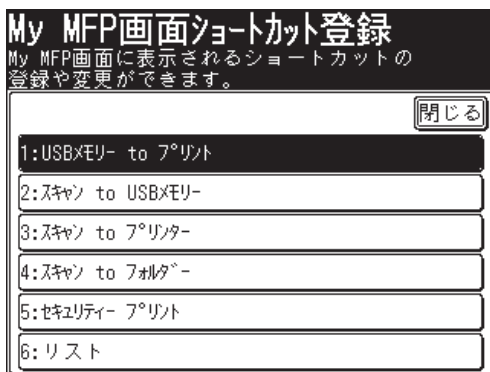
__の付いている値が、工場を出荷したときにあらかじめ設定されている値です。

■ 機器設定画面から変更する

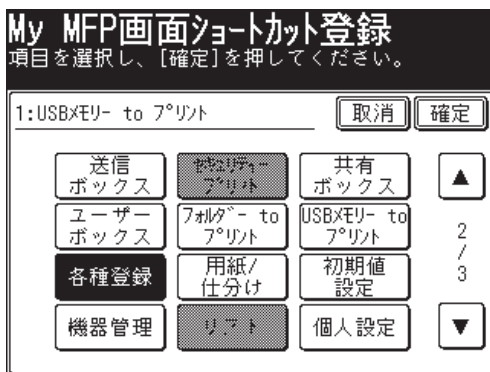
- 1 〈機器設定〉を押します。
- 2 [各種登録]を押します。
- 3 [My MFP 画面ショートカット]を押します。



- 4 変更したいショートカットボタンを選択します。



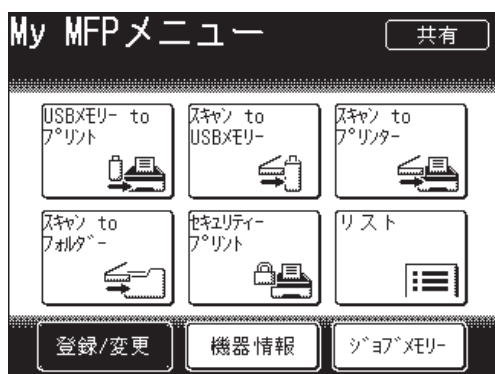
- 5 ショートカットボタンにしたい機能を選択し、[確定]を押します。



- 手順はこれで終了です。
- 続けて操作する場合は、手順 4 から操作を繰り返します。

■ My MFP 画面から変更する

- 1 〈My MFP〉 を押します。
- 2 [登録 / 変更] を押します。



- 3 変更したいショートカットボタンを選択します。
- 4 ショートカットボタンにしたい機能を選択し、[確定] を押します。
 - 手順はこれで終了です。
 - 続けて操作する場合は、手順 3 から操作を繰り返します

ジョブメモリーを使用する

設定をジョブメモリーに登録することで、機器にその設定を記憶できます。同じ設定を簡単に呼び出して使用できるので、よく使う設定を登録しておくとう便利です。

補足

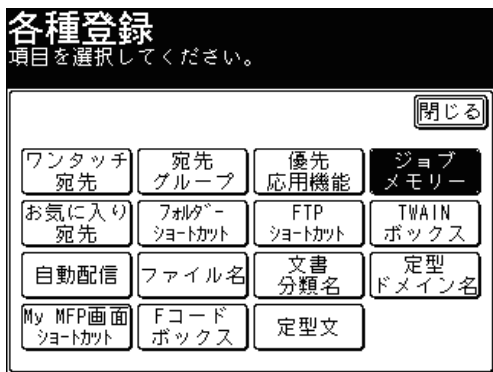
- ジョブメモリーは6個まで登録できます。
- 個人宛先表のワンタッチ宛先は登録できません。
- プリンター機能は登録できません。
- ジョブメモリーの登録中は、「ピッ、ピッ」というブザー音が鳴ります。また、登録中のモードに該当するモードキーも点滅して、ジョブメモリーの登録中であることを知らせます。

ジョブメモリーを登録する・変更する

■ ジョブメモリー画面から登録する・変更する

ここではジョブメモリーの登録方法を説明します。変更の場合は、手順4で変更したいジョブメモリーを選択し、[変更]を押します。手順8の画面が表示されるので、変更したい項目を選択して変更してください。

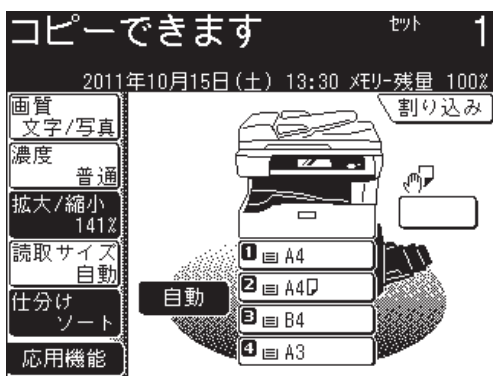
- 1 〈機器設定〉を押します。
- 2 [各種登録]を押します。
- 3 [ジョブメモリー]を押します。



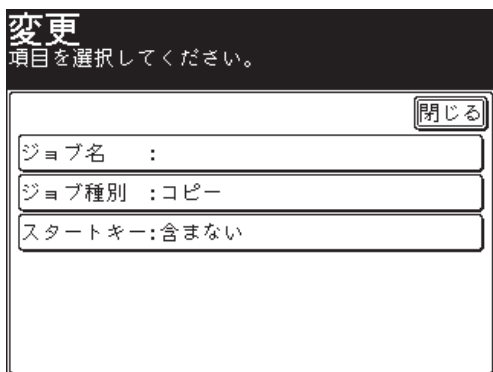
- 4 [登録] を押します。
変更の場合は、変更したいジョブメモリーを選択し、[変更] を押します。
- 5 登録したいジョブの種別を選択します。



- 6 [はい] を押します。
- 7 登録したい操作を行い、〈スタート〉を押します。



- 8 ジョブ名を登録する場合は、[ジョブ名] を押します。



登録しない場合は、それぞれのジョブの種別がジョブメモリーの一覧に表示されます。

9 ジョブ名を登録し、[確定] を押します。

- 40文字まで入力できます。
- 文字入力のしかたは、「文字を入力する」を参照してください。(→ 1-2 ページ)

10 [スタートキー] を押します。

変更
項目を選択してください。

閉じる

ジョブ名 : コピー設定_1

ジョブ種別 : コピー

スタートキー: 含まない

11 ジョブメモリーにスタートキーを含む場合は [含む]、含まない場合は [含まない] を選択し、[確定] を押します。

変更

スタートキー

取消 確定

含まない 含む

スタートキーをジョブに含むと、コピー/送信/保存などを<スタート>を押さずに実行します。

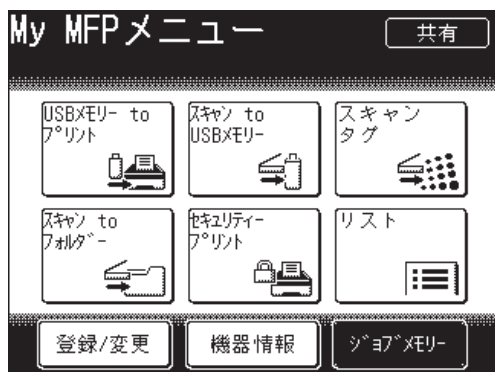
- 含まない： 実行したいジョブメモリーを押したときに、設定内容を表示します。設定を確認して、手でスタートさせたい場合に選択します。
- 含む： 実行したいジョブメモリーを押したときに、自動でジョブをスタートさせたい場合に選択します。

12 [閉じる] を押します。

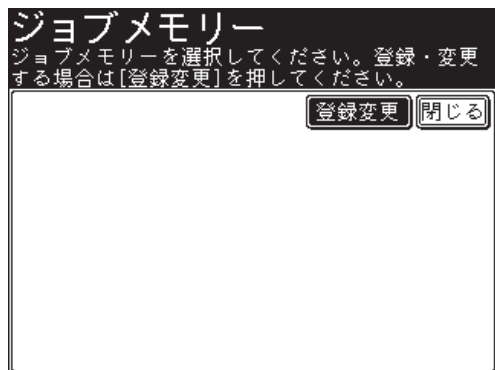
- 手順はこれで終了です。
- 続けて操作する場合は、手順 4 から操作を繰り返します。

■ ジョブメモリー実行画面から登録する・変更する

- 1 〈My MFP〉を押します。
- 2 [ジョブメモリー] を押します。



- 3 [登録変更] を押します。



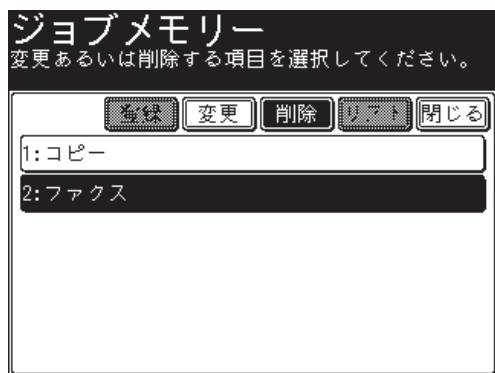
- 4 [登録] を押します。

以降の操作は、「ジョブメモリー画面から登録する・変更する」の手順4からと同じです。
(→ 1-20 ページ)

ジョブメモリーを削除する

■ ジョブメモリー画面から削除する

- 1 〈機器設定〉を押します。
- 2 [各種登録]を押します。
- 3 [ジョブメモリー]を押します。
- 4 削除したいジョブメモリーを選択し、[削除]を押します。



- 5 削除する場合は [はい] を押します。
 - [いいえ] を押すと、手順 4 の画面に戻ります。
 - 手順はこれで終了です。
 - 続けて操作する場合は、手順 4 から操作を繰り返します。

■ ジョブメモリー実行画面から削除する

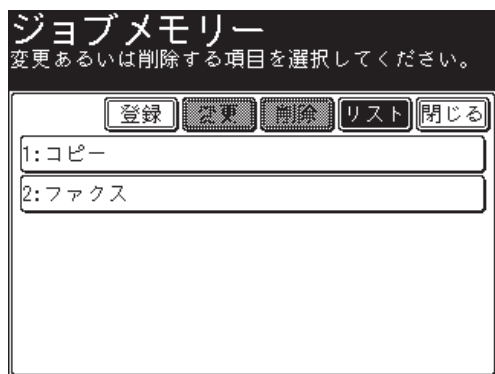
- 1 〈My MFP〉を押します。
- 2 [ジョブメモリー]を押します。
- 3 [登録変更]を押します。
- 4 削除したいジョブメモリーを選択し、[削除]を押します。
以降の操作は、「ジョブメモリー画面から削除する」の手順 5 と同じです。

ジョブメモリーリストをプリントする

登録したジョブメモリーの一覧をプリントできます。

■ ジョブメモリー画面からプリントする

- 1 〈機器設定〉を押します。
- 2 [各種登録]を押します。
- 3 [ジョブメモリー]を押します。
- 4 [リスト]を押します。



- 5 両面にプリントをする場合は、「両面印字」で [ON] を、しない場合は [OFF] を選択します。



- 6 集約してプリントする場合は、「集約」で [ON] を、しない場合は [OFF] を選択します。
- 7 [はい] を押します。

■ ジョブメモリー実行画面からプリントする

- 1 〈My MFP〉を押します。
- 2 [ジョブメモリー]を押します。
- 3 [登録変更]を押します。
- 4 [リスト]を押します。

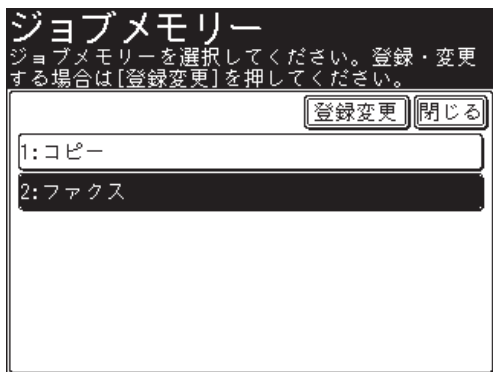
以降の操作は、「ジョブメモリー画面からプリントする」の手順5からと同じです。

補足

ジョブメモリーリストは、〈機器設定〉の [リスト] にある [ジョブメモリーリスト] からプリントできます。

ジョブメモリーを実行する

- 1 〈My MFP〉を押します。
- 2 [ジョブメモリー]を押します。
- 3 実行したいジョブメモリーを選択します。

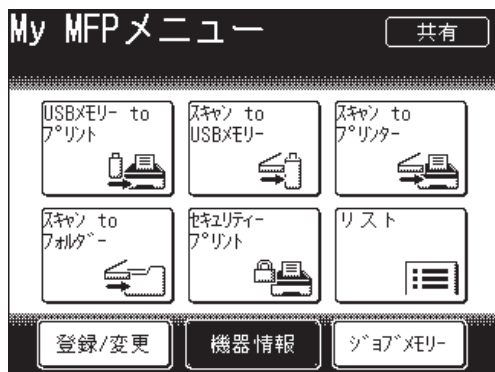


登録した内容が実行されます。

機器情報を確認する

My MFP 画面にある機器情報で、機器の IP アドレスやネットワーク設定、オプションや消耗品の状態、各モードのプリント枚数などが確認できます。

- 1 〈My MFP〉 を押します。
- 2 [機器情報] を押します。



- 3 機器情報を確認します。



- 4 プリントする場合は [印字] を押します。
プリントしない場合は [閉じる] を押します。プリントしない場合は、手順はこれで終了です。

- 5 両面にプリントをする場合は、「両面印字」で [ON] を、しない場合は [OFF] を選択します。



- 6 集約してプリントする場合は、「集約」で [ON] を、しない場合は [OFF] を選択します。

- 7 [はい] を押します。

補足

機器情報に表示される「トナー残量」と「ドラム残り寿命」は、大まかな目安としてください。

各種登録一覧

〈機器設定〉、〔各種登録〕と順番に押したときに設定できる項目の一覧です。
ワンタッチ宛先やジョブメモリーの登録、各種ショートカットの登録など、各機能で使用する便利な機能が登録できます。

機能	機能説明	初期値	参照ページ
ワンタッチ宛先	ワンタッチ宛先の登録、変更、または削除ができます。		『スキャナー・ファクス編 第7章』の「宛先を登録する」
宛先グループ	宛先グループの登録、変更、削除、またはリストのプリントができます。		『スキャナー・ファクス編 第7章』の「宛先を登録する」
優先応用機能	よく使用する機能を優先応用機能に設定できます。	<ul style="list-style-type: none"> • コピー画面 画質、濃度、拡大/縮小、読取サイズ、仕分け • スキャナー画面 画質、濃度、解像度、ファイル名、カラー/白黒 • ファクス画面 画質、濃度、リダイヤル、オンフック、短縮送信 	1-13
ジョブメモリー	ジョブメモリーの登録、変更、削除、またはリストのプリントができます。		1-19
お気に入り宛先	スキャナー画面のお気に入りタブに表示する宛先の登録、変更、または削除できます。		『スキャナー・ファクス編 第7章』の「宛先を登録する」
フォルダーショートカット	共有フォルダーのパスをショートカットとして登録、変更、または削除できます。		『スキャナー・ファクス編 第7章』の「宛先を登録する」
FTP ショートカット	FTPサーバーのパスをショートカットとして登録、変更、または削除できます。		『スキャナー・ファクス編 第7章』の「宛先を登録する」
TWAIN ボックス	TWAIN ボックスの名前と暗証番号を登録、または変更できます。		『スキャナー・ファクス編 第2章』の「TWAIN ボックスを使って原稿を読み込む」
自動配信	受信したファクスを配信する条件を登録できます。また、その条件の変更、削除、またはリストのプリントができます。		『スキャナー・ファクス編 第4章』の「受信の便利な機能」
ファイル名	読み取った画像データのファイル名を、あらかじめ登録できます。		『スキャナー・ファクス編 第7章』の「その他の登録をする」

機能	機能説明	初期値	参照ページ
文書分類名	読み取った原稿をボックスに保存するときに設定できる文書分類名の登録や変更、削除ができます。		『スキャナー・ファクス編 第7章』の「その他の登録をする」
定型ドメイン名	文字入力画面に表示されるドメイン名を登録できます。		『スキャナー・ファクス編 第7章』の「その他の登録をする」
My MFP 画面 ショートカット	My MFP 画面のショートカットボタンを変更できます。	USB メモリー to プリント、スキャン to USB メモリー、スキャン to プリンター、スキャン to フォルダー、セキュリティープリント、リスト	1-16
F コードボックス	F コードボックスの登録、変更、削除、またはリストのプリントができます。		『スキャナー・ファクス編 第4章』の「F コード通信をする」
定型文	インターネットファクスやスキャン to E-mail の本文と件名をあらかじめ登録できます。		『スキャナー・ファクス編 第7章』の「その他の登録をする」

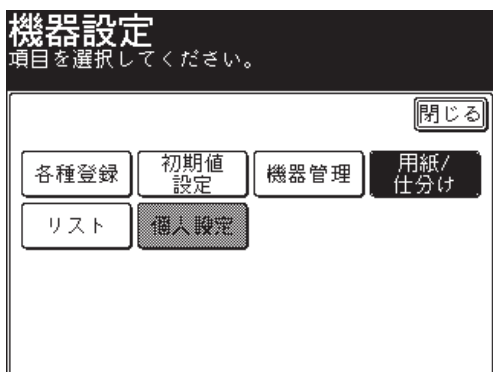
用紙に関する設定をする

受信やコピーに使用する用紙を設定したり、仕分け用の用紙を挿入したりできます。

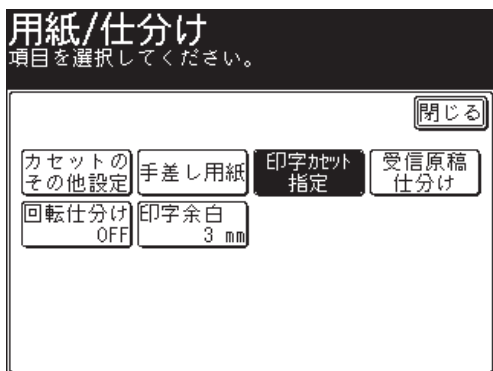
プリントするカセットを設定する

コピー、ファクス受信、リストプリントで使用するカセットを指定できます。

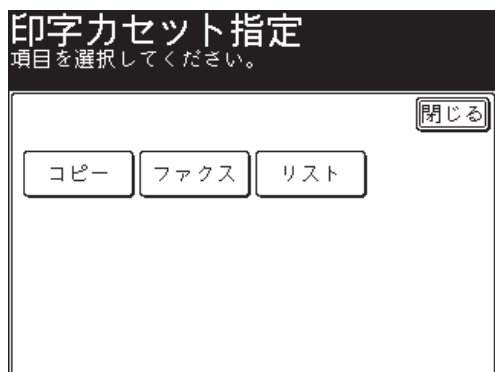
- 1 〈機器設定〉を押します。
- 2 [用紙 / 仕分け] を押します。



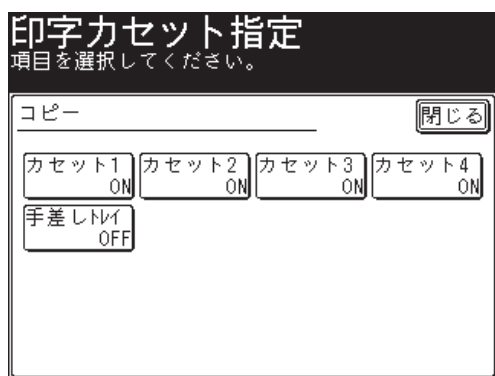
- 3 [印字カセット指定] を押します。



4 設定するモードを選択します。

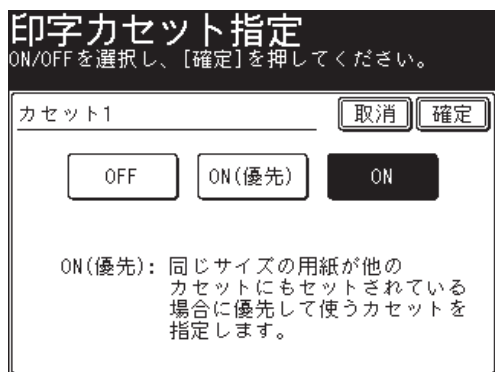


5 設定するカセットまたは手差しトレイを選択します。



- 手順4で [リスト] を選択した場合は、手差しトレイは選択できません。
- カセット3とカセット4は、4段タイプの場合のみ表示されます。

6 設定を選択し、[確定] を押します。



- OFF: このカセットにセットされている用紙を使用しない。
- ON (優先): このカセットにセットされている用紙を使用する。同じサイズの用紙がほかのカセットにもセットされているときは、このカセットを優先して使用する。
- ON: このカセットにセットされている用紙を使用する。

補足

「受信原稿仕分け」で使用しているカセットは、[OFF] に設定できません。詳細は、『スキャナー・ファクス編 第4章』の「受信の便利な機能」を参照してください。

用紙・仕分け設定一覧

用紙・仕分け設定で設定した各種機能の設定状況は、機器設定リストでも確認できます。
(→ 1-43 ページ)

機能	機能説明	設定値
カセットのその他の設定	用紙サイズダイヤルを〈その他〉にセットしたときに、カセット 1～4 ¹ で使用する用紙サイズを設定できます。 設定の詳細は、『基本編 はじめに』の「用紙サイズを設定する」を参照してください。	カセット 1～4 ¹ 8K、16K、16K <input type="checkbox"/> 、Letter、Letter <input type="checkbox"/> 、Legal、11×17、H.LTR、H.LTR <input type="checkbox"/> 、Executive、Exec <input type="checkbox"/>
手差し用紙	手差しトレイで使用する用紙サイズと、用紙の種類を設定できます。 この設定は、用紙サイズダイヤルが〈その他〉になっているときのみ有効です。 不定形用紙のサイズも登録できます。 設定の詳細は、『基本編 はじめに』の「用紙サイズを設定する」を参照してください。	用紙サイズ A3、A4、A4 <input type="checkbox"/> 、A5、A5 <input type="checkbox"/> 、B4、B5、B5 <input type="checkbox"/> 、はがき、長形 4 号、角形 2 号、往復はがき 8K、16K、16K <input type="checkbox"/> 、Letter、Letter <input type="checkbox"/> 、Legal、11×17、H.LTR、H.LTR <input type="checkbox"/> 、Executive、Exec <input type="checkbox"/> 、F4、COM10、Monarch、DL、不定形 1～不定形 5 用紙種類 普通紙、厚紙、OHP、はがき、封筒 不定形登録 / 変更 不定形 1～不定形 5
印字カセット指定	コピー 用紙選択を「自動」に設定している場合に使用する用紙カセットを指定できます。	カセット 1～4 ¹ OFF、ON (優先)、 <u>ON</u> 手差しトレイ OFF、ON (優先)、ON
	ファクス ファクス、インターネットファクス受信時に使用する用紙カセットを指定できます。	カセット 1～4 ¹ OFF、ON (優先)、 <u>ON</u> 手差しトレイ OFF、ON (優先)、ON
	リスト リストをプリントする用紙カセットを指定できます。 設定の詳細は、「 プリントするカセットを設定する 」を参照してください。(→ 1-30 ページ)	カセット 1～4 ¹ OFF、ON (優先)、 <u>ON</u>
受信原稿仕分け	受信原稿の 1 枚目をプリントする用紙カセットを設定します。1 枚目と 2 枚目の用紙サイズや用紙の色を変えたりすることで、受信ごとに原稿を仕分けられます。 設定の詳細は、『スキャナー・ファクス編 第 4 章』の「 受信原稿を仕分けする 」を参照してください。	設定 <u>OFF</u> 、ON カセット指定 <u>カセット 1</u> カセット 2 カセット 3 ¹ カセット 4 ¹ 手差しトレイ 先頭ページにプリントする <u>OFF</u> ON

機能	機能説明	設定値
回転仕分け	<p>複数部のコピーをする場合、1部ごとに同じサイズで方向の違う用紙を使用してコピーすることにより、用紙を仕分けすることができます。</p> <p>補足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「回転仕分け」できる用紙のサイズはA4、A5、B5で、同じサイズの用紙が縦、横別々のカセット（手差しトレイも可）にセットされていなければなりません。 ・「印字カセット指定」で、コピーで使用を許可しているカセットや手差しトレイだけが使えます。 ・手動でカセットを選択したときは、「回転仕分け」を行いません。カセットを自動選択したときだけ有効です。 ・「ミックス原稿」がONの時は「回転仕分け」を行いません。 ・「ページ集約」や「リポート」と、「回転仕分け」を組み合わせることはできません。 ・コピーの途中でどちらかのカセットの用紙がなくなったときは、「回転仕分け」せずに残っている方の用紙を使ってコピーを続けます。 	<p>OFF</p> <p>ON</p>
印字余白	<p>用紙の端で、プリントされない範囲を指定できます。</p> <p>主にコピー使用時に反映されます。余白を少なく設定しても、プリンタドライバーからの印刷には反映されません。</p>	<p>1-4mm : <u>3mm</u></p>

* 1 カセット 3 とカセット 4 は、4 段タイプの場合のみ表示されます。

補足

__の付いている値が、工場出荷したときにあらかじめ設定されている値です。

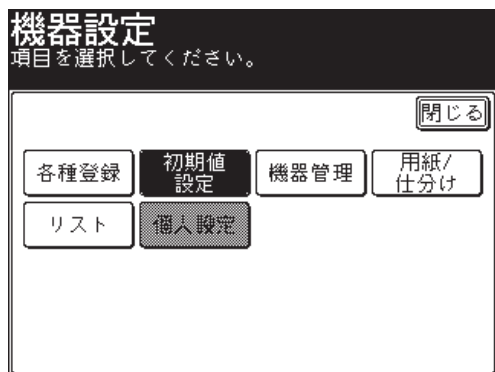
初期値を設定する

初期値とは、〈リセット〉を押して設定を元に戻したときの設定値です。何も操作せずに一定時間放置したときも、初期値に戻ります。よく使う設定を初期値にしておく、操作のたびに設定する手間が省けます。また節電モードに入る時間の初期値も設定できます。

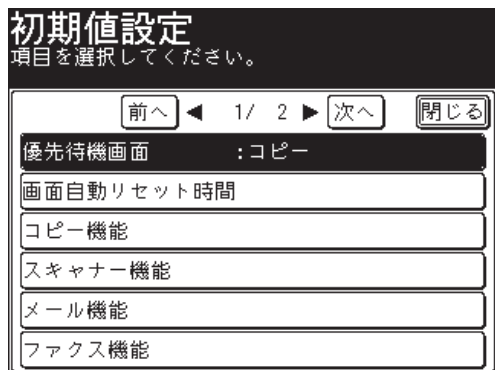
初期値の設定例

ここでは、優先待機画面の初期値の変更を例に説明します。

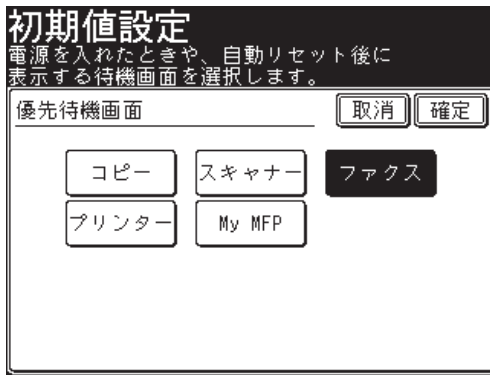
- 1 〈機器設定〉を押します。
- 2 [初期値設定] を押します。



- 3 [優先待機画面] を押します。



4 設定したい画面を選択し、[確定] を押します。



続けてほかの初期値も設定できます。

初期値設定一覧

機能	機能説明	設定値
優先待機画面	電源スイッチを ON にしたときや、画面自動リセット時間で設定した時間が経ったときに表示される待機画面を設定できます。	コピー スキャナー ファクス プリンター My MFP
画面自動リセット時間	各画面を待機画面に戻すまでの時間を設定できます。 <ul style="list-style-type: none"> コピー画面、スキャナー画面 ファクス画面 プリンター画面、My MFP 画面 リセット時間： 操作後、一定時間何も操作しないと設定した項目がリセットされます。(設定値に戻る) 読み取り終了後にリセット： ON に設定すると、原稿の読み取り終了後に、画質や倍率などの設定がリセットされます。 読み取り終了後にログアウト： ON に設定すると、原稿の読み取り終了後に、ログアウトします。	リセット時間 1 ～ 10 分：3 分 読み取り終了後にリセット OFF ON 読み取り終了後にログアウト OFF ON リセット時間 1 ～ 10 分：3 分 読み取り終了後にログアウト OFF ON リセット時間 1 ～ 10 分：3 分

機能	機能説明	設定値
コピー機能	コピーする原稿の画質や濃度など、コピー機能の初期値を設定できます。 詳細は『コピー編 第3章』の「コピーの初期値を設定する」を参照してください。	
スキャナー機能	スキャンする原稿の画質や濃度など、スキャナー機能の初期値を設定できます。 詳細は『スキャナー・ファクス編 第7章』の「初期値を設定する」を参照してください。	
メール機能	スキャン to E-mail、インターネットファクスのファイル形式や分割送信、メール定型文の初期値を設定できます。 詳細は『スキャナー・ファクス編 第7章』の「初期値を設定する」を参照してください。	
ファクス機能	ファクス送信する原稿の画質や濃度など、ファクス機能の初期値を設定できます。 詳細は『スキャナー・ファクス編 第7章』の「初期値を設定する」を参照してください。	
プリンター機能	プリンターコントローラー設定やセキュリティープリントの自動削除時間設定など、プリンター機能の初期値を設定できます。 詳細は『プリンター編 第4章』の「データの自動削除時間を設定する」と「プリンターコントローラーの設定をする」を参照してください。	
音設定	各種音の設定ができます。 <ul style="list-style-type: none"> • 音量 操作確認音、動作完了音、注意音、操作案内音、呼び出し音の音量を調整できます。音量は個別に設定できません。 • 操作確認音 操作ボタンを押したときの音色を変えられます。 	1～7段階： <u>4</u> OFF 低音 中音 高音

機能	機能説明	設定値
音設定	<p>•動作完了音 コピーやファクス、インターネットファクス動作の完了を音で知らせます。</p> <p>以下の動作完了音を一括で設定する場合は [OFF]、[タイプ 1] ～ [タイプ 3] のいずれかを選びます。個別に設定する場合は [詳細設定] を選び、それぞれを設定します。</p> <p>コピー完了：コピーが完了したとき ファクス送信完了： ファクスやインターネットファクス送信が完了したとき ファクス受信完了： ファクスやインターネットファクス受信が完了したとき ファクス受信印字完了： 受信した文書のプリントが完了したとき PC プrint完了：PC プrintが完了したとき リストPrint完了： リストのPrintが完了したとき 原稿ガラス読み取り完了： 原稿ガラスでの読み取りが完了したとき</p>	<p>OFF タイプ 1 タイプ 2 タイプ 3 詳細設定</p>
	<p>•注意音 紙づまりのお知らせやメモリーオーバーなどのエラーをブザー音で知らせます。</p> <p>以下の注意音を一括で設定する場合は、[ON] または [OFF] を選びます。個別に設定する場合は [詳細設定] を選び、それぞれを設定します。</p> <p>紙づまりのお知らせ： 用紙づまりが発生したとき 用紙切れ（カセット・手差しトレイ）： 用紙カセットもしくは手差しトレイの用紙がなくなったとき トナー交換のお知らせ： トナーカートリッジの交換が必要なとき PC プrintエラー： PC プrint時にエラーが起きたとき ファクス通信エラー： ファクス・インターネットファクス通信時にエラーが起きたとき ファクス中止方法のお知らせ： ファクス・インターネットファクスの通信予約があるときに〈ストップ〉を押したとき メモリーオーバー： スキャン中にメモリーオーバーが起きたとき カバー閉め忘れ警告： いずれかのカバーが開いているとき 原稿づまり： 自動原稿送り装置に原稿がつまっているとき</p>	<p>OFF ON 詳細設定</p>

機能	機能説明	設定値
音設定	ドラムカートリッジ交換のお知らせ： ドラムカートリッジの交換が必要なとき 点検エラー：点検を受けてほしいとき 受信プリント待ち警告： 受信したファクスをプリントする用紙がなくな ったとき ・呼び出し音 オプションのハンドセットがなくても、ファクスの着信時に呼出ベル音が鳴るように設定できます。	OFF <u>ON</u>
スマート節電	設定の詳細については、「 スマート節電を設定する 」を参照してください。(→ 1-39 ページ)	節電モードへの移行時間 1 ~ 240 分後： <u>1</u> 分後 開始時刻 <u>OFF</u> ON 解除時刻 <u>OFF</u> ON 解除曜日 <u>月、火、水、木、金、土、日</u> 最小電力モード <u>OFF</u> ON

 補足

__の付いている値が、工場を出荷したときにあらかじめ設定されている値です。

スマート節電を設定する

スマート節電を設定すると、本製品を使用しないときに節電モードに入ることによって消費電力が抑えられます。設定できる項目は、以下のとおりです。

項目	内容
節電モードへの移行時間	節電モードへの移行するまでの時間を設定できます。節電モードへの移行時間は、1分から240分の間で設定できます。あらかじめ設定されている値は、1分です。
節電モード時刻指定	
開始時刻	ONに設定すると、節電モードを自動的に開始する時刻を設定できます。
解除時刻	ONに設定すると、節電モードを自動的に解除する時刻を設定できます。
解除曜日	節電モードを自動的に解除する曜日を設定できます。設定できるのは、節電モードの解除時刻を指定したときです。たとえば解除曜日に月曜日から金曜日までを指定すると、土曜日と日曜日は解除時刻になっても節電モードが解除されません。
最小電力モード	最小電力モードをONに設定すると、指定した開始時刻と解除時刻の間の消費電力が通常の節電モードよりも抑えられます。設定できるのは、節電モードの開始時刻と解除時刻を指定したときです。最小電力モードに入るとファクス受信以外は動作しません。最小電力モード中に、プリントがしたいときは〈節電〉を押して最小電力モードを解除してください。

補足

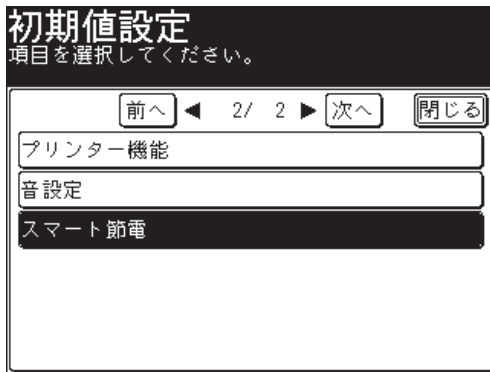
- 待機状態に〈節電〉を押すと、節電モードに入ります。
- 節電モード中に〈節電〉を押すと、待機状態に戻ります。

1 〈機器設定〉を押します。

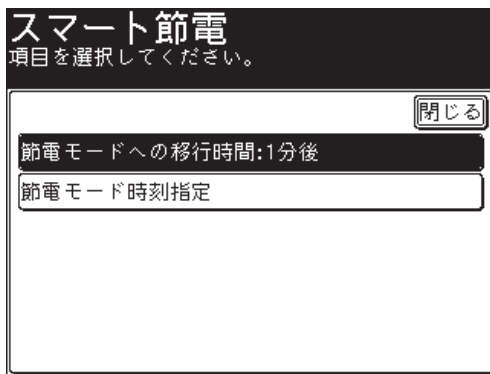
2 [初期値設定] を押します。



3 [スマート節電] を押します。



4 [節電モードへの移行時間] を押します。



5 節電モードへの移行時間を設定し、[確定] を押します。
[+] と [-]、またはテンキーを使って設定します。

6 [節電モード時刻指定] を押します。

7 [開始時刻] を押します。



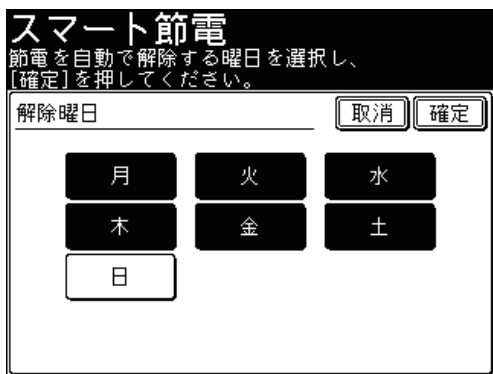
開始時刻を設定しないときは、手順 10 に進みます。

- 8 [ON] を押します。
[OFF] を選択すると、節電モード開始時刻設定が OFF になります。
- 9 節電モードの開始時刻を設定し、[確定] を押します。



[+] と [-]、またはテンキーを使って設定します。

- 10 [解除時刻] を押します。
- 11 [ON] を押します。
[OFF] を選択すると、節電モード解除時刻設定が OFF になります。
- 12 節電モードの解除時刻を設定し、[確定] を押します。
[+] と [-]、またはテンキーを使って設定します。
- 13 [解除曜日] を押します。
解除曜日を設定しないときは、手順はこれで終了です。
- 14 節電モードを解除する曜日を選択し、[確定] を押します。



- 15 [最小電力モード] を押します。
- 16 [ON] または [OFF] を選択し、[確定] を押します。
手順はこれで終了です。

補足

次の機能を設定している場合は、最小電力モードを ON に設定しても、最小電力モードにはなりません。

設定	参照
ファクスの受信に関する設定	『スキャン・ファクス編 第7章』の「ファクス受信モードを設定する」
	『スキャン・ファクス編 第7章』の「ファクス機能の初期値を設定する」
	『スキャン・ファクス編 第7章』の「ナンバー・ディスプレイを設定する」
ネットワークの設定	『Information server 編 第3章』の「電子メール送受信環境を設定する」
	『Information server 編 第3章』の「アクセス制限を設定する」
	『Information server 編 第3章』の「ネットワーク環境を設定する」
	『Information server 編 第3章』の「マシンポリシーを設定する」
接続	-

リストをプリントする

〈機器設定〉の [リスト] から、さまざまなリストをプリントできます。

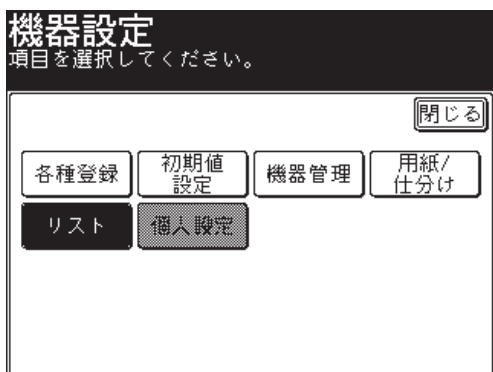
1

機器を設定する

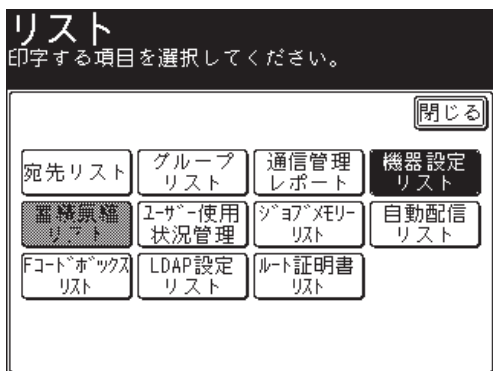
プリントのしかた

ここでは、機器設定リストのプリントを例に説明します。

- 1 〈機器設定〉を押します。
- 2 [リスト] を押します。



- 3 [機器設定リスト] を押します。



- 4 両面にプリントをする場合は、「両面印字」で [ON] を、しない場合は [OFF] を選択します。



- 5 集約してプリントする場合は、「集約」で [ON] を、しない場合は [OFF] を選択します。

- 6 [はい] を押します。

リスト一覧

リスト名	プリント内容	参照ページ
宛先リスト	宛先表に登録されているワンタッチ宛先の一覧をプリントします。番号順、またはかな英数の順にプリントできます。	『スキャナー・ファクス編 第7章』の「宛先を登録する」
グループリスト	宛先グループとして登録されているワンタッチ宛先の一覧をプリントします。番号順、またはかな英数の順にプリントできます。	『スキャナー・ファクス編 第7章』の「宛先を登録する」
通信管理レポート	ファクスの送受信、電子メールの送受信、スキャン to フォルダ、スキャン to FTP サーバーの送信結果の一覧をプリントします。 補足 Information server からも、通信管理レポートをプリントできます。詳細は『Information server 編 第2章』の「ジョブまたは通信履歴を確認する」を参照してください。	『スキャナー・ファクス編 第6章』の「通信履歴を管理する」
機器設定リスト	〈機器設定〉の [初期値設定]、[機器管理]、[用紙 / 仕分け] の設定内容をプリントします。	1-43
蓄積原稿リスト	ポーリング原稿、Fコード原稿、送信予約原稿、受信原稿、PCファクス送信原稿など、蓄積原稿のリストをプリントします。	『スキャナー・ファクス編 第3章』
ユーザー使用状況管理	各モードで使用したページ数をユーザーごとにカウントし、料金とファクス通信時間の合計をプリントします。	2-17
ジョブメモリーリスト	登録されているジョブメモリーの一覧をプリントします。	1-24
自動配信リスト	設定されている配信条件の一覧をプリントします。	『スキャナー・ファクス編 第3章』の「受信の便利な機能」
Fコードボックスリスト	登録されているFコードボックスの一覧をプリントします。	『スキャナー・ファクス編 第4章』の「Fコード通信をする」
LDAP 設定リスト	登録されているLDAPサーバーの一覧をプリントします。	2-36
ルート証明書リスト	プライベート認証局のルート証明書の拇印（フィンガープリント）をプリントします。	—

個人設定を使用する

個人設定では、ユーザーごとにさまざまな設定をカスタマイズできます。
個人設定を表示するには、ログインが必要です。

補足

認証方法を [ネットワーク] に設定している場合は、個人設定を使用できません。
(→ 2-37 ページ)

個人設定をする

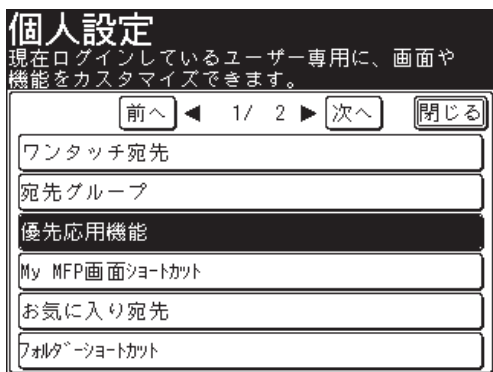
ここでは、優先応用機能の設定を例に説明します。

- 1 ユーザーログイン操作を行います。(→ 1-50 ページ)
- 2 〈機器設定〉を押します。
- 3 [個人設定] を押します。



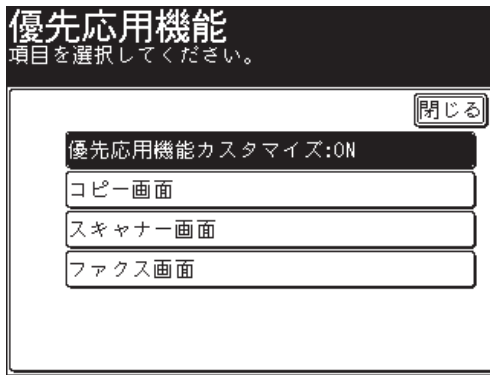
ユーザーログインをしていない状態で [個人設定] を押すと、「ログインしてください」というメッセージが表示されます。

- 4 [優先応用機能] を押します。



設定項目の詳細は、「個人設定一覧」を参照してください。(→ 1-48 ページ)

5 [優先応用機能カスタマイズ] を押します。



6 [ON] を選択し、[確定] を押します。

- 以降の操作は、「優先応用機能を変更する」の手順4からと同じです。(→ 1-13 ページ)
- [OFF] を選択すると、優先応用機能の個人設定がOFFになります。

個人設定一覧

機能	機能説明	設定値	参照ページ
ワンタッチ宛先	ユーザーごとにワンタッチ宛先の登録、変更、または削除ができます。		『スキャナー・ファクス編 第7章』の「宛先を登録する」
宛先グループ	ユーザーごとに宛先グループの登録、変更、削除、またはリストのプリントができます。		『スキャナー・ファクス編 第7章』の「宛先を登録する」
優先応用機能	ユーザーログインしたときのコピー画面、ファクス画面、スキャナー画面の優先応用機能を設定できます。 補足 個人設定を有効にするには、優先応用機能を [ON] にします。	優先応用機能 カスタマイズ OFF ON	1-13
My MFP 画面 ショートカット	My MFP 画面を個人設定に切り替えたときに表示されるショートカットボタンを設定できます。		1-16
お気に入り宛先	ユーザーごとにスキャナー画面のお気に入りタブに表示する宛先を登録、変更、または削除できます。		『スキャナー・ファクス編 第7章』の「宛先を登録する」
フォルダー ショートカット	ユーザーごとに共有フォルダーのパスをショートカットとして登録、変更、または削除できます。	自動ネットワーク ログイン OFF ON	スキャナー・ファクス編 第7章の「宛先を登録する」
送信確認証	ユーザーごとにファクスの送信確認証を設定できます。	個人設定 OFF ON 送信確認証設定 OFF プリント メール	『スキャナー・ファクス編 第6章』の「送信結果を確認する (送信確認証)」
優先画面表示	ユーザーログインしたときに表示する画面を、共有設定または個人設定のいずれかから選択できます。	共有 個人	1-49
リスト	個人宛先表のワンタッチ宛先リストと個人宛先グループのリストをプリントできます。		『スキャナー・ファクス編 第7章』の「宛先を登録する」

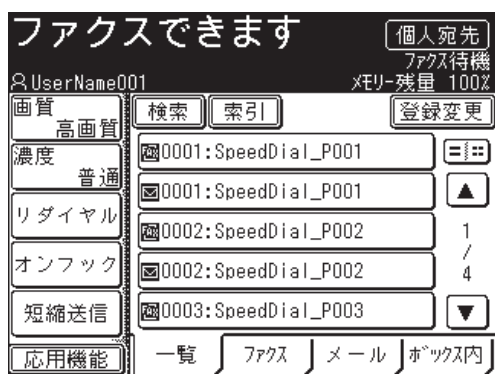
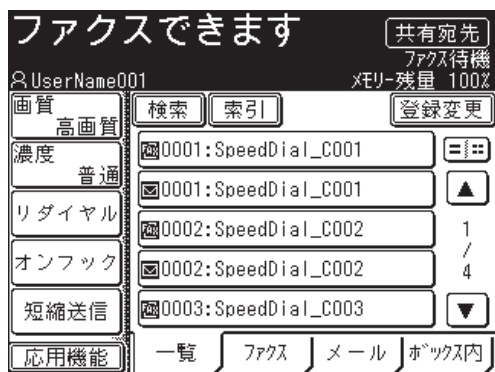
補足

__の付いている値が、工場を出荷したときにあらかじめ設定されている値です。

個人画面・共有画面を切り替える

ログイン中に、個人画面を切り替えるには〈パーソナル〉を押します。再び、〈パーソナル〉を押すと共有画面に切り替えられます。

1 ログインしているときに、〈パーソナル〉を押します。



共有画面を表示しているときは、〈パーソナル〉を押すと個人画面に切り替わります。個人画面を表示しているときは、共有画面に切り替わります。

ログインする・ログアウトする

ユーザー認証を受けて本製品を使用するときは、ログインします。ログインすると、以下の機能が利用できます。

- 個人設定^{*1}
- ユーザーボックスにある原稿のプリントや送信^{*1}
- 送信者情報（ユーザー登録された情報の利用）
- スキャンパス通知
- セキュリティープリント
- ユーザー使用状況管理^{*1}
- 通信管理レポート（送信者欄にユーザー名をプリント）^{*1}

*1 認証方法を[ネットワーク]に設定している場合は、これらの機能は使用できません。（→2-37ページ）

ログインする

1 待機画面から、〈ログイン〉を押します。

待機画面が表示されていないときは、〈リセット〉を押して待機画面を表示してから、〈ログイン〉を押してください。

2 ユーザー名を選択し、[確定]を押します。



The screenshot shows a login screen titled "ログイン" (Login). Below the title, it says "ユーザーIDを選択し、[確定]を押してください。" (Select a user ID and press [OK]). At the top, there are three buttons: "ユーザーID入力" (User ID Input), "取消" (Cancel), and "確定" (OK). Below these buttons is a list of user IDs: "001:UserName001", "002:UserName002", "003:UserName003", "004:UserName004", "005:UserName005", and "006:UserName006". To the right of the list, there are up and down arrow buttons. The number "1" is shown next to "003:UserName003" and "2" is shown next to "004:UserName004".

- [ユーザー ID 入力] を押すと、ユーザー ID が直接入力できます。
- マシンポリシーの設定によっては、[ユーザー ID 入力] を押すと新しくユーザーを登録できます。
- マシンポリシーの設定によっては、ユーザー ID の入力画面が表示されます。この場合は、ユーザー ID を入力してください。

3 パスワードを入力し、[確定] を押します。



パスワードを設定していない場合は、何も入力せずに [確定] を押します。

補足

マシンポリシー設定については、『Information server 編 第3章』の「セキュリティーを設定する」を参照してください。

ログアウトする

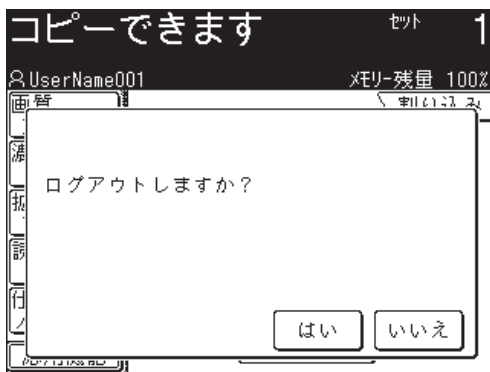
ログアウトするには、手動でログアウトする方法と自動的にログアウトする方法があります。ここでは、手動でログアウトする方法を説明します。

補足

- 自動ログアウト時間の設定については、「自動ログアウト時間を設定する」を参照してください。(→ 2-54 ページ)
- 読み取り終了後にログアウトするように設定できます。設定の詳細は、「画面自動リセット時間」を参照してください。(→ 1-35 ページ)

1 ユーザーログイン時に〈ログイン〉を押します。

2 [はい] を押します。



[いいえ] を押すと、ログアウトしません。

(空白ページ)

第2章

管理設定をする

機器管理設定一覧	2-2
セキュリティーコードを設定する	2-4
管理者パスワードを設定する	2-4
プロテクトコードを設定する	2-6
設定や操作を制限する (機能プロテクト設定)	2-8
機能プロテクトを設定する	2-9
機能プロテクトを使う	2-10
モード禁止設定をする	2-12
ユーザー使用状況を管理する	2-14
通貨単位を設定する	2-14
料金を設定する	2-16
ユーザー使用状況管理リストをプリントする	2-17
集計データを消去する	2-18
ネットワーク設定をする	2-19
TCP/IP 設定をする	2-22
LDAP サーバーを登録する	2-30
ユーザー認証方法を設定する	2-37
アーカイブ設定をする	2-39
メールゲートウェイを設定する	2-43
機器設定をコピーする	2-45
機器設定コピーの方法	2-45
USB メモリーを使ってインポート・エクスポートする	2-47
ネットワーク経由で直接コピーする	2-52
自動ログアウト時間を設定する	2-54
拡張機能をアクティベートする	2-55

機器管理設定一覧

設置モードやセキュリティー通信機能の設定、ネットワーク設定など、機器に関する重要な設定ができます。

管理者パスワードを設定しておく、[機器管理] を押すたびに管理者パスワードを入力する画面が表示され、管理者以外による設定変更には制限がかけられます。(一度管理者パスワードを入力すると、[機器管理] 内の設定は続けて行えます。)

機能	機能説明	設定値	参照ページ
セキュリティー通信機能	閉域通信やIDチェック送信、宛先確認、セキュリティー受信など、さまざまなセキュリティー通信の設定ができます。	閉域送信、閉域受信、IDチェック送信、同報送信、ワンタッチ宛先2度押し ¹⁾ 、ダイヤル2度押し、パスコードポーリング OFF ON パスコード 0000～9999： (登録なし) 宛先確認 OFF ON <u>同報のみ</u> セキュリティー受信 OFF ON (現在時刻)	『スキャナー・ファクス編 第4章』の「セキュリティー機能」
機能プロテクト設定 ¹⁾	管理者パスワードやプロテクトコードを利用して、さまざまな機能を管理できます。	禁止 プロテクトする プロテクトしない	2-8
モード禁止設定	コピー、スキャナー、ファクス、プリンターの使用禁止を設定できます。	OFF ON	2-12
ユーザー使用状況管理	各ユーザーのコピーやファクスの総ページ数や通信時間を確認したり、1ページあたりの単価を設定して各ユーザーが使用したコピーやファクスなどの合計料金を集計したりできます。	通貨設定 円 ドル ユーロ ポンド 単位なし 料金設定 コピー、スキャン、ファクス、プリント： OFF ON (0.00 / ページ)	2-14
ネットワーク設定	本製品をネットワーク上で使用するためのネットワーク設定ができます。	—	2-19

機能	機能説明	設定値	参照ページ
設置モード	機器を使用するために必要な設定ができます。	—	『スキャナー・ファクス編 第7章』の「初期設置をする（設置モード）」
機器設定コピー	機器設定の情報を同機種のほかの機器へコピーできます。	ダイレクト転送許可 許可する 許可しない	2-45
全データ / 設定の初期化	ワンタッチ宛先やコピー・ファクスの機能設定、蓄積文書など、〈機器設定〉で設定されているデータや機器に保存されているデータを消去できます。データ消去後は一度電源スイッチを OFF にしてください。 △注意 一度消去したデータは復旧できません。	—	—
管理者パスワード	管理者パスワードを設定できます。管理者パスワードを設定すると、管理者以外による【機器管理】内の設定変更に制限がかけられます。	出荷時には管理パスワードは設定されていません。	2-4
プロテクトコード	プロテクトコードを設定できます。プロテクトコードは機能プロテクト設定 ^{*1} やセキュリティー受信を使用するときが必要です。	出荷時にはプロテクトコードは設定されていません。	2-6
自動ログアウト時間	何も操作しなかった場合に、ログイン状態から自動的にログアウトするまでの時間を設定します。	1-10分：3分	2-54
アクティベーション・キー登録	拡張機能を有効にできます。	—	2-55
拡張機能	お使いいただける拡張機能を表示します。	—	2-56

*1 セキュリティーキットオプションが必要です。

補足

__の付いている値が、工場を出荷したときにあらかじめ設定されている値です。

セキュリティーコードを設定する

本製品にはセキュリティーを設定する「鍵」として、管理者パスワードとプロテクトコードの2種類の鍵が設けられます。

管理者パスワードを設定すると、管理者以外による〔機器管理〕内の設定変更に制限をかけることができますので、管理者による機器の一元管理が可能になります。また、プロテクトコードは、機能プロテクト設定やセキュリティー受信した原稿をプリントするときが必要です。

管理者パスワードを設定する

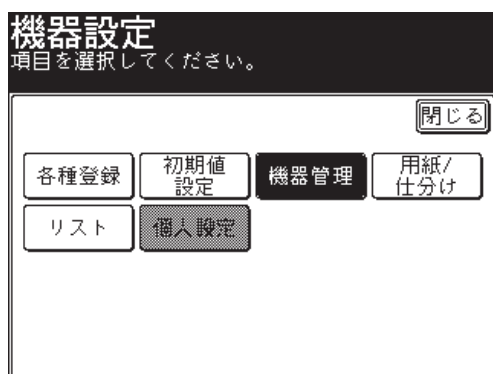
管理者パスワードは、半角のアルファベットと数字、記号、スペースで28文字まで入力できます。設定後はパスワードを控え、保管してください。

！お願い

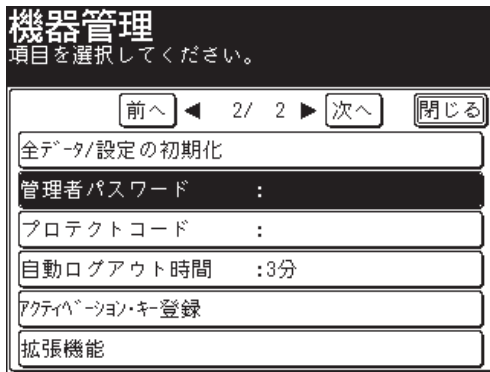
管理者パスワードを忘れた場合は、機器を初期化して再設定する必要があります。お買い上げの販売店またはインフォメーションセンターへご連絡ください。

■ 管理者パスワードを設定する

- 1 〈機器設定〉を押します。
- 2 〔機器管理〕を押します。



3 [管理者パスワード] を押します。



4 設定したいパスワードを入力し、[確定] を押します。



半角のアルファベットと数字、記号で 28 文字まで入力できます。

5 再度パスワードを入力し、[確定] を押します。

■ 管理者パスワードを変更する・削除する

1 〈機器設定〉を押します。

2 [機器管理] を押します。

3 管理者パスワードを入力し、[確定] を押します。

4 [管理者パスワード] を押します。

5 新しいパスワードを入力し、[確定] を押します。

- 半角のアルファベットと数字、記号で 28 文字まで入力できます。
- パスワードを削除したい場合は、新しいパスワードを何も入力せずに、[確定] を押します。

6 再度新しいパスワードを入力し、[確定] を押します。

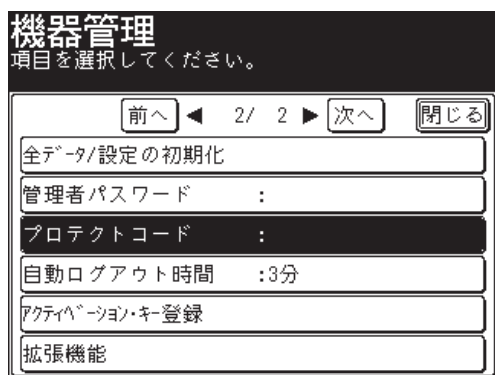
パスワードを削除したい場合は、新しいパスワードを何も入力せずに、[確定] を押します。

プロテクトコードを設定する

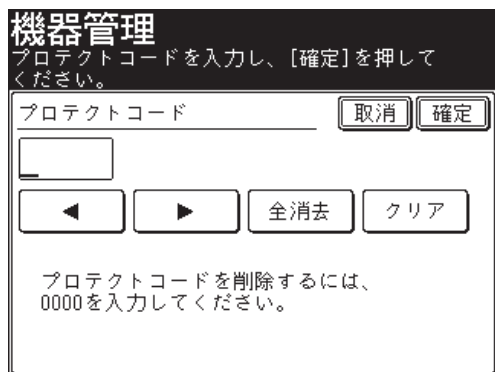
プロテクトコードは任意の4桁の数字を設定できます。設定後は番号を控え、保管してください。

■ プロテクトコードを設定する

- 1 〈機器設定〉を押します。
- 2 [機器管理] を押します。
- 3 管理者パスワードを設定している場合は、管理者パスワードを入力し、[確定]を押します。
管理者パスワードを設定していない場合は、そのまま手順4に進みます。
- 4 [プロテクトコード] を押します。



- 5 テンキーでプロテクトコードを入力し、[確定] を押します。



4桁の数字を入力してください。

■ プロテクトコードを変更する・削除する

- 1 〈機器設定〉を押します。
- 2 [機器管理] を押します。
- 3 管理者パスワードを設定している場合は、管理者パスワードを入力し、[確定]を押します。
管理者パスワードを設定していない場合は、そのまま手順4に進みます。
- 4 [プロテクトコード] を押します。
- 5 テンキーで現在のプロテクトコードを入力し、[確定] を押します。

- 6 テンキーで新しいプロテクトコードを入力し、[確定] を押します。

プロテクトコードを削除する場合は、テンキーで「0000」と入力し、[確定] を押します。

設定や操作を制限する (機能プロテクト設定)

この機能を使用するにはセキュリティーキットオプションが必要です。
 管理者パスワードやプロテクトコードを利用してさまざまな機能を管理できます。
 管理できる機能は以下のとおりです。

操作をプロテクトできる機能		プロテクトの種類		
		禁止	プロテクトする	プロテクトしない
ファクス送信 インターネット ファクス送信	ワンタッチ宛先送信	操作不可 「使用禁止設定 されています。 管理者にお問 い合わせくだ さい。」 と表示する	操作時に、 プロテクト コードを入力	制限なし
	直接ダイヤル (テンキーを使った送信)			
	宛先グループ送信			
	手動送信 (ハンドセットや [オンフック] を使った送信)			
	リダイヤル			
	閉域送信			
	ID チェック送信			
	メール履歴を使った送信			
	F コード送信			
	ジョブメモリー			
	メモリー送信			
	分割送信			
ファイル添付				
機器設定	ワンタッチ宛先登録	操作時に、 管理 者 パ ス ワ ー ド を 入 力 して使用可能	操作時に、 プロテクト コードを入力	制限なし
	宛先グループ登録			
	自動配信			
	ポーリング原稿			
	F コード原稿			
	ジョブメモリー登録			
	F コードボックスの登録			
リスト	ワンタッチ宛先リスト	操作時に、 管理 者 パ ス ワ ー ド を 入 力 して使用可能	操作時に、 プロテクト コードを入力	制限なし
	宛先グループリスト			
	通信管理レポート			
	ジョブメモリーリスト			
	自動配信リスト			
	F コードボックスリスト			

補足

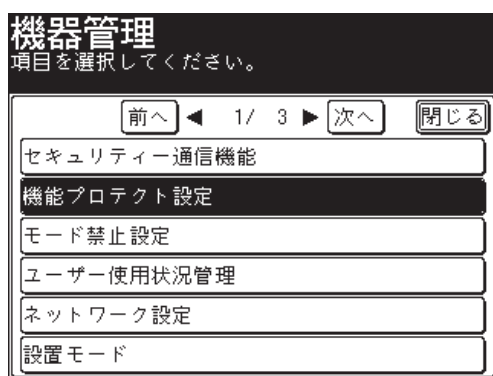
- 手動送信 (ハンドセットや [オンフック] を使った送信) の場合は、ワンタッチ宛先を使った送信 (宛先表を含む)、直接ダイヤル (テンキーを使った送信)、およびリダイヤルは制限できません。
- ユーザーポリシーの設定を使って、ユーザーごとに機能をプロテクトすることもできます。詳細は、『Information server 編 第 3 章』の「ユーザーポリシーを設定する」を参照してください。

機能プロテクトを設定する

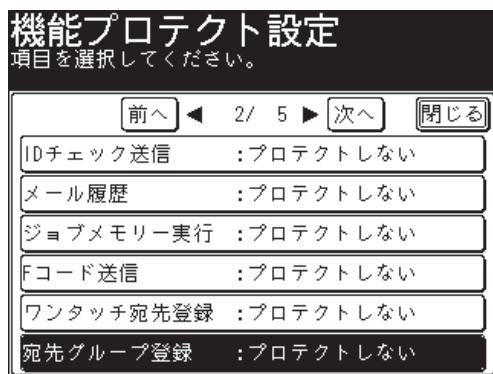
補足

機能プロテクトを設定したい場合は、あらかじめ管理者パスワード（→2-4 ページ）とプロテクトコード（→2-6 ページ）設定しておく必要があります。

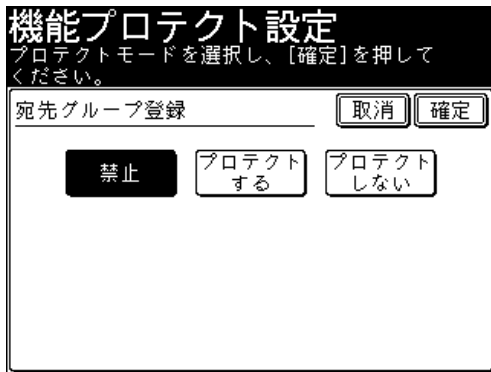
- 1 〈機器設定〉を押します。
- 2 [機器管理] を押します。
- 3 管理者パスワードを入力し、[確定] を押します。
- 4 [機能プロテクト設定] を押します。



- 5 プロテクトコードを入力し、[確定] を押します。
- 6 設定・変更したい機能を選択します。



7 プロテクトの種類を選択し、[確定] を押します。

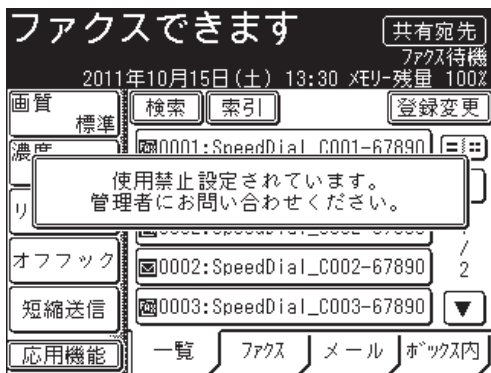


- 禁止： ファクス送信・インターネットファクス送信は使用禁止になります。機器設定やリストの出力は管理者以外による操作が禁止になります。(使用時に管理者パスワードの入力を要求)
- プロテクトする： 使用時にプロテクトコードの入力を要求します。
- プロテクトしない： 機能が使用できます。
- 続けて操作する場合は、手順 6 から操作を繰り返します。

機能プロテクトを使う

■ ファクス送信・インターネットファクス送信を「禁止」に設定した場合

機能プロテクト設定で「禁止」に設定した機能は使用できません。使用しようとする画面に「使用禁止設定されています。管理者にお問い合わせください。」というメッセージが表示されます。



■ 機器設定やリストの出力を「禁止」に設定した場合

機能プロテクト設定で機器設定やリストの出力を「禁止」に設定した場合は、その機能を使用するときに管理者パスワードの入力が要求されます。

たとえば、ワンタッチ宛先の登録を「禁止」に設定した場合で、〈機器設定〉、[各種登録]、[ワンタッチ宛先] と押したときは、管理者パスワードの入力が要求されます。

1 管理者パスワードを入力し、[確定] を押します。



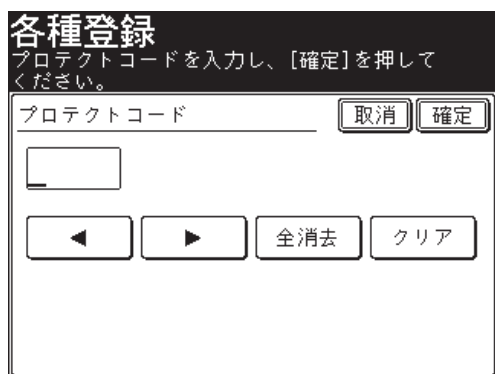
2 ワンタッチ宛先の登録を行います。

■ 「プロテクトする」に設定した場合

機能プロテクト設定で「プロテクトする」を設定した場合は、その機能を利用するときにプロテクトコードの入力が必要です。

たとえば、ワンタッチ宛先の登録を「プロテクトする」に設定した場合で、〈機器設定〉、[各種登録]、[ワンタッチ宛先] と押したときは、プロテクトコードの入力が要求されます。

1 プロテクトコードを入力し、[確定] を押します。



2 ワンタッチ宛先の登録を行います。

モード禁止設定をする

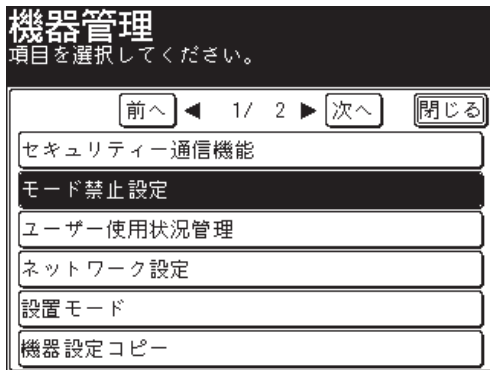
コピー機能、スキャナー機能、ファクス機能、プリンター機能を使用できないように設定できます。

モード禁止に設定したモードに切り替えようとすると、「～禁止中です」と表示され、使用できません。

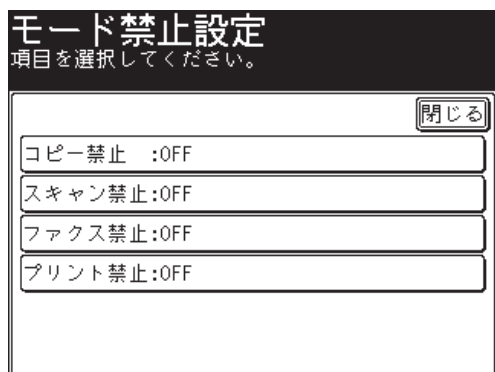
補足

- 優先待機画面に設定しているモードを使用禁止に設定すると、優先待機画面が自動的に「My MFP」に変更されます。(→ 1-35 ページ)
- ユーザーポリシーの設定を使って、ユーザーごとにモード禁止設定することもできます。詳細は、『Information server 編 第3章』の「ユーザーポリシーを設定する」を参照してください。

- 1 〈機器設定〉を押します。
- 2 [機器管理] を押します。
- 3 管理者パスワードを設定している場合は、管理者パスワードを入力し、[確定]を押します。
管理者パスワードを設定していない場合は、そのまま手順4に進みます。
- 4 [モード禁止設定] を押します。

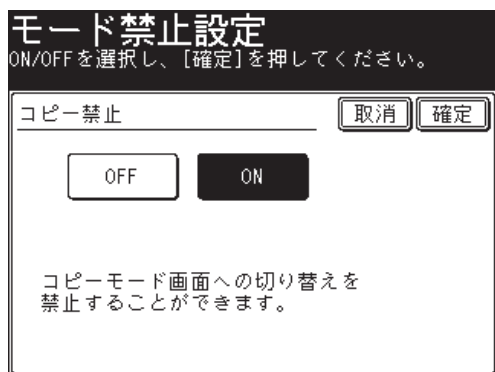


5 設定したい機能を選択します。



ここでは、[コピー禁止] を設定します。

6 [ON] を選択し、[確定] を押します。



- [OFF] を選択すると、その機能の禁止が OFF になります。
- 続けて操作する場合は、手順 5 から操作を繰り返します。

ユーザー使用状況を管理する

この機能を使用すると、ユーザーごとのコピー、スキャン、ファクス、プリントそれぞれの総ページ数やファクス通信時間などを確認できます。また、1ページあたりの単価を設定して、各ユーザーが使用したコピーやファクスなどの合計料金を集計できます。ユーザーが本製品にログインして使用した場合はユーザーごとに、ログインせずに使用した場合はゲストユーザーとして、それぞれ集計されます。

操作の流れ

- 1 通貨単位を設定する。(下記参照)
- 2 料金設定でコピー、スキャン、ファクス、プリントの設定を ON にし、1ページあたりの単価を設定する。(→2-16 ページ)
- 3 コピー、スキャン、ファクス、プリントを使用する。
- 4 ユーザー使用状況管理リストをプリントして使用状況を確認する。(→2-17 ページ)

補足

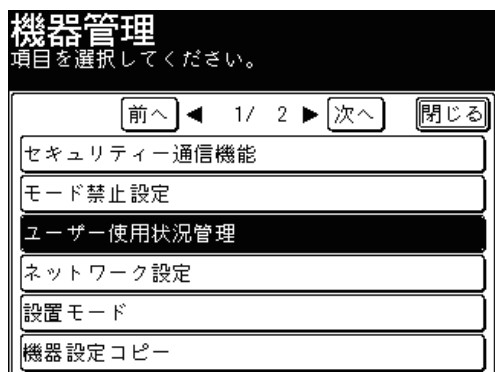
- プリントの使用状況を管理するときは、あらかじめプリンタードライバーの設定で使用するユーザーを登録しておいてください。プリンタードライバーの「拡張機能」タブでユーザーを登録します。詳細は、『プリンター編 第2章』の「詳細画面について」を参照してください。
- Information server でも、ユーザー使用状況管理を設定できます。詳細は『Information server 編 第3章』の「ユーザーの使用状況を管理する」を参照してください。
- 認証方法を [ネットワーク] に設定している場合は、ユーザー使用状況は管理できません。(→2-37 ページ)

通貨単位を設定する

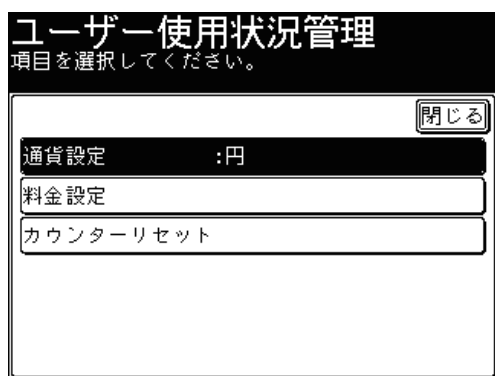
料金設定の通貨単位を設定します。

- 1 〈機器設定〉を押します。
- 2 [機器管理] を押します。
- 3 管理者パスワードを設定している場合は、管理者パスワードを入力し、[確定] を押します。
管理者パスワードを設定していない場合は、そのまま手順 4 に進みます。

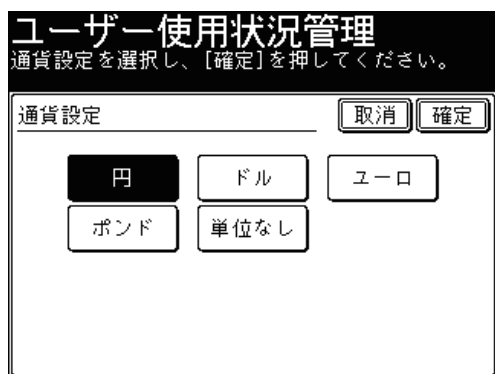
- 4 [ユーザー使用状況管理] を押します。



- 5 [通貨設定] を押します。



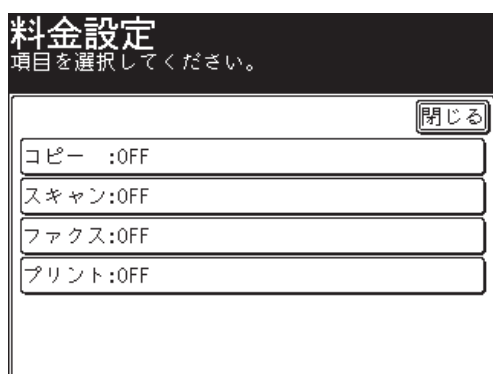
- 6 通貨単位を選択し、[確定] を押します。



料金を設定する

コピー、スキャン、ファクス、プリントの1ページあたりの単価を設定します。

- 1 〈機器設定〉を押します。
- 2 [機器管理]を押します。
- 3 管理者パスワードを設定している場合は、管理者パスワードを入力し、[確定]を押します。
管理者パスワードを設定していない場合は、そのまま手順4に進みます。
- 4 [ユーザー使用状況管理]を押します。
- 5 [料金設定]を押します。
- 6 設定したい機能を選択します。



- 7 [ON]を押します。



[OFF]を選択すると、料金設定がOFFになります。

- 8 1ページあたりの単価を入力し、[確定]を押します。
 - [+]と[-]、またはテンキーを使ってを設定します。
 - 続けて操作する場合は、手順6から操作を繰り返します。

ユーザー使用状況管理リストをプリントする

各モードで使用したページ数をユーザーごとにカウントし、料金や通信時間の合計をプリントできます。

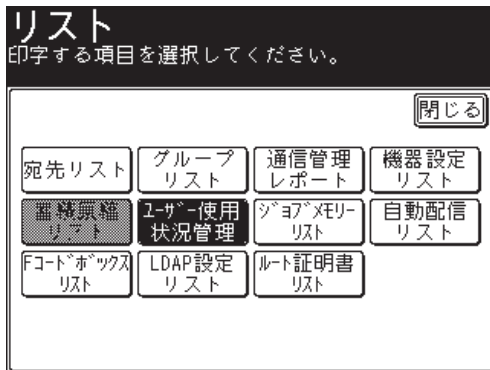
ユーザー使用状況管理リストには、以下の情報が記載されています。

- コピー、スキャン、ファクス、プリントの1ページあたりの単価
- 全ユーザーの合計料金と総通信時間
- ゲストユーザー、一般ユーザーの総通信時間
- ゲストユーザー、一般ユーザーのスキャン、ファクス、またはプリントの総ページ数と合計料金

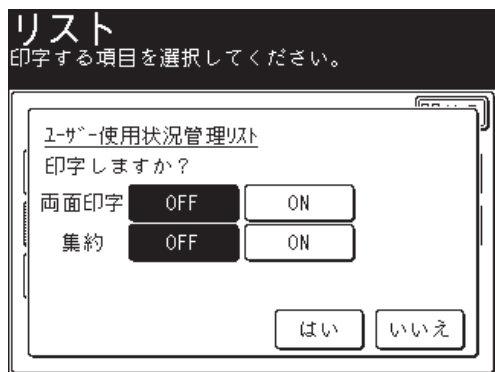
補足

- インターネットファクスのページ数や通信時間はファクスの項目に加算されます。
- 料金設定がONに設定されている項目のみ、リストにプリントされます。
- 999999 ページ、通信時間 999:59:59 (999 時間 59 分 59 秒) までカウントできます。
- 特定のユーザーの機器使用状況のみをプリントしたい場合は、Information server からリストをプリントしてください。詳細は『Information server 編 第3章』の「ユーザーの使用状況を管理する」を参照してください。

- 1 〈機器設定〉を押します。
- 2 [リスト] を押します。
- 3 [ユーザー使用状況管理] を押します。



- 4 両面にプリントをする場合は、「両面印字」で [ON] を、しない場合は [OFF] を選択します。

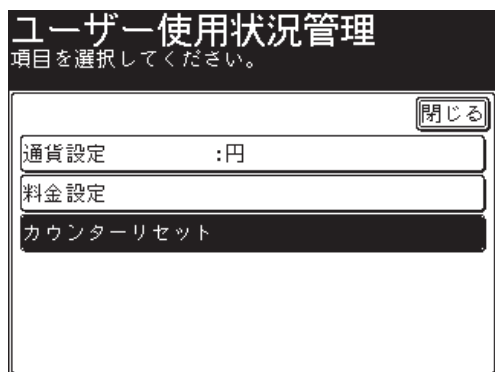


- 5 集約してプリントする場合は、「集約」で [ON] を、しない場合は [OFF] を選択します。
- 6 [はい] を押します。

集計データを消去する

集計したデータをすべて消去します。

- 1 〈機器設定〉を押します。
- 2 [機器管理] を押します。
- 3 管理者パスワードを設定している場合は、管理者パスワードを入力し、[確定] を押します。
管理者パスワードを設定していない場合は、そのまま手順 4 に進みます。
- 4 [ユーザー使用状況管理] を押します。
- 5 [カウンターリセット] を押します。



- 6 集計データを消去する場合は [はい] を押します。

ネットワーク設定をする

ネットワークに関連するさまざまな機能を使用するための設定をします。

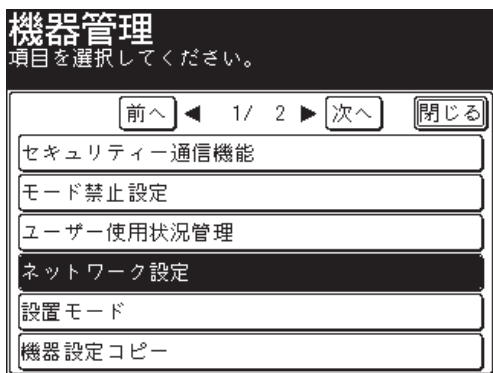
補足

Information server でも、ネットワークを設定できます。Information server をお使いいただくと便利です。詳細は『Information server 編 第3章』の「接続環境を設定する」を参照してください。

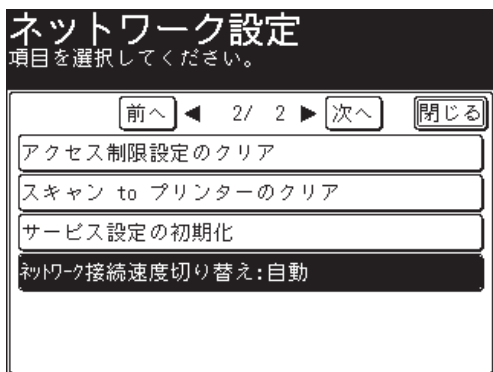
■ 設定例

ここでは、ネットワーク接続速度の切り替えを例に説明します。

- 1 〈機器設定〉を押します。
- 2 [機器管理] を押します。
- 3 管理者パスワードを設定している場合は、管理者パスワードを入力し、[確定] を押します。
管理者パスワードを設定していない場合は、そのまま手順4に進みます。
- 4 [ネットワーク設定] を押します。



- 5 設定したい機能を選択します。



- 6 希望の設定を選択し、[確定] を押します。
続けて操作する場合は、手順5から操作を繰り返します。

■ ネットワーク一覧

ネットワークに関連するさまざまな機能を使用するための設定をします。

機能	機能説明	設定値	参照ページ
Ping	特定の IP アドレスを入力して ping を実行し、接続状況を確認できません。		—
LDAP 設定	LDAP サーバーの登録、変更、削除、またはリストのプリントができません。 <ul style="list-style-type: none"> • 名前 • LDAP サーバーアドレス • ポート番号 • LDAP ログイン • ls ユーザーログイン • アカウント ID • パスワード • 検索開始位置 • 検索結果最大件数 • 最大検索時間 • オプション設定 • 検索属性設定 	登録されてません	2-30
TCP/IP 設定	本製品をネットワークで使用するための設定をします。 <ul style="list-style-type: none"> • ホスト名 • ワークグループ名 • DNS サーバーアドレス • DNS サフィクス • IP アドレス自動取得 (DHCP) • IP アドレス • サブネットマスク • ゲートウェイアドレス • WINS サーバーアドレス • IPv6 設定 	MAC アドレスが入力されています WORKGROUP 登録されていません 登録されていません ON OFF 192.168.1.10 255.255.255.0 登録されていません 登録されていません	2-22 Information server 編第 3 章の「接続環境を設定する」を参照してください。
アーカイブ設定	ファクスや電子メールで送受信した文書の内容を、指定した宛先にファクス送信したり、指定した共有フォルダーに格納したりできません。	登録されていません	2-39

機能	機能説明	設定値	参照ページ
メールゲートウェイ	<p>メールゲートウェイ（ファクスサーバー）に文書を送信できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 設定 初期値を設定できます。 プレフィクス 電子メールアドレスのローカル部の接頭辞を入力します。 32文字まで登録できます。 サフィクス 電子メールアドレスのローカル部の接尾辞を入力します。 48文字まで登録できます。 	<p>ON OFF</p> <p>登録されていません</p> <p>登録されていません</p>	2-43
認証方法	ログインするユーザーの認証方法を設定します。	スタンドアロン シングルサインオン ネットワーク	2-37
アクセス制限設定のクリア	Information server で設定したアクセス制限を、本製品から初期化できます。 Information server にアクセスできない場合に、利用します。		—
スキャン to プリンターのクリア	スキャン to プリントモニターで登録したプリンターを、本製品から削除できます。 スキャン to プリントモニターを利用しているコンピューターが本製品にアクセスできない場合に、利用します。		—
サービス設定の初期化	Information server で設定したマシンポリシー設定にあるサービス設定を、初期化できます。 Information server にアクセスできない場合に、利用します。		—
ネットワーク接続速度切り替え	接続している LAN の通信速度を設定できます。	<p>自動</p> <p>100Mbps - 全二重</p> <p>100Mbps - 半二重</p> <p>10Mbps - 全二重</p> <p>10Mbps - 半二重</p>	—

補足

—の付いている値が、工場を出荷したときにあらかじめ設定されている値です。

TCP/IP 設定をする

本製品をネットワーク上で使用するための設定をします。設定できるのは、以下の項目です。

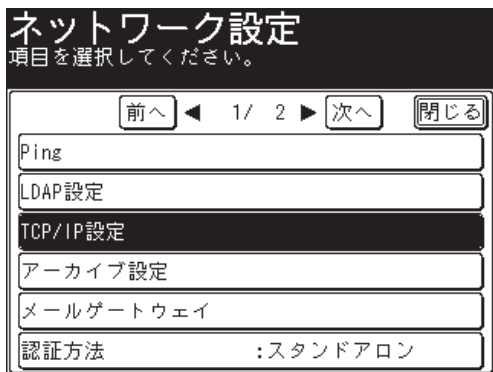
項目	説明	参照ページ
ホスト名	本製品のホスト名を入力します。 あらかじめ設定されている値は、機器の MAC アドレスです。 半角 15 文字まで入力できます。	2-24
ワークグループ名	本製品が接続されているネットワークのワークグループ名を入力します。 あらかじめ設定されている値は「WORKGROUP」です。 半角 15 文字まで入力できます。	2-24
DNS サーバーアドレス	DNS サーバーを使用しているときは、優先 DNS サーバーアドレス、代替 DNS サーバーアドレスを入力します。 半角 39 文字まで入力できます。	2-25
DNS サフィクス	ホスト名だけで名前解決をする場合は、DNS サフィクスを登録します。 半角 50 文字まで入力できます。	2-26
IP アドレス自動取得	DHCP サーバーを使用して、IP アドレスを自動で取得する設定を有効にします。IP アドレスを自動で取得する場合は「ON」、自動で取得しない場合は「OFF」を設定します。	2-27
IP アドレス	IP アドレスを入力します。0.0.0.0、255.255.255、127. から始まるアドレスの入力はできません。 補足 IP アドレス自動取得が「ON」の場合は、IP アドレスの編集ができません。	2-28
サブネットマスク	サブネットマスクを入力します。0.0.0.0、255.255.255、127. から始まるアドレスの入力はできません。 補足 IP アドレス自動取得が「ON」の場合は、サブネットマスクの編集ができません。	2-28
ゲートウェイアドレス	ゲートウェイを使用しているときは、ゲートウェイアドレスを入力します。0.0.0.0、255.255.255、127. から始まるアドレスの入力はできません。	2-29
WINS サーバーアドレス	WINS サーバーを使用しているときは、WINS サーバーアドレスを入力します。0.0.0.0、255.255.255、127. から始まるアドレスの入力はできません。	2-29
IPv6 設定	Pv6 設定の詳細は、『Information server 編 第 3 章』の「接続環境を設定する」を参照してください。 <ul style="list-style-type: none">• IPv6 アドレスを自動で取得する• リンクローカルアドレス• グローバル IP アドレス• サブネットプレフィクス• ゲートウェイアドレス	—

補足

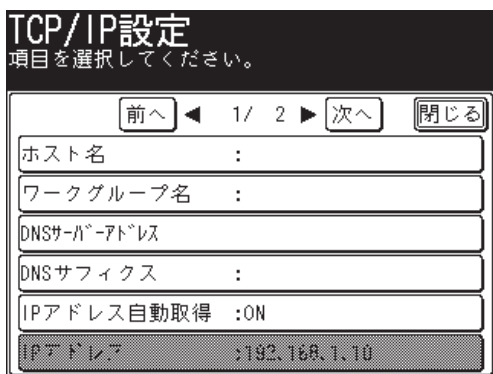
- Information server でも、TCP/IP 設定ができます。詳細は『Information server 編 第 3 章』の「接続環境を設定する」を参照してください。
- IP アドレスの変更は、ネットワーク管理者の了承を得てください。不用意に変更すると、ネットワークが正常に機能しなくなる場合があります。

■ TCP/IP 設定画面を開ける

- 1 〈機器設定〉を押します。
- 2 [機器管理] を押します。
- 3 管理者パスワードを設定している場合は、管理者パスワードを入力し、[確定] を押します。
管理者パスワードを設定していない場合は、そのまま手順 4 に進みます。
- 4 [ネットワーク設定] を押します。
- 5 [TCP/IP 設定] を押します。

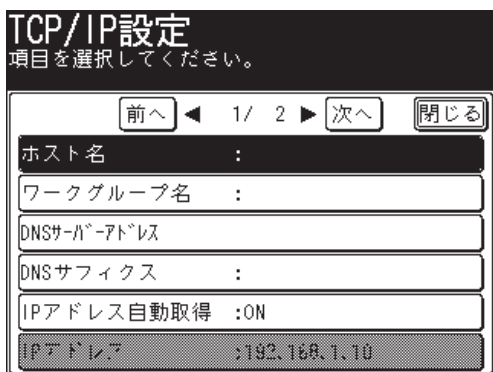


- 6 それぞれ設定を行います。



■ ホスト名を設定する

- 1 TCP/IP 設定画面を開きます。(→ 2-23 ページ)
- 2 [ホスト名] を押します。



The screenshot shows the 'TCP/IP設定' (TCP/IP Settings) window. At the top, it says '項目を選択してください。' (Please select an item). Below this are navigation buttons: '前へ' (Previous), '1 / 2' (Page indicator), '次へ' (Next), and '閉じる' (Close). The main area contains several input fields: 'ホスト名' (Host Name), 'ワークグループ名' (Workgroup Name), 'DNSサーバーアドレス' (DNS Server Address), 'DNSサフィクス' (DNS Suffix), 'IPアドレス自動取得' (IP Address Auto-Obtain) set to 'ON', and 'IPアドレス' (IP Address) set to '192.168.1.10'. The 'ホスト名' field is currently selected and highlighted with a dark background.

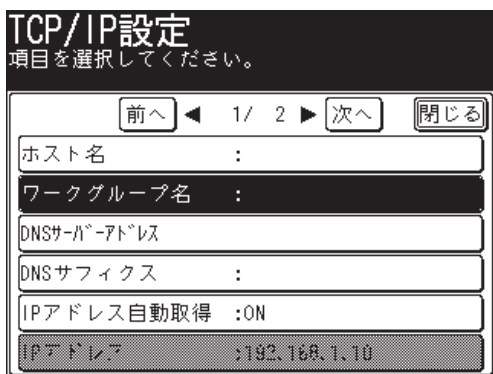
- 3 ホスト名を入力し、[確定] を押します。
名前の先頭に「*」は、入力できません。

■ ワークグループ名を設定する

補足

- ドメイン名はワークグループ名として使用できません。
- ネットワーク上にワークグループがない場合は、新しいワークグループを作成してください。
- 新しいワークグループを作成する場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

- 1 TCP/IP 設定画面を開きます。(→ 2-23 ページ)
- 2 [ワークグループ名] を押します。



This screenshot is identical to the one above, showing the 'TCP/IP設定' window. In this instance, the 'ワークグループ名' (Workgroup Name) field is selected and highlighted with a dark background.

- 3 ワークグループ名を入力し、[確定] を押します。
名前の先頭に「*」は、入力できません。

■ DNS サーバーアドレスを設定する

- 1 TCP/IP 設定画面を開きます。(→ 2-23 ページ)
- 2 [DNS サーバーアドレス] を押します。

TCP/IP設定
項目を選択してください。

前へ ◀ 1/ 2 ▶ 次へ 閉じる

ホスト名 :

ワークグループ名 :

DNSサーバーアドレス

DNSサフィクス :

IPアドレス自動取得 :ON

IPアドレス :192.168.1.10

- 3 [優先 DNS サーバー] を押します。

DNSサーバーアドレス
項目を選択してください。

閉じる

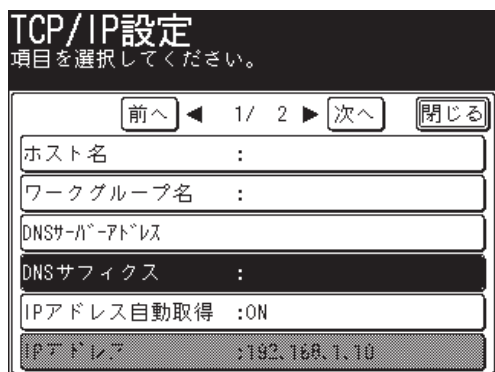
優先DNSサーバー:

代替DNSサーバー:

- 4 優先 DNS サーバーのアドレスを入力し、[確定] を押します。
- 5 [代替 DNS サーバー] を押します。
- 6 代替 DNS サーバーのアドレスを入力し、[確定] を押します。

■ DNS サフィクスを設定する

- 1 TCP/IP 設定画面を開きます。(→ 2-23 ページ)
- 2 [DNS サフィクス] を押します。



The screenshot shows a window titled "TCP/IP設定" (TCP/IP Settings) with the instruction "項目を選択してください。" (Please select an item.). At the top, there are navigation buttons: "前へ" (Previous), "1 / 2" (Page indicator), "次へ" (Next), and "閉じる" (Close). Below these are several input fields:

- ホスト名 (Host name) : []
- ワークグループ名 (Workgroup name) : []
- DNSサーバーアドレス (DNS server address) : []
- DNS サフィクス (DNS suffix) : []** (This field is highlighted with a dark background)
- IPアドレス自動取得 (IP address automatic acquisition) : ON
- IPアドレス (IP address) : 192.168.1.10

- 3 DNS 検索時に使用するサフィクスを入力し、[確定] を押します。

■ IPアドレスを自動取得する

DHCP サーバーを利用して、IP アドレスやサブネットマスクなどを自動的に取得できます。

DHCP サーバー側に設定されている場合は、ゲートウェイアドレスと DNS サーバーアドレスも同様に割り当てられます。

補足

- 長期間、電源を OFF にすると、IP アドレスが無効になる可能性があります。
- DHCP サーバーから割り当てられた IP アドレスとサブネットマスクは、変更できません。
- DHCP サーバーを利用しない場合は、DHCP 設定を OFF にして IP アドレスとサブネットマスクを手動で割り当ててください。詳細は「IP アドレスを設定する」(→ 2-28 ページ)、「サブネットマスクを設定する」(→ 2-28 ページ)を参照してください。

1 TCP/IP 設定画面を開きます。(→ 2-23 ページ)

2 [IP アドレス自動取得] を押します。

TCP/IP設定	
項目を選択してください。	
前へ ◀	1 / 2 ▶ 次へ
閉じる	
ホスト名	:
ワークグループ名	:
DNSサーバーアドレス	:
DNSサフィクス	:
IPアドレス自動取得	:ON
IPアドレス	:192.168.1.10

3 IP アドレスを自動的に取得する場合は [ON] を、しない場合は [OFF] を選択し、[確定] を押します。

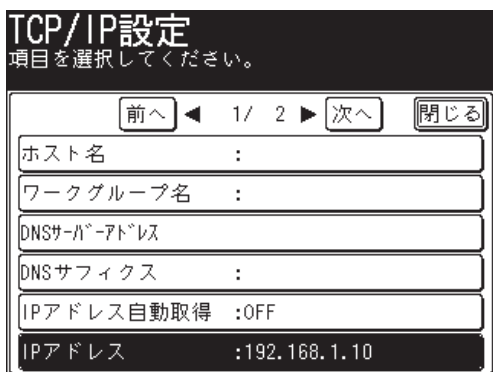
■ IP アドレスを設定する

IP アドレス自動取得を利用しないときは、手動で IP アドレスを設定します。

補足

あらかじめ「IP アドレス自動取得」を OFF に設定してください。(→ 2-27 ページ)

- 1 TCP/IP 設定画面を開きます。(→ 2-23 ページ)
- 2 [IP アドレス] を押します。



The screenshot shows the 'TCP/IP設定' (TCP/IP Settings) screen. At the top, it says '項目を選択してください。' (Please select an item). Below this are navigation buttons: '前へ' (Previous), '1 / 2' (Page indicator), '次へ' (Next), and '閉じる' (Close). The main area contains several input fields: 'ホスト名' (Host name), 'ワークグループ名' (Workgroup name), 'DNSサーバーアドレス' (DNS server address), 'DNSサフィクス' (DNS suffix), 'IPアドレス自動取得' (IP address automatic acquisition) set to 'OFF', and 'IPアドレス' (IP address) set to '192.168.1.10'.

- 3 IP アドレスを入力し、[確定] を押します。

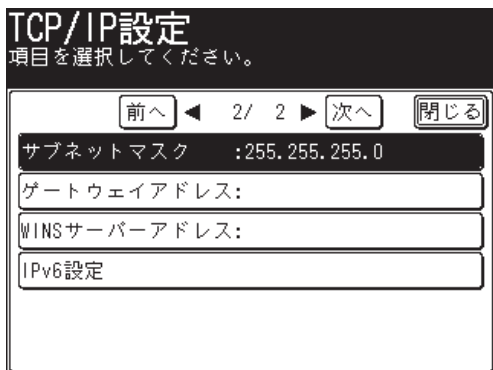
■ サブネットマスクを設定する

IP アドレス自動取得を利用しないときは、手動でサブネットマスクを設定します。

補足

あらかじめ「IP アドレス自動取得」を OFF に設定してください。(→ 2-27 ページ)

- 1 TCP/IP 設定画面を開きます。(→ 2-23 ページ)
- 2 [サブネットマスク] を押します。



The screenshot shows the 'TCP/IP設定' (TCP/IP Settings) screen. At the top, it says '項目を選択してください。' (Please select an item). Below this are navigation buttons: '前へ' (Previous), '2 / 2' (Page indicator), '次へ' (Next), and '閉じる' (Close). The main area contains several input fields: 'サブネットマスク' (Subnet mask) set to '255.255.255.0', 'ゲートウェイアドレス' (Gateway address), 'WINSサーバーアドレス' (WINS server address), and 'IPv6設定' (IPv6 settings).

- 3 サブネットマスクを入力し、[確定] を押します。

■ ゲートウェイアドレスを設定する

- 1 TCP/IP 設定画面を開きます。(→ 2-23 ページ)
- 2 [ゲートウェイアドレス] を押します。

TCP/IP設定
項目を選択してください。

前へ ◀ 2 / 2 ▶ 次へ 閉じる

サブネットマスク :255.255.255.0

ゲートウェイアドレス:

WINSサーバーアドレス:

IPv6設定

- 3 ゲートウェイのアドレスを入力し、[確定] を押します。

■ WINS サーバーアドレスを設定する

- 1 TCP/IP 設定画面を開きます。(→ 2-23 ページ)
- 2 [WINS サーバーアドレス] を押します。

TCP/IP設定
項目を選択してください。

前へ ◀ 2 / 2 ▶ 次へ 閉じる

サブネットマスク :255.255.255.0

ゲートウェイアドレス:

WINSサーバーアドレス:

IPv6設定

- 3 WINS サーバーのアドレスを入力し、[確定] を押します。

LDAP サーバーを登録する

LDAP サーバーを利用して、メールアドレスや名前など宛先情報を検索できます。
以下の情報が登録できます。

項目	説明
名前	画面に表示されるボタン名称です。半角 23 文字まで入力できます。 登録しなかった場合は、LDAP サーバーアドレスの先頭から 23 文字までが表示されます。
LDAP サーバーアドレス	登録する LDAP サーバーの名前、または IP アドレスを入力します。99 文字まで入力できます。
ポート番号	LDAP サーバーのポート番号を入力します。 設定可能範囲は 0 ～ 65535 で、初期値は 389 です。
LDAP ログイン	LDAP サーバーのアクセスにログインが必要かどうかを設定します。
ls ユーザーログイン	LDAP サーバーのアクセスにログインが必要な場合に、Information server のユーザー情報を使用するかどうかを設定します。この設定を有効にするときは、Information server のユーザー登録で LDAP サーバー認証のアカウントとパスワードを登録しておく、検索のたびにアカウントとパスワードを入力する必要がありません。
アカウント	LDAP サーバーのアクセスにログインが必要な場合で、Information server のユーザー情報を使用しないときに登録できます。アカウントを登録しないと、検索のときにアカウントの入力が必要になります。49 文字まで入力できます。
パスワード	LDAP サーバーのアクセスにログインが必要な場合で、Information server のユーザー情報を使用しないときに登録できます。パスワードを登録しないと、検索のときにパスワードの入力が必要になります。29 文字まで入力できます。
検索開始位置	LDAP サーバーの検索開始位置を入力します。99 文字まで入力できます。
検索結果最大件数	検索結果を何件まで表示するかを設定します。検索結果が設定した件数より多かった場合は、エラーを表示します。設定可能範囲は 1 ～ 100 件で、初期値は 50 件です。
最大検索時間	検索結果を表示するまでにかかる時間の上限を設定します。検索結果が設定した時間より長くかかった場合は、エラーを表示します。設定可能範囲は 0 ～ 9999 秒で、あらかじめ設定されている値は、0 (制限なし) です。
オプション設定	パラメーターに検索条件を追加できます。
追加する属性	追加する検索条件の属性を入力します。49 文字まで入力できます。
追加する値	追加する検索条件の値を入力します。99 文字まで入力できます。
検索方法	検索方法を選択します。
検索属性設定	
名前 1	名前の属性を設定します。初期値は「cn」で、49 文字まで入力できます。
名前 2	名前の属性を設定します。初期値は「commonname」で、49 文字まで入力できます。
メールアドレス 1	メールアドレスの属性を設定します。初期値は「mail」で、49 文字まで入力できます。
メールアドレス 2	メールアドレスの属性を設定します。49 文字まで入力できます。

項目	説明
ファクス番号 1	ファクス番号の属性を設定します。初期値は「facsimileTelephoneNumber」で、49文字まで入力できます。
ファクス番号 2	ファクス番号の属性を設定します。49文字まで入力できます。
電話番号 1	電話番号の属性を設定します。初期値は「telephoneNumber」で、49文字まで入力できます。
電話番号 2	電話番号の属性を設定します。49文字まで入力できます。
会社名 1	会社名の属性を設定します。初期値は「company」で、49文字まで入力できます。
会社名 2	会社名の属性を設定します。初期値は「o」で、49文字まで入力できます。

補足

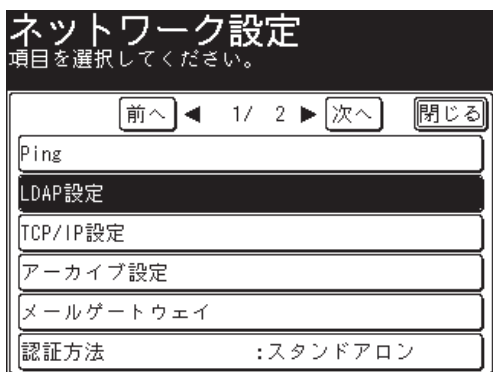
Information server でも、LDAP 設定ができます。詳細は『Information server 編 第 3 章』の「ディレクトリーデータベース環境を設定する」を参照してください。

■ LDAP サーバーを登録する・変更する

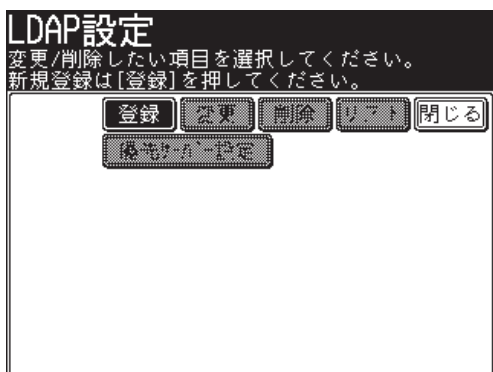
LDAP サーバーは 5 つまで登録できます。

ここでは LDAP サーバーの登録方法を説明します。変更の場合は、手順 6 で変更したい LDAP サーバーを選択し、[変更] を押します。手順 7 の画面が表示されるので、変更したい項目を選択して変更してください。

- 1 <機器設定> を押します。
- 2 [機器管理] を押します。
- 3 管理者パスワードを設定している場合は、管理者パスワードを入力し、[確定] を押します。
管理者パスワードを設定していない場合は、そのまま手順 4 に進みます。
- 4 [ネットワーク設定] を押します。
- 5 [LDAP 設定] を押します。

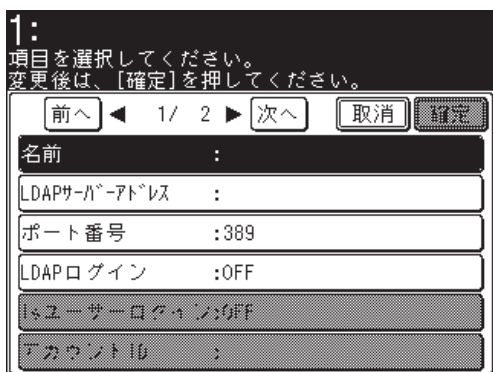


6 [登録] を押します。



変更する場合は、変更したい設定を選択し、[変更] を押します。

7 [名前] を押します。



8 LDAP サーバー設定に付ける名前を入力し、[確定] を押します。

9 [LDAP サーバーアドレス] を押します。

10 LDAP サーバー名または LDAP サーバーの IP アドレスを入力し、[確定] を押します。

11 [ポート番号] を押します。

12 ポート番号を入力し、[確定] を押します。 [+] と [-]、またはテンキーを使ってを設定します。

13 [LDAP ログイン] を押します。

14 [ON] または [OFF] を選択し、[確定] を押します。 [ON] を選択した場合は手順 15 に、[OFF] を選択した場合は手順 21 に進みます。

15 [Is ユーザーログイン] を押します。

16 [ON] または [OFF] を選択し、[確定] を押します。

17 [アカウント ID] を押します。

- 18 必要に応じてアカウントを入力し、[確定] を押します。
- 19 [パスワード] を押します。
- 20 必要に応じてパスワードを入力し、[確定] を押します。
- 21 [検索開始位置] を押します。
- 22 検索開始位置を入力し、[確定] を押します。
- 23 [検索結果最大件数] を押します。
- 24 検索結果の最大件数を入力し、[確定] を押します。
[+] と [-]、またはテンキーを使ってを設定します。
- 25 [最大検索時間] を押します。
- 26 検索時間の最大秒数を入力し、[確定] を押します。
[+] と [-]、またはテンキーを使ってを設定します。
- 27 検索条件を追加する場合は、[オプション設定] を押します。
オプション設定をしない場合は、手順 29 に進みます
- 28 必要に応じて、オプション設定を登録します。

登録のあとは、[閉じる] を押します。

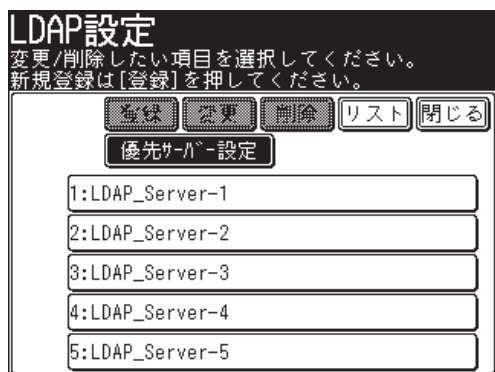
- 29 [検索属性設定] を押します。
- 30 設定したい属性を選択し、属性を入力します。
登録のあとは、[閉じる] を押します。
- 31 [確定] を押します。
1 つ目の LDAP サーバーを登録した場合は、「優先サーバーに設定しました。」というメッセージが表示されます。

■ 優先 LDAP サーバーを設定する

登録されている LDAP サーバーの中から、LDAP 検索するとき使用する LDAP サーバーを設定します。

あらかじめ 1 つ以上の LDAP サーバーを登録しておいてください。

- 1 〈機器設定〉を押します。
- 2 [機器管理] を押します。
- 3 管理者パスワードを設定している場合は、管理者パスワードを入力し、[確定]を押します。
管理者パスワードを設定していない場合は、そのまま手順 4 に進みます。
- 4 [ネットワーク設定] を押します。
- 5 [LDAP 設定] を押します。
- 6 [優先サーバー設定] を押します。



- 7 使用したい LDAP サーバーを選択し、[確定] を押します。



■ LDAP サーバーを削除する

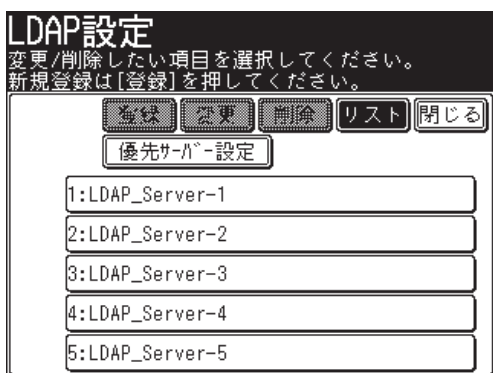
- 1 〈機器設定〉を押します。
- 2 [機器管理] を押します。
- 3 管理者パスワードを設定している場合は、管理者パスワードを入力し、[確定] を押します。
管理者パスワードを設定していない場合は、そのまま手順 4 に進みます。
- 4 [ネットワーク設定] を押します。
- 5 [LDAP 設定] を押します。
- 6 削除したい LDAP サーバーを選択し、[削除] を押します。



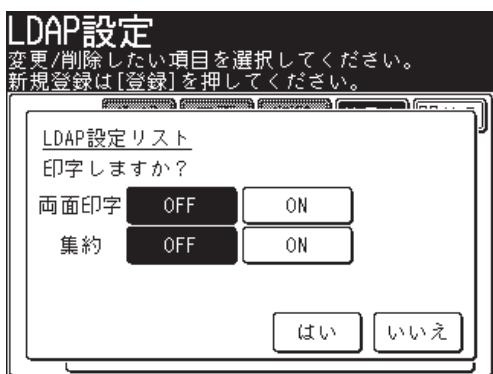
- 7 [はい] を押します。

■ LDAP 設定リストをプリントする

- 1 〈機器設定〉を押します。
- 2 [機器管理] を押します。
- 3 管理者パスワードを設定している場合は、管理者パスワードを入力し、[確定] を押します。
管理者パスワードを設定していない場合は、そのまま手順 4 に進みます。
- 4 [ネットワーク設定] を押します。
- 5 [LDAP 設定] を押します。
- 6 [リスト] を押します。



- 7 両面にプリントをする場合は、「両面印字」で [ON] を、しない場合は [OFF] を選択します。



- 8 集約してプリントする場合は、「集約」で [ON] を、しない場合は [OFF] を選択します。
- 9 [はい] を押します。

補足

LDAP 設定リストは〈機器設定〉の [リスト] にある [LDAP 設定リスト] からもプリントできます。

ユーザー認証方法を設定する

本製品は使用するユーザーの認証方法を設定して、機器の使用を制限できます。

認証方法は3種類あります。

認証方法	説明
スタンドアロン	本製品の中のユーザー情報を使って、ユーザー認証を行います。 あらかじめ、Information server でユーザー情報を登録しておく必要があります。
シングルサインオン	Active Directory の認証を行ったあと、本製品の中のユーザー情報を使ってユーザー認証を行います。 Information server に該当するユーザー情報が登録されていない場合は、自動的にユーザー情報を新規登録します。また、該当するユーザー情報がすでに登録されている場合は、Active Directory に登録されている情報で上書きします。
ネットワーク	Active Directory 情報を使って、ユーザー認証を行います。 認証方法を「ネットワーク」に変更した場合は、登録済みのユーザー情報がすべて消去されます。

補足

- 登録ユーザー数が上限（200件）を超えた場合は、[シングルサインオン] 設定時でもユーザー登録はされず、ゲストユーザーとしてログインします。
- [シングルサインオン] で、自動的に新規登録、または上書きされるユーザー情報については、『Information server 編 第3章』の「マシンポリシー設定する」を参照してください。
- ユーザー認証を「シングルサインオン」または「ネットワーク」に設定するときは、あらかじめTCP/IPの設定（→2-22ページ）や、ドメイン名の登録が必要です。ドメイン名は、Information server の画面から登録してください。詳細は、『Information server 編 第3章』の「マシンポリシー設定する」を参照してください。

■ 認証方法を設定する

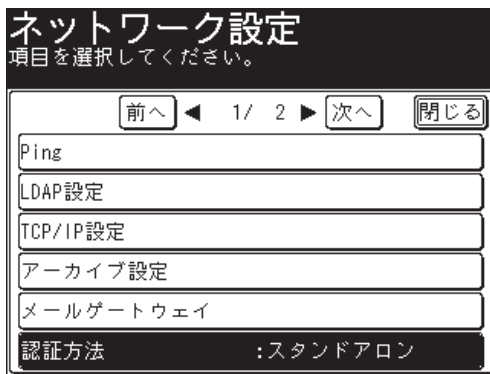
ログインするユーザーの認証方法を設定します。

- 1 〈機器設定〉を押します。
- 2 [機器管理] を押します。
- 3 管理者パスワードを設定している場合は、管理者パスワードを入力し、[確定] を押します。

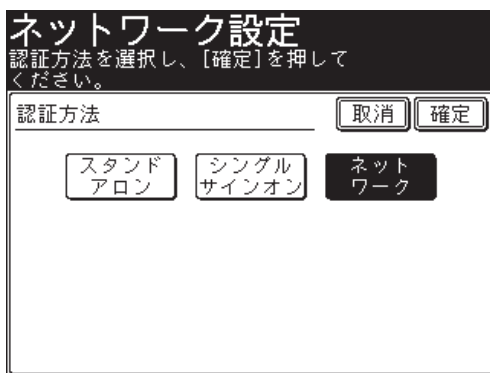
管理者パスワードを設定していない場合は、そのまま手順4に進みます。

4 [ネットワーク設定] を押します。

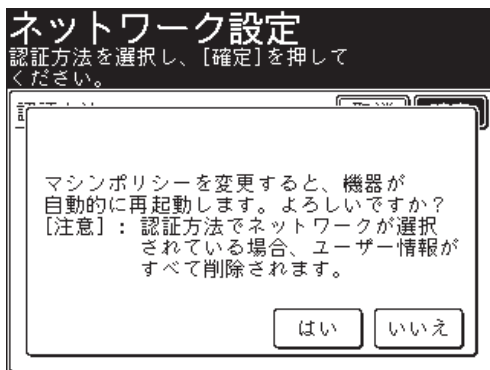
5 [認証方法] を押します。



6 設定したい項目を選択し、[確定] を押します。



7 [はい] を押します。



マシンポリシーの設定を反映させるため、本製品が再起動されます。

アーカイブ設定をする

ファクスや電子メールで送受信した文書の内容を、指定した宛先にファクス送信したり、指定した共有フォルダーに格納したりできます。これを「アーカイブ」といいます。それぞれ設定できるアーカイブ先は1つです。

■アーカイブできる通信の種類

- ・送信済みファクス
- ・送信済みインターネットファクス
- ・送信済み電子メール
- ・受信済みファクス
- ・受信済みインターネットファクス

■アーカイブできない通信の種類

- ・ポーリング送信
- ・ポーリング受信
- ・Fコードポーリング送信
- ・Fコードポーリング受信
- ・Fコード親展受信
- ・Fコード掲示板受信

■格納先（いずれか1つ）

- ・ファクス宛先
- ・共有フォルダー

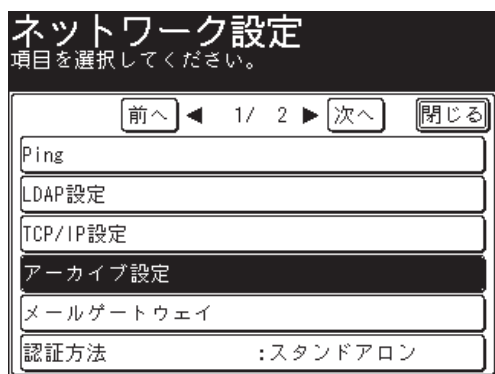
📌補足

- アーカイブ設定が ON の場合、リアルタイム送信および手動送信（ハンドセットや [オンフック] を使った送信）はできません。
- 送信済み電子メールは、ファクス宛先にはアーカイブできません。
- 送受信が正常に行われた場合のみ、設定したデータ保存が行われます。エラーなどで正常に送受信されなかった場合は、設定したデータ保存は行われません。
- アーカイブに失敗するとチェックメッセージがプリントされます。ユーザーが送信したファクスやインターネットファクスの送受信の失敗ではありません。
- Information server でも、アーカイブ設定できます。詳細は『Information server 編 第3章』の「通信したデータを保存する（アーカイブ設定）」を参照してください。

■ 設定例：送信済みファクスのアーカイブ先を設定する

ここでは、送信済みファクスのアーカイブ先設定を例に説明します。

- 1 〈機器設定〉を押します。
- 2 [機器管理]を押します。
- 3 管理者パスワードを設定している場合は、管理者パスワードを入力し、[確定]を押します。
管理者パスワードを設定していない場合は、そのまま手順4に進みます。
- 4 [ネットワーク設定]を押します。
- 5 [アーカイブ設定]を押します。

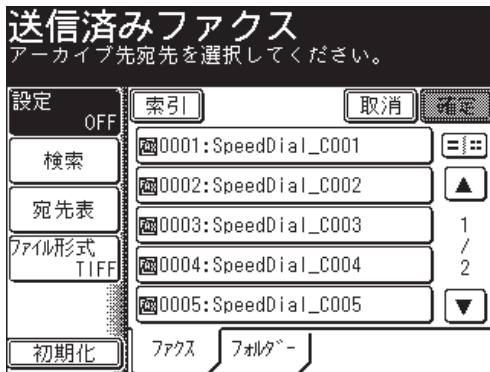


- 6 設定したい項目を選択します。



ここでは、[送信済みファクス]を押します。

7 [設定] を押します。

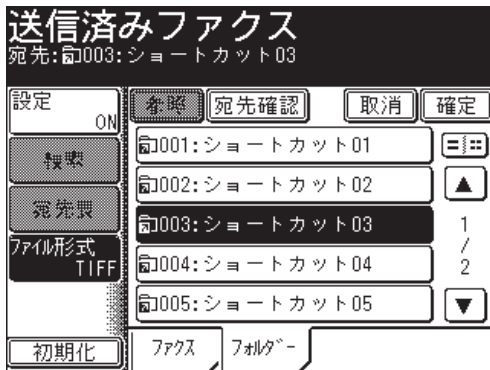


[設定] を押すごとに ON と OFF が切り替わります。

8 アーカイブ先を設定します。

- ファクス番号または電子メールを宛先に設定方法については『スキャナー・ファクス編 第5章』の「宛先を選択する」を参照してください。
- フォルダを設定する場合は、フォルダショートカットを選択する方法とフォルダのリンク先を入力する方法があります。詳細については『スキャナー・ファクス編 第1章』の「スキャンした原稿を共有フォルダに保存する (スキャン to フォルダ)」を参照してください。

9 [ファイル形式] を押します。



ファクス宛先を設定した場合は、手順 11 に進んでください。

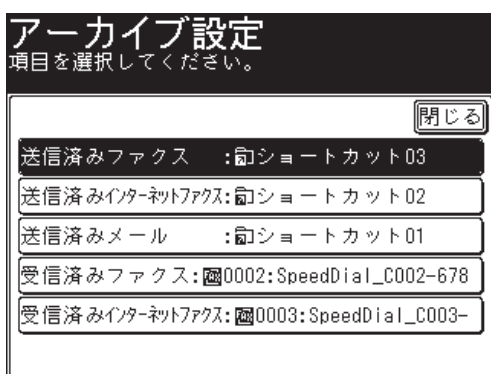
10 設定したいファイル形式を選択し、[確定] を押します。

11 [確定] を押します。

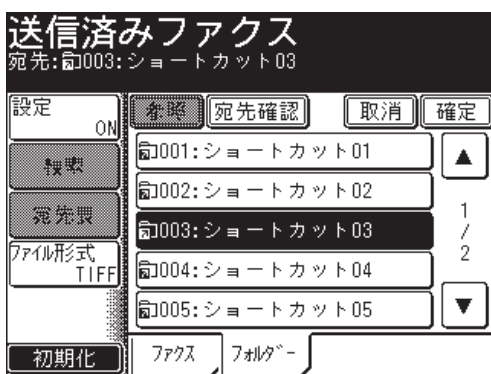
- 手順はこれで終了です。
- 続けて操作する場合は、手順 6 から操作を繰り返します。

■ アーカイブ設定を初期化する

- 1 〈機器設定〉を押します。
- 2 [機器管理]を押します。
- 3 管理者パスワードを設定している場合は、管理者パスワードを入力し、[確定]を押します。
管理者パスワードを設定していない場合は、そのまま手順4に進みます。
- 4 [ネットワーク設定]を押します。
- 5 [アーカイブ設定]を押します。
- 6 アーカイブ設定を初期化したい項目を選択します。



- 7 [初期化]を押します。



- 8 初期化する場合は [はい] を押します。

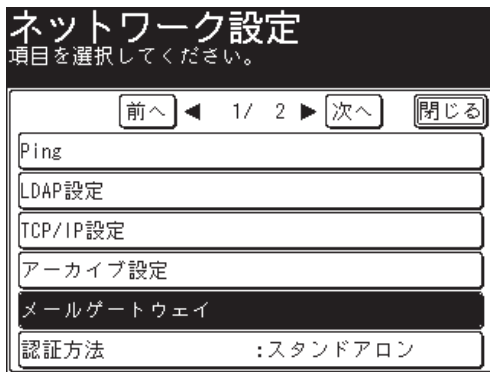
メールゲートウェイを設定する

メールゲートウェイ機能とは、ファクスサーバーにファクス送信することで、ファクスサーバーから公衆回線を通じて相手先のファクスに送信する機能です。利用方法については、ファクスサーバーの説明書をお読みください。

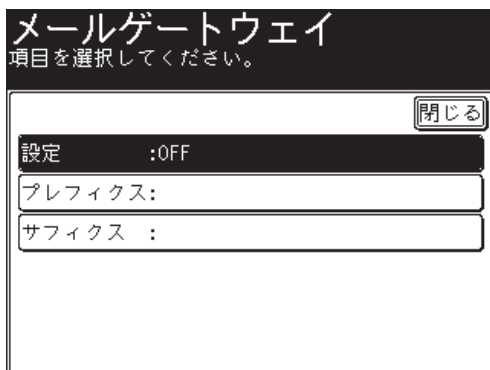
補足

- プレフィクスとサフィクスは、ファクスサーバーのご利用方法に合わせて設定してください。
- Information server でも、メールゲートウェイが設定できます。詳細は『Information server 編 第3章』の「本製品の機器設定を行う」を参照してください。
- 1 通信ごとのメールゲートウェイを使った送信を設定するときは『スキャナー・ファクス編 第4章』の「さまざまなファクス機能」を参照してください。

- 1 〈機器設定〉を押します。
- 2 [機器管理] を押します。
- 3 管理者パスワードを設定している場合は、管理者パスワードを入力し、[確定] を押します。
管理者パスワードを設定していない場合は、そのまま手順 4 に進みます。
- 4 [ネットワーク設定] を押します。
- 5 [メールゲートウェイ] を押します。

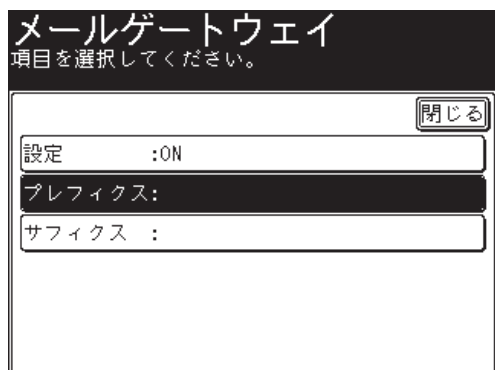


- 6 [設定] を押します。



7 [ON] を選択し、[確定] を押します。
[OFF] を選択すると、メールゲートウェイがOFF になります。

8 [プレフィクス] を押します。



9 ファクス番号の前に追加したいプレフィクスを入力し、[確定] を押します。
32 文字まで入力できます。

10 [サフィクス] を押します。

11 ファクス番号の最後に追加したいサフィクスを入力し、[確定] を押します。
48 文字まで入力できます。

補足

- プレフィクスとファクス番号とサフィクスの合計文字数が 50 文字以内になるようにしてください。
- 特定のプレフィクスとサフィクスについては、メールゲートウェイの取扱説明書を参照してください。
- メールゲートウェイを使用したファクス送信方法については『スキャナー・ファクス編 第4章』の「さまざまなファクス機能」を参照してください。

機器設定をコピーする

コピー設定、ファクス設定やワンタッチ宛先の登録内容などの機器設定データを同機種のほかの機器へコピーできます。

複数台の機器で機器設定を同じにしたい場合などに便利です。

2

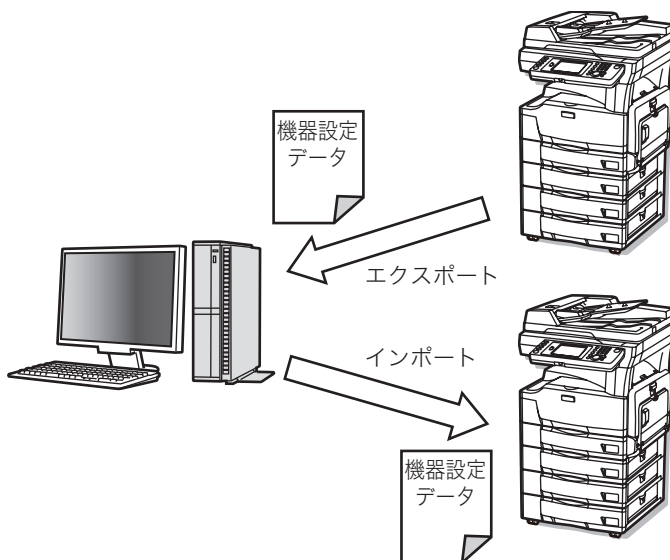
管理設定をする

機器設定コピーの方法

機器設定をコピーする方法は、以下の3つがあります。

ネットワーク経由でインポート・エクスポートする

コンピュータを使用して、ネットワーク経由で機器設定データをエクスポートし、ほかの機器へインポートします。

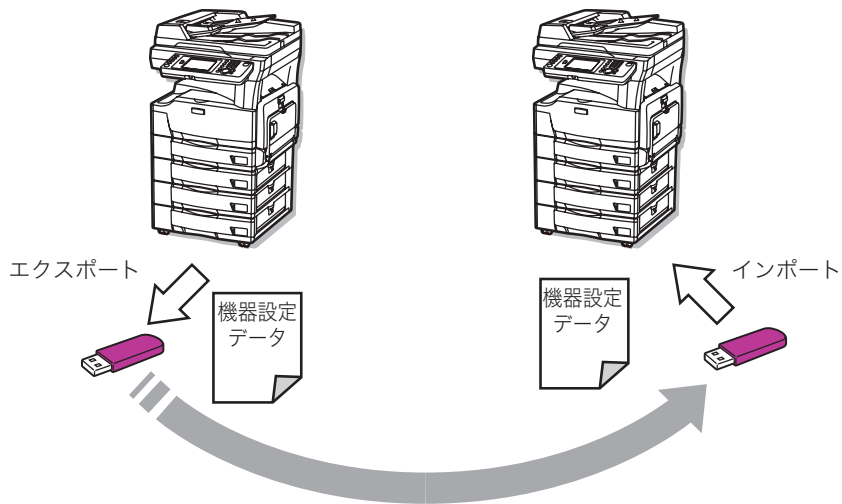


補足

ネットワーク経由で機器設定データをインポート・エクスポートする場合は、Information server から操作します。詳細は、『Information server 編 第3章』の「機器設定を表示したりコピーしたりする」を参照してください。

USB メモリーを使ってインポート・エクスポートする

USB メモリーに機器設定データをエクスポートし、ほかの機器へインポートします。コンピューターは不要です。

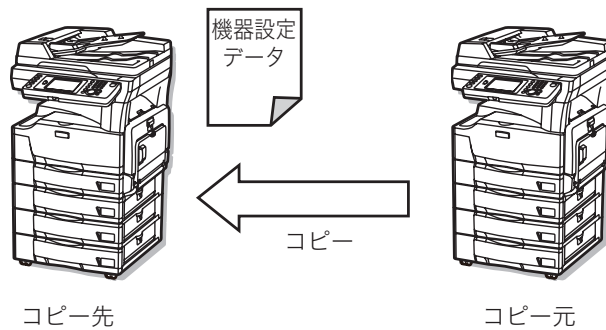


補足

ネットワーク経由でエクスポートした機器設定データを USB メモリーに保存し、USB メモリーで機器へインポートもできます。また、USB メモリーにエクスポートした機器設定データをネットワーク経由で機器にインポートもできます。

ネットワーク経由で直接コピーする

ネットワーク経由で機器設定データをほかの機器へ直接コピーします。コンピューターは不要です。



USB メモリーを使ってインポート・エクスポートする

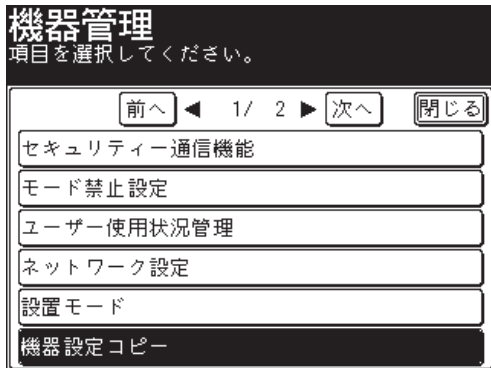
本製品の画面から操作して、USB メモリーに機器設定データをエクスポートしてほかの機器へインポートできます。

補足

- FAT12、FAT16、または FAT32 でフォーマットした USB メモリーが使用できます。
- セキュリティー機能付の USB メモリーや、USB 接続のメモリーカードリーダー、延長ケーブルや USB ハブ経由での USB メモリー、USB の規格に準拠していない USB メモリーはサポートしていません。
- 途中で USB メモリーの容量が不足した場合は、書き込み中のデータがすべて削除されます。あらかじめ USB メモリーの容量が十分あることを確認してください。

■ USB メモリーにエクスポートする

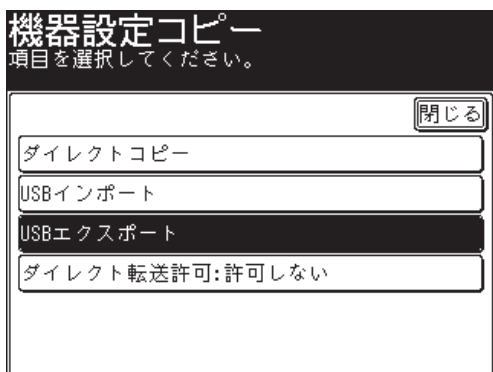
- 1 〈機器設定〉を押します。
- 2 [機器管理] を押します。
- 3 管理者パスワードを設定している場合は、管理者パスワードを入力し、[確定] を押します。
管理者パスワードを設定していない場合は、そのまま手順 4 に進みます。
- 4 [機器設定コピー] を押します。



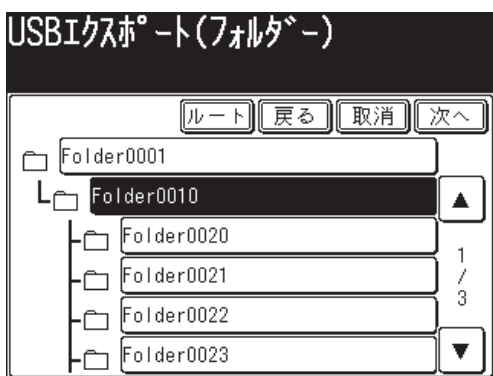
- 5 エクスポートする機器の USB メモリー接続端子に、USB メモリーを接続します。



6 [USB エクスポート] を押します。



7 機器設定データを保存するフォルダーを指定し、[次へ] を押します。



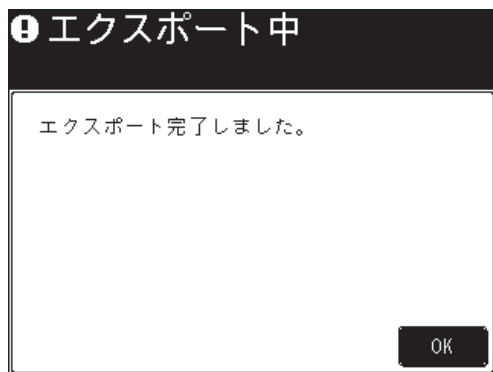
[ルート] をクリックすると、一番先頭の階層 (ルート) に戻ります。

8 ファイル名を入力し、[実行] を押します。



- 初期ファイル名は、「製品名称_機台番号_日時 (YYYYMMDDhhmmss) .mdx」です。
- 半角 80 文字まで入力できます。

- 9 エクスポートが完了したら、[OK] を押して、USB メモリーを機器から抜き取ります。

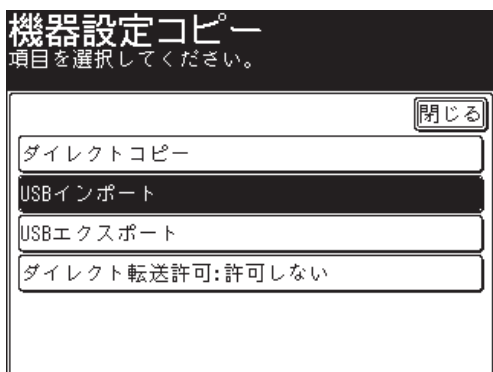


■ USB メモリーから機器にインポートする

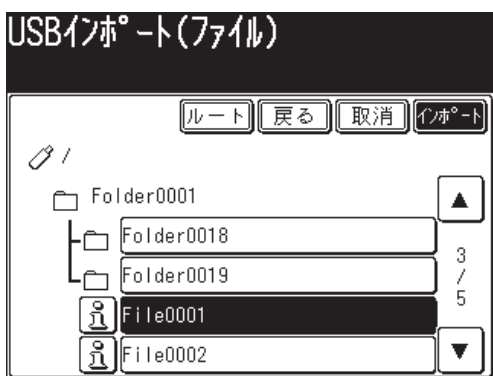
- 1 〈機器設定〉を押します。
- 2 [機器管理] を押します。
- 3 管理者パスワードを設定している場合は、管理者パスワードを入力し、[確定] を押します。
管理者パスワードを設定していない場合は、そのまま手順 4 に進みます。
- 4 [機器設定コピー] を押します。
- 5 インポート先の機器の USB メモリー接続端子に、機器設定データの入った USB メモリーを接続します。



6 [USB インポート] を押します。

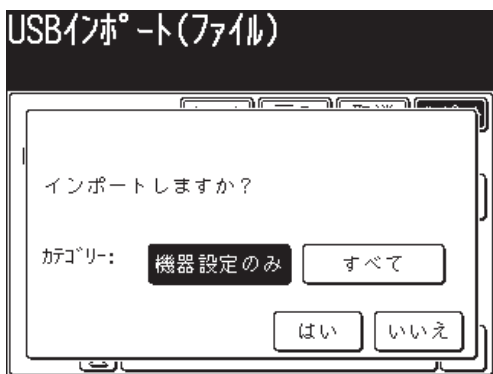


7 インポートする機器設定データを選択し、[インポート] を押します。



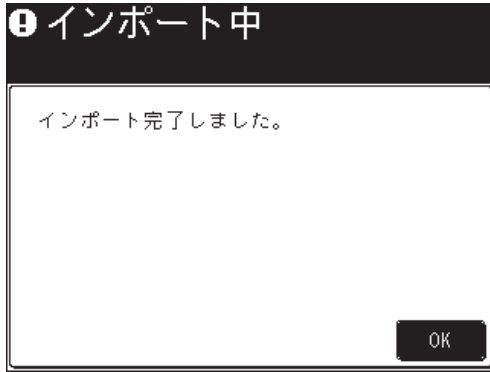
[ルート] をクリックすると、一番先頭の階層 (ルート) に戻ります。

8 機器設定のみインポートする場合は [機器設定のみ] を、すべてのデータをインポートする場合は [すべて] を選択し、[はい] を押します。



- [機器設定のみ] を選択した場合はユーザー情報が消去され、[すべて] を選択した場合はインポートしたユーザー情報で上書きされます。
- [機器設定のみ] を選択した場合と [すべて] を選択した場合のインポートされる設定データの違いについては、補足を参照してください。(→ 2-51 ページ)

- 9 インポートが完了したら、[OK] を押して、USB メモリーを機器から抜き取ります。



機器情報がインポートされると、機器は自動的に再起動を行います。

補足

[機器設定のみ] と [すべて] のインポート範囲は以下のとおりです。

		機器設定のみ	すべて
Information server 側の設定	ユーザー情報	<ul style="list-style-type: none"> 宛先表 (共有) ショートカット (共有) テンプレート設定 	<ul style="list-style-type: none"> 宛先表 (共有) ショートカット (共有) テンプレート設定 ユーザー登録 宛先表 (個人) ショートカット (個人) ユーザーボックス転送設定
	機器設定	<ul style="list-style-type: none"> LDAP 設定 SNMP 設定 本体機器設定 本体初期値設定 TCP/IP 設定^{*1} メール設定^{*2} インターネット時刻設定^{*3} 	<ul style="list-style-type: none"> LDAP 設定 SNMP 設定 本体機器設定 本体初期値設定 TCP/IP 設定^{*1} メール設定^{*2} インターネット時刻設定^{*3}
	機器管理設定	<ul style="list-style-type: none"> 料金設定 アクセス制限 文書ボックス設定 ユーザー使用状況管理^{*4} セキュリティ設定^{*5} 	<ul style="list-style-type: none"> 料金設定 アクセス制限 文書ボックス設定 ユーザー使用状況管理^{*4} セキュリティ設定^{*5} 自動配信 ユーザーポリシー
	機器情報	機器状態の機器名称、設置場所	機器状態の機器名称、設置場所
機器側の設定		機器に保存されている全データ	機器に保存されている全データ

- *1 ホスト名、IP アドレスは対象外。
 *2 機器情報の名前、機器メールアドレス、返信先メールアドレス、SMTP 認証ユーザー名、SMTP 認証パスワード、POP3 ユーザー名、認証方式は対象外。
 *3 同期時刻、前回同期時刻は対象外。
 *4 各機能でカウントされた時間やページ数などのデータは対象外。
 *5 SSL 証明書設定は対象外。

ネットワーク経由で直接コピーする

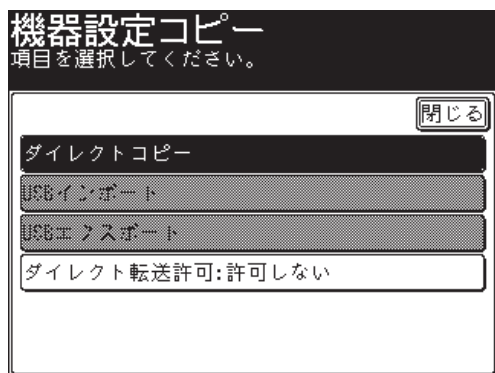
ネットワーク経由で機器設定データを直接コピーする場合は、コピー先の製品の画面から操作します。

補足

コピー元の機器の「機器設定データの送信要求」が許可されていることが必要です。
(→ 2-53 ページ)

■ ネットワーク経由で直接コピーする

- 1 〈機器設定〉を押します。
- 2 [機器管理] を押します。
- 3 管理者パスワードを設定している場合は、管理者パスワードを入力し、[確定]を押します。
管理者パスワードを設定していない場合は、そのまま手順 4 に進みます。
- 4 [機器設定コピー] を押します。
- 5 [ダイレクトコピー] を押します。



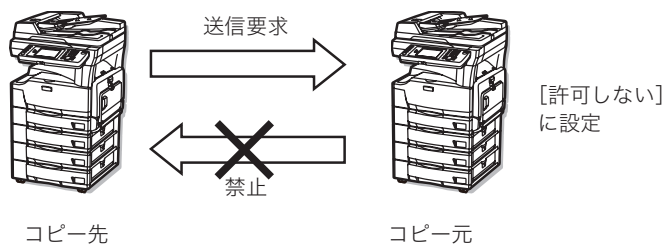
- 6 コピー元の機器の IP アドレスを入力し、[確定] を押します。



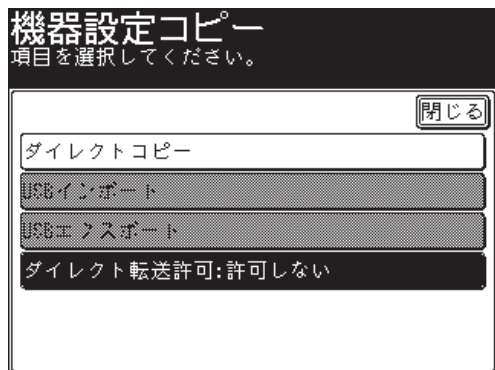
- 7** 機器設定のみコピーする場合は [機器設定のみ] を、すべてのデータをコピーする場合は [すべて] を選択し、[はい] を押します。
- [機器設定のみ] を選択した場合はユーザー情報が消去され、[すべて] を選択した場合はインポートしたユーザー情報で上書きされます。
 - [機器設定のみ] を選択した場合と [すべて] を選択した場合のインポートされるデータの違いについては、「USB メモリーから機器にインポートする」の補足を参照してください。(→ 2-51 ページ)
- 8** インポートが完了したら、[OK] を押します。
機器情報がインポートされると、機器は自動的に再起動を行います。

■ 機器設定データの送信要求を許可する・禁止する

ほかの機器からの機器設定データの送信要求を許可するかしないかの設定ができます。[許可しない] に設定すると、送信要求をした機器に、禁止設定されていることが分かるデータを送信します。



- 1 〈機器設定〉を押します。
- 2 [機器管理] を押します。
- 3 管理者パスワードを設定している場合は、管理者パスワードを入力し、[確定] を押します。
管理者パスワードを設定していない場合は、そのまま手順 4 に進みます。
- 4 [機器設定コピー] を押します。
- 5 [ダイレクト転送許可] を押します。



- 6 送信要求を許可する場合は [許可する] を、禁止する場合は [許可しない] を押し、[確定] を押します。

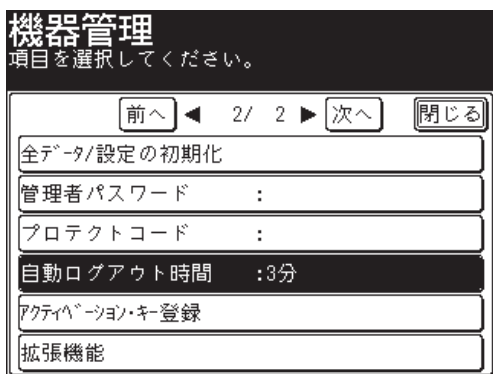
自動ログアウト時間を設定する

何も操作しなかった場合に、ログインしている状態から自動的にログアウトするまでの時間を設定します。ユーザー認証を受けた（ログインした）状態で本製品から離れてしまったときに、不正に使用されるのを防ぎます。
設定可能範囲は1～10分で、初期値は3分です。

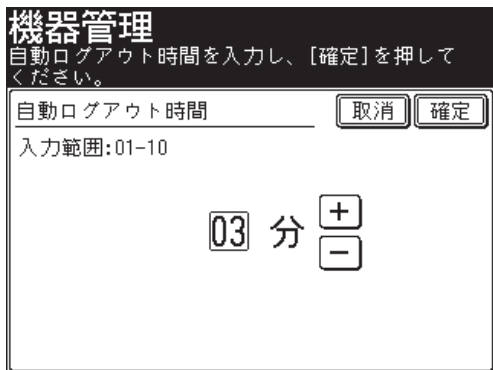
補足

手動でログアウトする方法については、「ログアウトする」を参照してください。
(→ 1-51 ページ)

- 1 〈機器設定〉を押します。
- 2 [機器管理] を押します。
- 3 管理者パスワードを設定している場合は、管理者パスワードを入力し、[確定]を押します。
管理者パスワードを設定していない場合は、そのまま手順4に進みます。
- 4 [自動ログアウト時間] を押します。



- 5 自動ログアウト時間を入力し、[確定] を押します。



[+] と [-]、またはテンキーを使ってを設定します。

拡張機能をアクティベートする

本製品で以下の拡張機能を使用するときは、最初に拡張機能のアクティベーションが必要です。アクティベート後は、拡張機能の表示ができます。

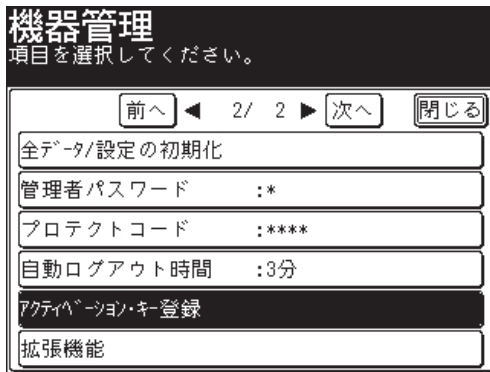
- ペーパーレス Fax 拡張オプション
- セキュリティーキットオプション
- アーカイブ拡張キットオプション
- 文書管理拡張オプション

補足

詳細については、お買い上げの販売店またはインフォメーションセンターまでご連絡ください。

■ 拡張機能をアクティベートする

- 1 〈機器設定〉を押します。
- 2 [機器管理] を押します。
- 3 管理者パスワードを設定している場合は、管理者パスワードを入力し、[確定]を押します。
管理者パスワードを設定していない場合は、そのまま手順 4 に進みます。
- 4 [アクティベーション・キー登録] を押します。



- 5 アクティベーション・キーを入力し、[確定] を押します。



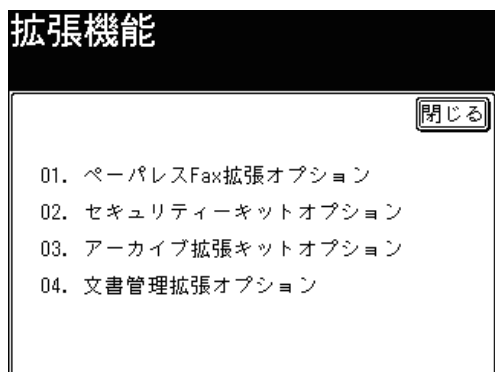
- 6 本製品の電源スイッチを OFF にし、3 秒以上待ってから再び ON にします。
電源の OFF・ON のしかたは、『基本編 はじめに』の「電源スイッチを ON にする・OFF にする」を参照してください。

■ 有効な拡張機能を確認する

- 1 〈機器設定〉を押します。
- 2 [機器管理] を押します。
- 3 管理者パスワードを設定している場合は、管理者パスワードを入力し、[確定] を押します。
管理者パスワードを設定していない場合は、そのまま手順 4 に進みます。
- 4 [拡張機能] を押します。



5 有効な機能を確認します。



確認後は、「閉じる」を押します。

(空白ページ)

第3章

メンテナンスについて

トナー・ドラムカートリッジを交換する.....	3-2
ドラム、トナーカートリッジについて	3-2
トナーカートリッジを交換する	3-3
ドラムカートリッジを交換する	3-5
済スタンプを交換する	3-9
清掃する.....	3-10
機械の外側を清掃する	3-10
タッチパネルを清掃する	3-10
読み取り部を清掃する	3-11
記録部を清掃する	3-14

トナー・ドラムカートリッジを交換する

ドラム、トナーカートリッジについて

純正カートリッジご使用のおすすめ

弊社では、純正品以外のカートリッジについては品質検査を行っておらず、品質を保証することができません。弊社製品には、印字品質が得られるように設計された純正品カートリッジをおすすめします。

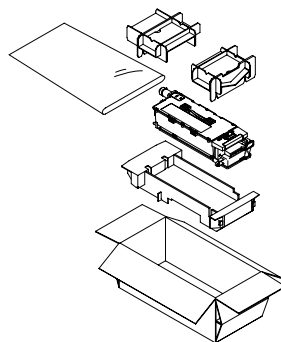
使用済トナーカートリッジおよびドラムカートリッジ返送のお願い

弊社では、環境保全と再資源化のために、使用済みの消耗品（トナーカートリッジおよびドラムカートリッジ）の回収を行っています。ご使用済みになりましたトナーカートリッジおよびドラムカートリッジを、ムラテック回収センターまで返送ください。詳しくはトナーカートリッジおよびドラムカートリッジに同梱の「回収ご協力をお願い」をお読みください。

返送される際には確実なりサイクルが行えるように、下記方法に従って再梱包していただきますようお願いいたします。

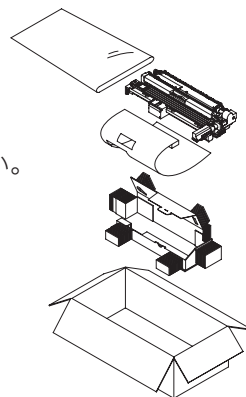
トナーカートリッジの再梱包方法

- 1 右図のように再梱包して、梱包箱に入れてください。



ドラムカートリッジの再梱包方法

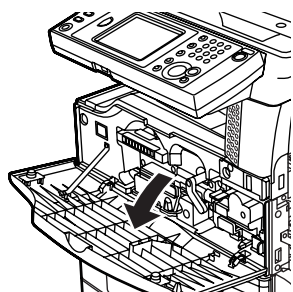
- 1 保護シートのスポンジ部分が、ドラムカートリッジのローラーにあたるようにします。ドラムカートリッジを保護シートで包み、セロハンテープ等で固定してください。
- 2 右図のように再梱包して、梱包箱に入れてください。



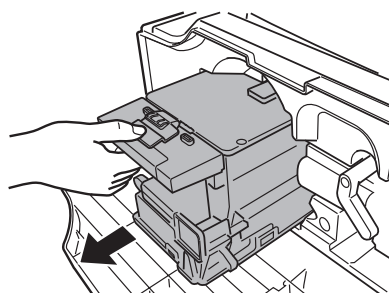
トナーカートリッジを交換する

トナーが残り少なくなると、「トナーカートリッジの交換時期です」と表示されます。そのままお使いいただけますが、新しいトナーカートリッジを用意してください。トナーがなくなると、「トナーがなくなりました」と表示され、プリントできなくなります。新しいトナーカートリッジに交換してください。

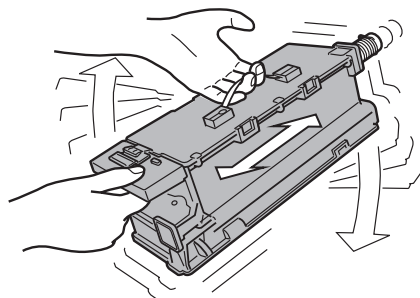
1 フロントカバーを開きます。



2 使用済みのトナーカートリッジのつまみを押さえながら、本体から取り外します。

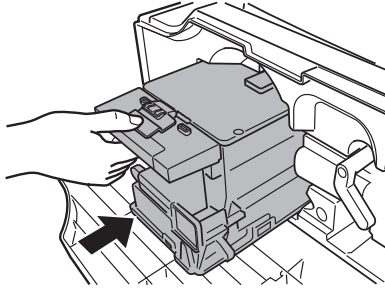


3 新しいトナーカートリッジを上下左右に振ります。トナーがかたよっている可能性があります。

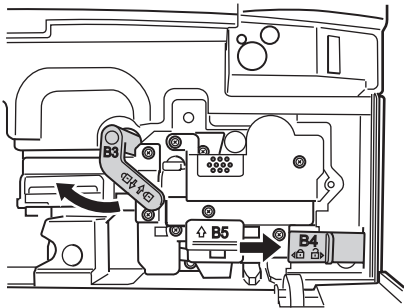


一度装着したトナーカートリッジは激しく振らないでください。トナーがこぼれる恐れがあります。

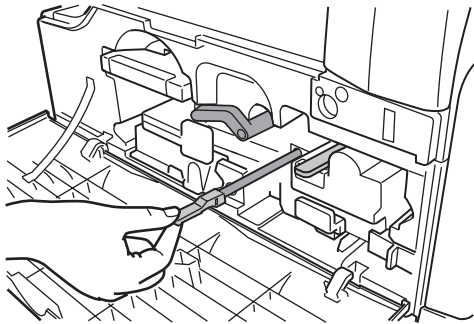
- 4** 新しいトナーカートリッジを、「カチッ」と音がするまでゆっくり確実に本体に押し込みます。



- 5** レバー (B3) を左に回します。



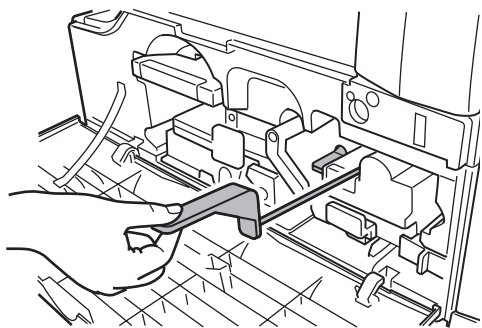
- 6** 記録ヘッド清掃棒 (B6) を抜き差し、記録ヘッドを清掃します。



- 清掃ムラを防止するため、途中で止めないでください。
- 清掃後は必ず清掃棒を元の位置に戻してください。

- 7** レバー (B3) を右に回して元に戻します。

- 8 帯電針清掃棒 (B7) を抜き差し、帯電針を清掃します。



清掃後は必ず清掃棒を元の位置に戻してください。

- 9 フロントカバーを閉じます。

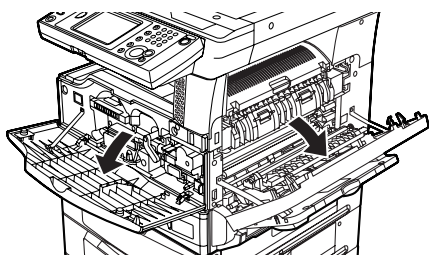
補足

トナーがなくなったときや、トナーカートリッジを新品に交換してから約 100 枚プリントするまでは、トナー残量を正しく表示できない場合があります。

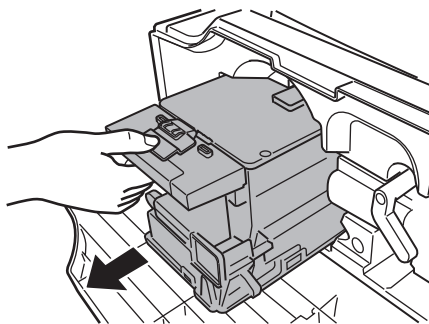
ドラムカートリッジを交換する

ドラムカートリッジの交換時期になると、「ドラムカートリッジの交換時期です」と表示されます。新しいドラムカートリッジに交換してください。

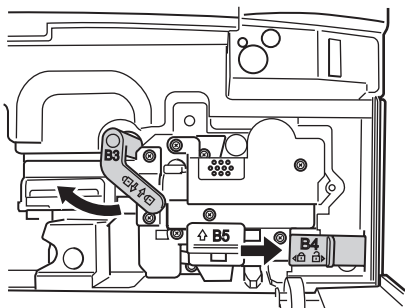
- 1 フロントカバー、サイドカバー (C1) を開きます。



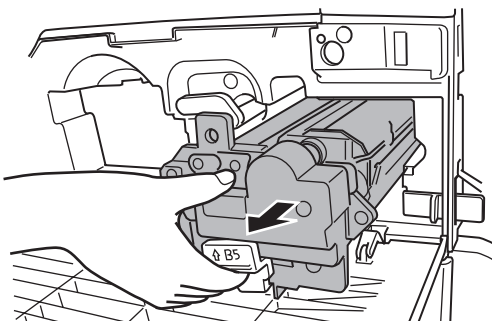
- 2 トナーカートリッジのつまみを押さえながら、本体から取り外します。



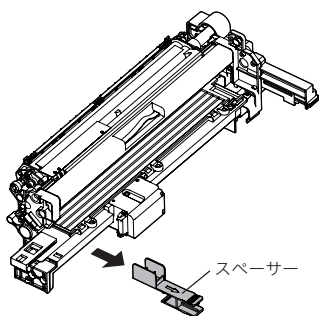
- 3 レバー (B3) を左に回します。レバー (B4) を右にスライドします。



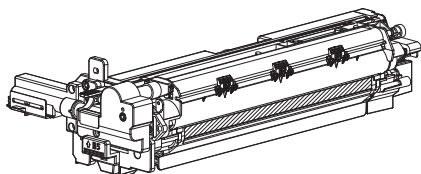
- 4 レバー (B5) をつまんで、使用済みのドラムカートリッジを取り外します。



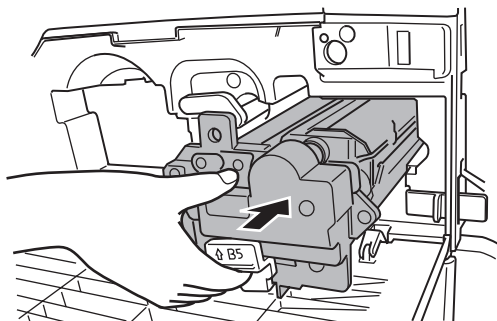
- 5 新しいドラムカートリッジからスペーサーとテープ類、保護シートを取り外します。



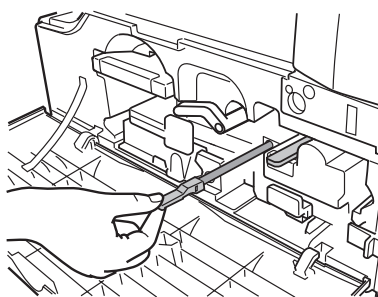
- 取り外したスペーサーは、トナーこぼれを防止するために使用済みのドラムカートリッジに取り付けてください。
- ドラムの下部 (下図の斜線部) にトナーやよごれが付着しているときは、ドラムカートリッジに同梱されている布で拭き取ってください。トナーが付着した状態で使用すると、記録面に黒点や黒線が発生する場合があります。



- 6** 新しいドラムカートリッジを、「カチッ」と音がするまでゆっくり確実に本体に押し込みます。



- 7** 記録ヘッド清掃棒（B6）を抜き差しし、記録ヘッドを清掃します。

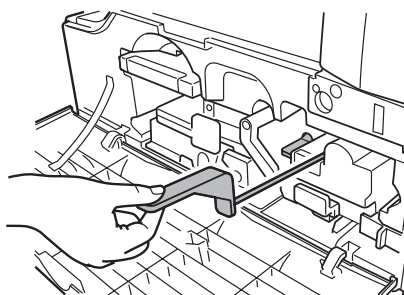


- 清掃ムラを防止するため、途中で止めないでください。
- 清掃後は必ず清掃棒を元の位置に戻してください。

- 8** レバー（B3）を右に回し、レバー（B4）を左にスライドして元に戻します。

- 9** トナーカートリッジを、「カチッ」と音がするまでゆっくり確実に本体に押し込みます。

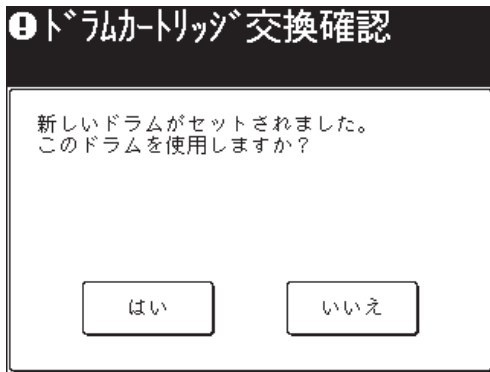
- 10** 帯電針清掃棒（B7）を抜き差しし、帯電針を清掃します。



清掃後は必ず清掃棒を元の位置に戻してください。

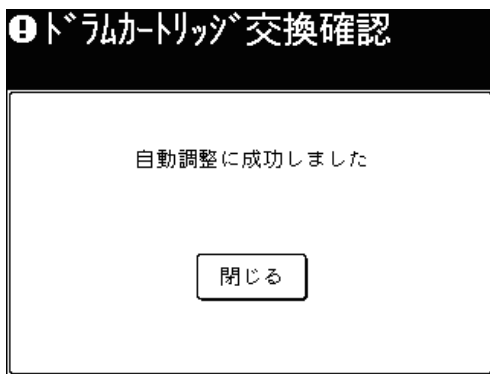
- 11** サイドカバー、フロントカバーを閉じます。

12 交換確認画面が表示されるので、[はい] を押します。



- [はい] を押すと、新しいドラムカートリッジは使用済みと認識されます。間違っ取り付けたときは [いいえ] を押してから、元のドラムカートリッジに交換してください。
- [はい] を押すと、本製品の自動調整が始まります。

13 自動調整が終了すれば、[閉じる] を押します。



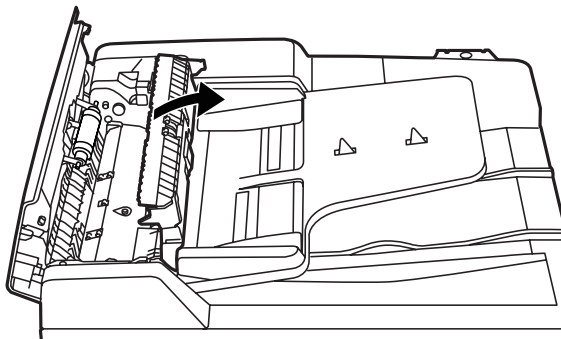
済スタンプを交換する

オプションの済スタンプのインクが薄くなったときは、以下の手順で交換してください。

！お願い

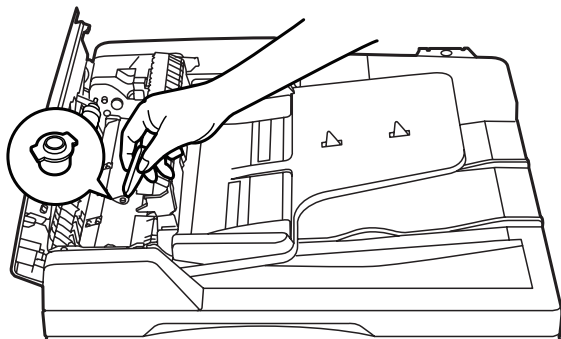
- スタンプ印面には、直接手を触れないでください。インクが手などに付着したときは、すぐに水で洗ってください。
- 済スタンプは弊社専用品をご使用ください。

- 1 原稿送りカバー解除レバー（A1）を引いて、原稿送りカバーを開きます。
- 2 分離ガイドを開きます。



手前のつまみを引き上げて、開きます。

- 3 新しい済スタンプに付属のピンセットを使用して、使用済みのスタンプを取り外します。



- 4 ピンセットを使用して、新しいスタンプを取り付けます。
スタンプ面を上にして、「カチッ」と音がするまで押し込んでください。
- 5 分離ガイド、原稿送りカバーを閉じます。

補足

スタンプが浮いていると原稿づまりが発生します。しっかりスタンプを押し込んでください。

清掃する

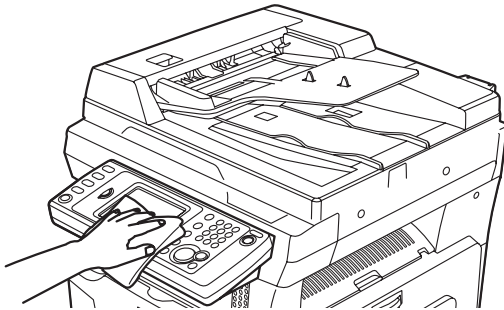
機械の外側を清掃する

正常な状態でお使いいただくために、以下のお手入れをお願いします。

！お願い

ベンジンやシンナーはプラスチック部品や塗装をいためることがありますので、使用しないでください。

- 1 中性洗剤をしみ込ませ、よく絞った柔らかい布でふきます。
- 2 水を含ませてよく絞った柔らかい布でふきます。



タッチパネルを清掃する

タッチパネルが汚れていると、操作がやりづらくなる恐れがあります。定期的に清掃してください。

- 1 柔らかい布でタッチパネルをふきます。



汚れのひどい場合は、中性洗剤を少し含ませてふいたあと、水を含ませよく絞った布でもう一度ふいてください。

読み取り部を清掃する

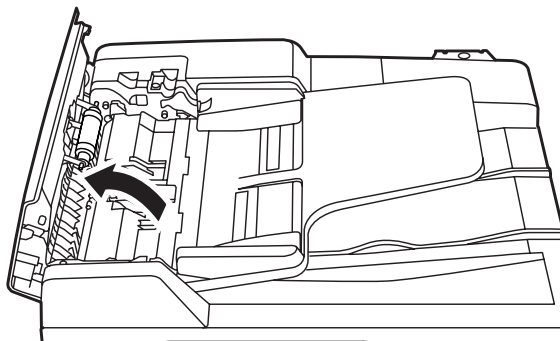
■ 自動原稿送り装置を清掃する

原稿搬送ローラーや読み取りガラスが汚れていると、原稿が汚れたり、読み取った画像に黒ずじが発生したりします。また、原稿づまりの原因ともなります。
きれいな画質で、スムーズに原稿を送るために、約1か月に一度の清掃をお願いします。

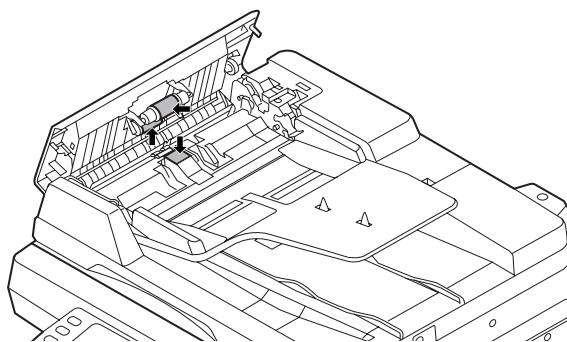
！お願い

ベンジンやシンナーはプラスチック部品や塗装をいためることがありますので、使用しないでください。

- 1 原稿送りカバー解除レバー（A1）を引いて、原稿送りカバーを開きます。

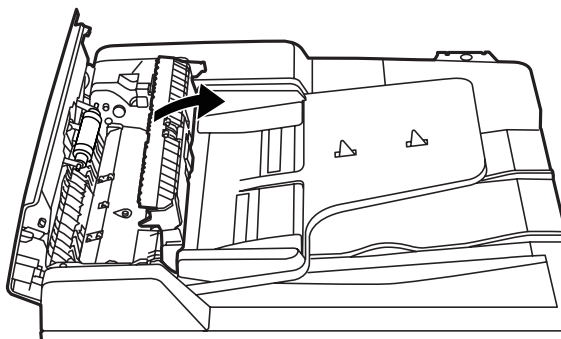


- 2 水をしみ込ませよく絞った柔らかい布で丁寧にふいてから、清潔な布でローラーと分離パッドをからぶきしてください。



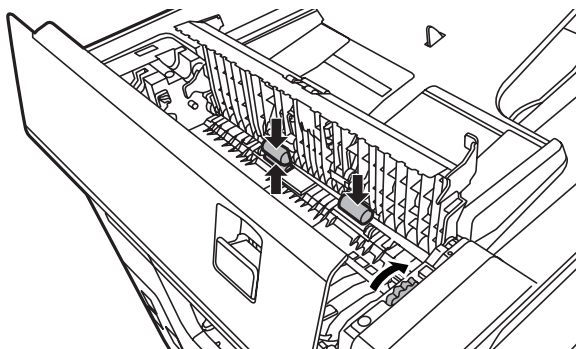
手で回すことができるローラーは、回しながらローラー全面をふいてください。

3 分離ガイドを開きます。



手前のつまみを引き上げて、開きます。

4 水をしみ込ませよく絞った柔らかい布で丁寧にふいてから、清潔な布でローラーをからぶきしてください。



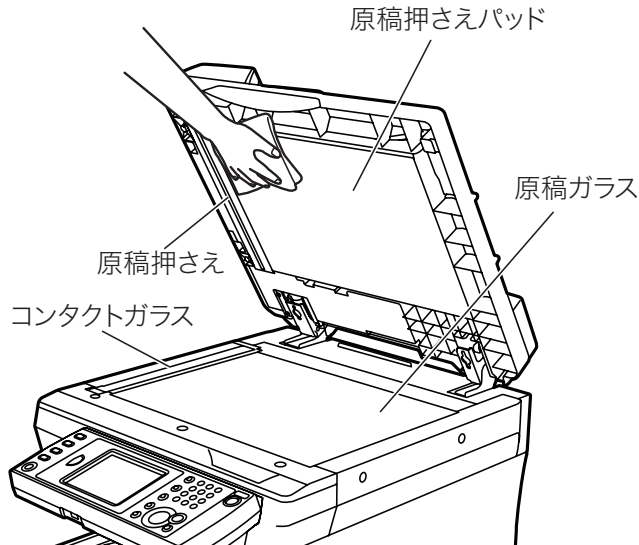
ダイヤルを回しながら、ローラー全面をふいてください。

5 分離ガイド、原稿送りカバーを閉じます。

■ 原稿読み取り部を清掃する

原稿押さえ部が汚れていると、読み取った画像に黒点や汚れなどが発生します。きれいな画質を得るために、約1か月に一度の清掃をお願いします。

- 1 原稿押さえカバーを開きます。
- 2 水で少しぬらした柔らかい布をよく絞り、コンタクトガラス、原稿ガラス、原稿押さえパッドおよび原稿押さえをふきます。



- 3 原稿押さえカバーを閉じます。

補足

汚れのひどい場合は、中性洗剤を少し含ませてふいたあと、水を含ませよく絞った布でもう一度ふいてください。

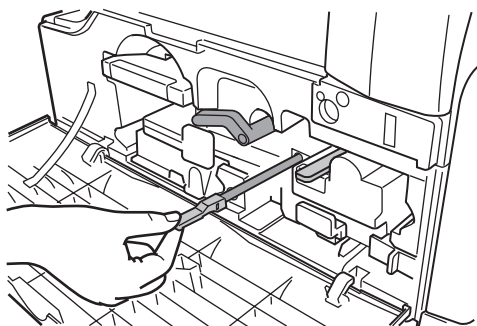
記録部を清掃する

次の場合には、記録ヘッドと帯電針を清掃してください。

- 画質が悪いとき（読み取り部も清掃してください）
- ドラムカートリッジまたはトナーカートリッジを交換したとき

■ 記録ヘッドを清掃する

- 1 フロントカバーを開きます。
- 2 レバー（B3）を左に回します。
- 3 記録ヘッド清掃棒（B6）を抜き差しします。

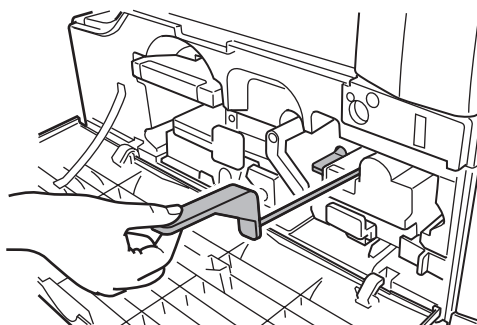


- 清掃ムラを防止するため、途中で止めないでください。
- 清掃後は必ず清掃棒を元の位置に戻してください。

- 4 レバー（B3）を右に回して元に戻します。フロントカバーを閉じます。

■ 帯電針を清掃する

- 1 フロントカバーを開きます。
- 2 帯電針清掃棒（B7）を抜き差しします。



清掃後は必ず清掃棒を元の位置に戻してください。

- 3 フロントカバーを閉じます。

第4章

困ったときには

エラーメッセージが表示されたときは	4-2
通信エラーについて	4-2
画面に表示されるエラーメッセージ	4-3
困ったときには	4-6
画質が悪い	4-6
ネットワークに接続できない	4-9
停電のときは	4-10
本体の動作	4-10
メモリーバックアップ	4-10
消去通知	4-11

エラーメッセージが表示されたときは

通信エラーや機器の異常時には、インフォメーションランプが赤く点灯し、画面にエラーメッセージを表示したり、用紙にエラーメッセージをプリントしたりしてお知らせします。

インフォメーションランプは、〈ストップ〉で消灯できるときと、消灯できないときがあります。

消灯できないときは、エラーや異常に対しての処置が必要です。要因が解除されると、インフォメーションランプは消灯します。

〈ストップ〉を押して消灯できるエラー

- 通信エラー
- ファクスやメールを受信中にメモリーオーバーしたとき
- 原稿の蓄積中にメモリーオーバーしたとき

〈ストップ〉を押して消灯できないエラー

- 用紙切れ、用紙づまり、原稿づまり
- トナーカートリッジ、またはドラムカートリッジの交換時期になったとき
- カバーやカセットが開いているとき
- 本製品の重大なエラー




通信エラーについて

通信エラーが発生したときは、アラームが鳴り、インフォメーションランプが赤く点灯します。また、エラーの内容・対処方法を書いたメッセージとエラーコードがプリントされます。インターネットファクスの受信でエラーが発生したときはメッセージはプリントされません。インターネットファクスの受信エラーの場合は、Information serverの通信履歴画面や通信管理記録をプリントすると、エラーコードとエラーへの対応結果が表示されます。通信エラーの詳細については、『スキヤナー・ファクス編 第8章』の「通信エラーについて」を参照してください。

画面に表示されるエラーメッセージ

メッセージ	原因	処置のしかた
JPEG2000 PDF エラー この PDF ファイルを印刷するためには CF が必要です。	PDF のプリントに失敗しました。	指定した PDF ファイルをプリントするには、オプションの 1GB CF メモリーキット (PDF ダイレクトプリント用) が必要です。お買い上げの販売店、またはインフォメーションセンターへご連絡ください。
暗号化 PDF エラー PDF のセキュリティ設定を確認してください。	暗号化されている PDF のプリントに失敗しました。	パスワードなどセキュリティの設定を確認してから、プリントしてください。
解析できないファイルです。 ファイルを確認してください。	指定したプリンターでは、プリントできない種類のファイルです。	USB メモリーに保存された PDF ファイルを PDF ダイレクトプリントでプリントするには、オプションの PS3 拡張キットが必要です。
回転仕分けの用紙がありません。 回転仕分けをせず、印刷する場合は [印刷実行] を押してください。 取り消す場合は [印刷中止] を押してください。	同じ用紙サイズが、別々のカセットに縦と横でセットされていません。	[印刷実行] を押すと、回転仕分けをせずにそのままプリントします。 [印刷中止] を押すと、プリントを中止します。
カバーを確認してください。 点滅個所のカバーを閉じてください。	カバーが開いています。	画面を確認して、該当するカバーを閉じてください。
紙づまりです。 点滅個所のカバーを開けて確認してください。	機器内部にて、用紙づまりが発生しました。	表示された部分のカバー、用紙カセットを開いて、つまった用紙を取り除いてください。
原稿づまりです。 点滅個所のカバーを開けて確認してください。	自動原稿送り装置に原稿がつまっています。	つまった原稿を取り除いてください。
サポート外の設定です。 サポート外の設定であったため印刷を中止しました。	指定したファイルのプリントに失敗しました。	サポートされていないデータ形式のため、プリントできません。お買い上げの販売店、またはインフォメーションセンターへご連絡ください。
指定用紙サイズは手差しトレイで印刷してください。 指定用紙用紙を手差しトレイにセットし、[手差しトレイ] を押してください。 取り消す場合は、[印刷中止] を押してください。	指定した用紙サイズは、カセットにはセットできません。手差しトレイに用紙をセットしてください。	[手差しトレイ] を押すと、手差しトレイにセットされた用紙にプリントします。 [印刷中止] を押すと、プリントを中止します。
受信用紙がありません。受信プリントできる用紙 (普通紙) を補給してください。	普通紙が受信に使用するカセットにセットされていません。	受信に使用するカセットに、普通紙をセットしてください。


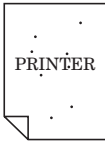

メッセージ	原因	処置のしかた
設定した用紙がありません。 設定した用紙サイズ： カセット 1 に用紙をセットしてください。 取り消す場合は [印刷中止] を押してください。	指定した用紙サイズが指定したカセットにセットされていません。	指定したサイズの用紙を指定したカセットにセットしてください。 [印刷中止] を押すと、プリントを中止します。
設定した用紙がありません。 設定した用紙サイズ： 手差しトレイに用紙をセットしてください。 または手差し用紙サイズを変更してください。 取り消す場合は [印刷中止] を押してください。	指定した用紙サイズは、カセットにはセットできません。手差しトレイに用紙をセットしてください。	指定した用紙を手差しトレイにセットしてください。また、用紙サイズを設定してください。 [印刷中止] を押すと、プリントを中止します。
設定した用紙がありません。 設定した用紙サイズ： 用紙をセットしてください。 取り消す場合は [印刷中止] を押してください。	指定した用紙サイズがセットされていません。	指定した用紙をセットしてください。 [印刷中止] を押すと、プリントを中止します。
設定した用紙カセット 3 (または 4) が、装着されていません。 自動で用紙カセットを選択して印刷する場合は、[自動給紙] を押してください。 取り消す場合は、[印刷中止] を押してください。	プリントのときに、カセット 3 (またはカセット 4) を指定しましたが、ご使用の機器には装着されていません。	[自動給紙] を押すと、装着しているカセットから用紙を選択して、プリントします。 [印刷中止] を押すと、プリントを中止します。
定着器の交換時期です。	定着器の寿命が近づいています。	お買い上げの販売店、またはインフォメーションセンターへご連絡ください。
定着器を交換してください。	定着器の寿命です。	お買い上げの販売店、またはインフォメーションセンターへご連絡ください。
点検エラー	機器内部に異常が発生しました。	お買い上げの販売店、またはインフォメーションセンターへご連絡ください。
トナーが残りわずかになりました。 新しいトナーを手配してください。	トナーの残量が少なくなりました。	新しいトナーカートリッジをご用意ください。
ドラム交換時期が間近です。 新しいドラムカートリッジを準備ください。	トナーの残量の交換時期が近づいています。	新しいドラムカートリッジをご用意ください。
普通紙以外の用紙は、手差しトレイで印刷してください。 用紙を手差しトレイにセットし、[手差しトレイ] を押してください。 取り消す場合は、[印刷中止] を押してください。	指定した用紙の種類は、カセットにはセットできません。手差しトレイに用紙をセットしてください。	[手差しトレイ] を押すと、手差しトレイにセットされた用紙にプリントします。 [印刷中止] を押すと、プリントを中止します。
普通紙以外の用紙には、両面印刷できません。 両面印刷をせず、片面印刷にする場合は、[片面印刷] を押してください。 取り消す場合は、[印刷中止] を押してください。	指定した用紙の種類は、両面プリントには使用できません。両面プリントに使用できる用紙の種類は、普通紙のみです。	[片面印刷] を押すと、用紙の片面にプリントします。 [印刷中止] を押すと、プリントを中止します。


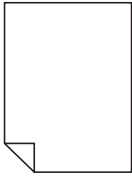
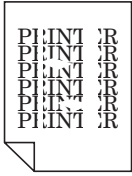
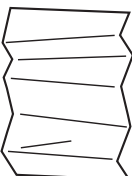
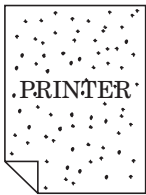
メッセージ	原因	処置のしかた
メモリーオーバーのためソート印刷できません。 1部のみ印刷する場合は、[印刷実行]を押してください。 取り消す場合は、[印刷中止]を押してください。	プリントでソートを設定したときに、メモリーがいっぱいになりました。	[印刷実行]を押すと、1部のみプリントできます。 [印刷中止]を押すと、プリントを中止します。
メモリーオーバーしました。 原稿蓄積枚数： 蓄積分を有効にしますか？	原稿読み取り中にメモリーがいっぱいになりました。 蓄積できた原稿の枚数が表示されています。	[はい]を押すと、蓄積した分をメモリーに記憶します。 [いいえ]を押すと、蓄積した原稿をメモリーから消去します。
メモリーオーバーのため、印刷できません。 蓄積分のみ印刷する場合は、[印刷実行]を押してください。 取り消す場合は、[印刷中止]を押してください。	プリントのデータを機器に送信しているときに、メモリーがいっぱいになりました。	[印刷実行]を押すと、蓄積分のみプリントできます。 [印刷中止]を押すと、プリントを中止します。
メモリーオーバー メモリー不足のため、処理が完了しませんでした。 再度、コピーしてください。	コピー中にメモリーがいっぱいになりました。	メモリーが空くまで待ってから、コピーしてください。
用紙サイズが違います。 カセット用紙サイズエラー カセット1を開け、用紙の向き、サイズを確認してください。	指定した用紙サイズが指定したカセットにセットされていません。	指定したサイズの用紙を指定したカセットにセットしてください。また、用紙サイズを設定してください。 [印刷中止]を押すと、プリントを中止します。
用紙サイズが違います。 設定した用紙サイズ： カセット1に用紙をセットしてください。 またはカセット1の用紙サイズを変更してください。 取り消す場合は[印刷中止]を押してください。	指定した用紙サイズが指定したカセットにセットされていません。	指定したサイズの用紙を指定したカセットにセットしてください。また、用紙サイズを設定してください。 [印刷中止]を押すと、プリントを中止します。
両面印刷をせず、片面印刷にする場合は[片面印刷]を押してください。 取り消す場合は[印刷中止]を押してください。	指定した用紙サイズは、両面プリントには使用できません。両面プリントに使用できる用紙サイズは、A3、B4、A4、A4  、B5、B5  、A5、A5  のみです。	[片面印刷]を押すと、用紙の片面にプリントします。 [印刷中止]を押すと、プリントを中止します。

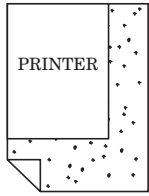
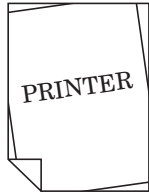
困ったときには

画質が悪い

プリントの画質が悪いときにお読みください。以下の処理をしても正常に戻らないときは、インフォメーションセンターまでご連絡ください。

症 状	原 因	処 置
プリントが薄い (かすれる、不鮮明) 	用紙が湿気を含んでいます。	新しい用紙と交換してください。詳細は、『基本編 はじめに』の「用紙をセットする」を参照してください。
	濃度の設定が正しくありません。	正しく設定してください。詳細は、『コピー編 第1章』の「コピーの基本設定」、『スキャナー・ファクス編 第1章』の「スキャンの基本設定」、または『スキャナー・ファクス編 第3章』の「基本のファクス」を参照してください。
	原稿の色が薄くないですか？	受信の場合は、相手先に原稿の色を黒系統に変えていただくように依頼してください。(コピーをとられることをおすすめします。) コピーの場合は、濃度の設定を濃くしてください。
	当社指定以外の用紙を使っていますか？	当社指定の用紙をご使用ください。詳細は、『基本編 はじめに』の「用紙をセットする」を参照してください。
	記録ヘッドが汚れています。	記録ヘッドを清掃してください。(→ 3-14 ページ)
	トナーカートリッジが劣化、または破損しています。	新しいトナーカートリッジに交換してください。(→ 3-3 ページ)
	ドラムカートリッジが劣化、または破損しています。	新しいドラムカートリッジに交換してください。(→ 3-5 ページ)
黒点や白点が現れる  	当社指定以外の用紙を使っていますか？	当社指定の用紙をご使用ください。詳細は、『基本編 はじめに』の「用紙をセットする」を参照してください。
	原稿ガラス、原稿押さえパッドが汚れています。	原稿ガラス、原稿押さえパッドを清掃してください。(→ 3-13 ページ)
	帯電針が汚れています。	帯電針を清掃してください。(→ 3-14 ページ)
	トナーカートリッジが劣化、または破損しています。	新しいトナーカートリッジに交換してください。(→ 3-3 ページ)
	ドラムカートリッジが劣化、または破損しています。	新しいドラムカートリッジに交換してください。(→ 3-5 ページ)
	用紙が湿気を含んでいます。	新しい用紙と交換してください。詳細は、『基本編 はじめに』の「用紙をセットする」を参照してください。

症 状	原 因	処 置
用紙全体が黒くプリントされる 	ドラムカートリッジが劣化、または破損しています。	新しいドラムカートリッジに交換してください。(→3-5 ページ)
	機器の故障が考えられます。	インフォメーションセンターまでご連絡ください。
何もプリントされない 	原稿を裏表逆にセットしていませんか？	正しく原稿をセットしてください。詳細は、『基本編 はじめに』の「原稿をセットする」を参照してください。
	トナーカートリッジのトナーがなくなりました。	新しいトナーカートリッジに交換してください。(→3-3 ページ)
	機器の故障が考えられます。	インフォメーションセンターまでご連絡ください。
白抜けがおこる 	用紙が湿気を含んでいます。	新しい用紙と交換してください。詳細は、『基本編 はじめに』の「用紙をセットする」を参照してください。
	当社指定以外の用紙を使っていませんか？	当社指定の用紙をご使用ください。詳細は、『基本編 はじめに』の「用紙をセットする」を参照してください。
	原稿ガラスが汚れています。	原稿ガラスを清掃してください。(→3-13 ページ)
	自動原稿送り装置のコンタクトガラスが汚れています。	自動原稿送り装置のコンタクトガラスを清掃してください。(→3-13 ページ)
	記録ヘッドが汚れています。	記録ヘッドを清掃してください。(→3-14 ページ)
	トナーカートリッジが劣化、または破損しています。	新しいトナーカートリッジに交換してください。(→3-3 ページ)
	ドラムカートリッジが劣化、または破損しています。	新しいドラムカートリッジに交換してください。(→3-5 ページ)
用紙にシワが入る 	用紙が湿気を含んでいます。	新しい用紙と交換してください。詳細は、『基本編 はじめに』の「用紙をセットする」を参照してください。
	当社指定以外の用紙を使っていませんか？	当社指定の用紙をご使用ください。詳細は、『基本編 はじめに』の「用紙をセットする」を参照してください。
全体が汚れる 	原稿ガラスが汚れています。	原稿ガラスを清掃してください。(→3-13 ページ)
	両面がプリントされている原稿の裏面が写っています。	薄い紙の両面原稿ですと、裏面の原稿内容が透けて、表の原稿に写ってしまうことがあります。濃度を薄くしてください。詳細は、『コピー編 第1章』の「コピーの基本設定」、『スキャナー・ファクス編 第1章』の「スキャンの基本設定」、または『スキャナー・ファクス編第3章』の「基本のファクス」を参照してください。
	トナーカートリッジが劣化、または破損しています。	新しいトナーカートリッジに交換してください。(→3-3 ページ)

症 状	原 因	処 置
周りが汚れる 	原稿押さえパッドが汚れています。	原稿押さえパッドを清掃してください。 (→ 3-13 ページ)
画像が傾く 	原稿が正しくセットされていません。	原稿を正しくセットしてください。詳細は、『基本編 はじめに』の「用紙をセットする」を参照してください。
	自動原稿送り装置に適した原稿がセットされていません。	自動原稿送り装置にセット可能な原稿を使用してください。詳細は、『基本編 はじめに』の「原稿をセットする」を参照してください。
	自動原稿送り装置のコンタクトガラスに異物がありますか？	自動原稿送り装置のコンタクトガラスを清掃してください。(→ 3-13 ページ)
	当社指定以外の用紙を使っていますか？	当社指定の用紙をご使用ください。詳細は、『基本編 はじめに』の「用紙をセットする」を参照してください。
	用紙がカセットに正しくセットされていますか？	用紙を正しくセットしてください。詳細は、『基本編 はじめに』の「用紙をセットする」を参照してください。
	カセットが確実にセットされていますか？	カセットを確実に奥まで押し込んでください。

ネットワークに接続できない

Information server や PC ファクス、スキャン to フォルダーなどコンピューターを使った操作をしているときにトラブルがあった場合は、まずは以下のことを確認してください。

発生状況	チェック項目	処 置
ネットワークに接続できない	電源コードはしっかり差し込んでありますか？	電源ソケットと電源プラグにしっかり差し込まれているか確認してください。
	電源スイッチは ON になっていますか？	電源スイッチを ON にしてください。詳細は、『基本編 はじめに』の「電源スイッチと節電モード」を参照してください。
	ネットワーク設定は間違っていないですか？	本体のネットワーク設定を正しく行ってください。詳細は、「ネットワーク設定をする」を参照してください。(→ 2-19 ページ)
	LAN ケーブルはしっかり差し込んでありますか？	LAN ケーブルが本体側とネットワーク周辺機器 (LAN ハブ、ルーターなど) 側に、しっかり差し込まれているか確認してください。
	LAN ケーブルや LAN カードは破損していませんか？	LAN ケーブルまたは LAN カードを確認してください。破損している場合は、交換してください。
	ネットワーク周辺機器 (LAN ハブ、ルーターなど) の電源は ON になっていますか？	ネットワーク周辺機器 (LAN ハブ、ルーターなど) の電源スイッチを ON にしてください。
	ネットワーク周辺機器 (LAN ハブ、ルーターなど) は破損していませんか？	機器をほかのポートに接続し、正常に動作するか確認してください。動作しない場合は、機器を交換してください。
ネットワーク周辺機器の設定は間違っていないですか？	機器の取扱説明書を参照し、ネットワーク設定を正しく行ってください。機器を入れ換えた場合は、ネットワーク設定を再度行ってください。	

停電のときは

本体の動作

■ 停電になったとき

通話中は ...	引き続き通話ができます。
送信中は ...	送信が途中で切れます。 停電が復旧したら、メモリー送信のときは、送信途中のページから自動的に再送信します。 リアルタイム送信のときは、再送信を行いません。もう一度送信してください。
受信中は ...	受信が途中で切れます。 停電が復旧したら、受信が終了しているページはプリントします。
コピー中は ... 受信プリント中は ... リストプリント中は ...	プリントが途中で止まります。
原稿の読み取り中は ...	読み取りが途中で停止します。停電が復旧しても、読み取りは再開しません。復旧後は、〈ストップ〉を押して原稿を排出してください。

■ 停電中

コピー	コピーできません。
ファクス送信	送信できません。
ファクスの受信	受信できません。
電話をかける ^{*1}	ハンドセット ^{*2} のダイヤルキーを利用して、電話をかけられます。
電話を受ける ^{*1}	ハンドセット ^{*2} で、電話を受けられます。

*1 ISDN や光回線など加入回線以外を使用している場合は、電話をかけること・受けることはできません。また、通信回線への接続装置が停電により使用できないときも、電話をかけること・受けることはできません。

*2 ハンドセットはオプションです。

メモリーバックアップ

停電時や電源を切った場合に、画情報を維持するバックアップ電池の充電には、連続して24時間以上の通電が必要です。バックアップ電池は本製品に内蔵されており、電源をONすると自動的に充電されます。また、100%充放電を約100回行くと電池寿命となりますので、夜間等に電源を切っておくような使用は避けるようご注意願います。なお、画情報のバックアップ電池は、電池単体での交換はできません。高価なパッケージの交換となりますので注意してください。

ワンタッチ宛先や発信元名、日付や時刻などの登録内容、各種機能の設定内容は画情報とは別の電池にてバックアップされており、消えることはありません。

PCプリントやコピーのときに、一時的にメモリーに保存された画像データはバックアップされません。

消去通知

メモリーに蓄積された画像データが消えてしまった場合は、電源が復旧した時点で消去通知をプリントし、消えてしまった画像データの情報をお知らせします。下記は消去通知の例です。

プリント例

** 消去通知 **	
P1	2011年10月15日(土) 13:30
以下の原稿が消去されました	
原稿種別:通信予約コマンド	原稿種別:代行受信原稿
原稿種別:通信予約コマンド	相手先名 :PartnerInfo002
原稿種別:ポーリング原稿	開始日時 :2003 01/01 00:05
原稿種別:TWAINボックス原稿	ページ数 :3
原稿種別:Fコードボックス原稿	備考 :手動受信
Box :01	原稿種別:代行受信原稿
ボックス名 :F-code01-0123456	相手先名 :PartnerInfo003
相手先名 :RemoteName01	開始日時 :2003 01/01 00:06
種別 :掲示板	ページ数 :4
原稿種別:Fコードボックス原稿	備考 :※-リクゲ送信
Box :02	原稿種別:代行受信原稿
ボックス名 :F-code02-0123456	相手先名 :PartnerInfo004
相手先名 :RemoteName02	開始日時 :2003 01/01 00:07
種別 :親展	ページ数 :5
原稿種別:Fコードボックス原稿	備考 :※-リクゲ送信
Box :03	原稿種別:代行受信原稿
ボックス名 :F-code03-0123456	相手先名 :PartnerInfo005
相手先名 :RemoteName03	開始日時 :2003 01/01 00:08
種別 :掲示板	ページ数 :6
原稿種別:Fコードボックス原稿	備考 :Fコード※-リクゲ送信
	原稿種別:代行受信原稿
	相手先名 :PartnerInfo006
	開始日時 :2003 01/01 00:09
	ページ数 :7
	備考 :Fコード※-リクゲ受信

次の原稿種別のうち、消去されたものが表示されます。

原稿種別	概要
通信予約コマンド	通信予約されていた原稿が消去されました。
ポーリング原稿	ポーリング受信のために蓄積されていた原稿が、消去されました。
TWAIN ボックス原稿	TWAIN ボックスに保存されていた原稿が消去されました。
F コードボックス原稿	F コードボックスに保存されていた原稿が消去されました。 消去された原稿が保存されていた、ボックス番号、ボックス名、相手先名、ボックスの種別（親展、または掲示板）も表示されます。
代行受信原稿	代行受信されていた原稿が消去されました。 消去された原稿の、相手先名、ページ数も表示されます。 備考欄に通信の種類が表示されます。

補足

通信エラーコードがプリントされた場合は、内容を確認して再送信してください。詳細は、『スキャナー・ファクス編 第8章』の「通信エラーについて」を参照してください。

(空白ページ)

第5章

主な仕様
















主な仕様.....	5-2
主な仕様.....	5-2
外形寸法.....	5-9


主な仕様

本製品の仕様、外観は改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

主な仕様

■ 基本仕様 / コピー仕様

項目	仕 様
形式	床上型（コンソールタイプ）
メモリー	112 MB（バッテリーにより、約 72 時間のメモリーバックアップ可）*1 原稿蓄積枚数（当社標準原稿）：約 1,000 枚
読み取り解像度	600dpi×600dpi
書き込み解像度	600dpi×600dpi
階調	256 階調
感光体種類	OPC ドラム
複写方式	LED を露光光源とする乾式電子写真記録方式
現像方式	非磁性 2 成分方式
定着方式	ヒートロールによる熱圧力定着
複写原稿	シート、ブック、立体物 最大原稿サイズ： A3（原稿ガラス）、幅 297mm×長さ 500mm（自動原稿送り装置、1 枚読み取り）
複写サイズ	用紙サイズ カセット A3、B4、A4、A4  、B5、B5  、A5、A5  F4（幅 210mm×長さ 330mm）、 8K（幅 270mm×長さ 390mm）、 16K（幅 195mm×長さ 270mm）、 16K  （幅 270mm×長さ 195mm）、レター、レター  、リーガル、 11×17、ハーフレター、ハーフレター  、エグゼクティブ、 エグゼクティブ  手差しトレイ A3、B4、A4、A4  、B5、B5  、A5、A5  F4（幅 210mm×長さ 330mm）、 8K（幅 270mm×長さ 390mm）、 16K（幅 195mm×長さ 270mm）、 16K  （幅 270mm×長さ 195mm）、 レター、レター  、リーガル、11×17、ハーフレター、 ハーフレター  、エグゼクティブ、エグゼクティブ  はがき（幅 100mm×長さ 148mm）、 往復はがき（幅 200mm×長さ 148mm）、 COM10、Monarch、DL、 長形 4 号（幅 90mm×長さ 205mm）、 角形 2 号（幅 240mm×長さ 332mm） 不定形（長さ：140～432mm 幅：90～297 mm）
	画像欠け幅 先端・後端 3mm、左右 3mm
ウォームアップタイム	18.3 秒以下（室温 20°C）
ファーストコピータイム	5.5 秒（室温 20°C、A4  、等倍、1 段目カセット、原稿ガラス使用時）

項目		仕様
連続複写速度 (1 段目カセット使用時)		A4  : 28 枚 / 分 A3 : 15 枚 / 分 B4 : 11 枚 / 分 B5  : 17 枚 / 分
複写倍率	固定	等倍 1:1 ± 0.7% 以内 拡大縮小 1:1.41/1.22/1.15/0.86/0.81/0.70
	ズーム	25 ~ 400% (1% きざみ)
給紙方式	2 段タイプ	2 段カセット (550 枚 × 2) 64g/m ² 手差しトレイ (100 枚) 64g/m ²
	4 段タイプ	4 段カセット (550 枚 × 4) 64g/m ² 手差しトレイ (100 枚) 64g/m ²
連続複写枚数		1 ~ 999 枚
電源		AC 100V ± 10% 50/60Hz 共用
待機電力		待機時 : 72 Wh 節電モード時 : 0.7 W * ² 最小電力モード時 : 0.3 W * ²
最大消費電力* ³		940 W (フルオプション時)
大きさ		2 段タイプ 幅 621mm × 奥行き 722mm × 高さ 1,121mm 4 段タイプ 幅 621mm × 奥行き 722mm × 高さ 1,116mm
機械占有寸法		幅 929mm × 奥行き 722mm
質量* ⁴		2 段タイプ 約 79.1 kg 4 段タイプ 約 91.2 kg
環境条件		周囲温度 : 10 ~ 32°C 相対湿度 : 20 ~ 80%

* 1 原稿蓄積後、24 時間以上の通電が必要です。24 時間経過する前に停電などにより通電できなかった場合は、原稿の種類によってはバックアップ時間が短くなる場合があります。

* 2 機器の状態によっては、この値にならないことがあります。

* 3 最大消費電力の数値は、起動時や定着ヒーター通電時の瞬間的ピークの消費電力ではありません。

* 4 ドラムカートリッジ、トナーカートリッジは除く。

■ 自動原稿送り装置仕様 (標準装備)

項目	仕様
原稿送り装置の種類	自動両面原稿送り装置
原稿サイズ	最大 : 片面原稿 幅 297mm × 長さ 900mm ¹ (1 枚読み取り) 幅 297mm × 長さ 432mm (自動連続読み取り) 両面原稿 幅 297mm × 長さ 432mm 最小 : 幅 120mm × 長さ 100mm (1 枚読み取り) 幅 148mm × 長さ 128mm (自動連続読み取り)
原稿の種類	1 枚読み取り 片面原稿 35.0 ~ 128.0g/m ² 両面原稿 52.0 ~ 128.0g/m ² ※ 432mm より長い片面原稿、または A5 より小さい原稿のとき 60.0 ~ 90.0g/m ² 自動連続読み取り 52.0 ~ 105.0g/m ²
原稿の収容可能枚数	A4、A4  : 100 枚 (80g/m ²) A3、B4 : 30 枚 B5、B5  、A5、A5  : 50 枚
原稿読み取り速度	28 枚 / 分 (A4  、コピー時、600dpi、片面原稿)

* 1 ファクス・スキャンにて 600dpi で読み取りするとき、またはコピーするときには長さ 500mm

■ プリンター部仕様

項目		仕 様
形式		内蔵型
メモリー		基本仕様 / コピー仕様に準ずる
プリントサイズ		基本仕様 / コピー仕様に準ずる
連続プリント速度		基本仕様 / コピー仕様に準ずる
解像度		基本仕様 / コピー仕様に準ずる
ページ記述 言語	標準	GDI
	オプション	PCL 5e ¹ 、PCL XL ¹ 、PostScript 3 ² 、XPS ¹ 、 PDF (PDF1.7 Compatibility) ²
対応プロトコル		TCP/IP (LPR : IPv4、Port9100、IPP : IPv6/IPv4、IPDS)
エミュレーション		HP LaserJet 4250n ¹ 、Xerox Phaser 5500 ²
インターフェイス		USB2.0 (Hi-Speed)、Ethernet 10BASE-T/100BASE-TX
対応 OS	GDI/PCL	Windows® 7 Enterprise (x86/x64) Windows® 7 Professional (x86/x64) Windows® 7 Ultimate (x86/x64) Windows® 7 Home Premium (x86/x64) Windows Server® 2008 R2 Datacenter (x64) Windows Server® 2008 R2 Enterprise (x64) Windows Server® 2008 R2 Standard (x64) Windows Server® 2008 Datacenter (x86/x64) Windows Server® 2008 Enterprise (x86/x64) Windows Server® 2008 Standard (x86/x64) Windows Server® 2003 Datacenter x64 Edition Windows Server® 2003 Datacenter Edition Windows Server® 2003 Enterprise x64 Edition Windows Server® 2003 Enterprise Edition Windows Server® 2003 Standard x64 Edition Windows Server® 2003 Standard Edition Windows Vista® Enterprise (x86/x64) Windows Vista® Business (x86/x64) Windows Vista® Ultimate (x86/x64) Windows Vista® Home Premium (x86/x64) Windows Vista® Home Basic (x86/x64) Windows® XP Professional x64 Edition Windows® XP Professional Windows® XP Home Edition Windows® 2000 Professional
	PS3	Mac OS X 10.7 ² Mac OS X 10.6 ² Mac OS X 10.5 ² Mac OS X 10.4 ² Mac OS X 10.3 ² Mac OS X 10.2 ²
	XPS	Windows® 7 Enterprise (x86/x64) Windows® 7 Professional (x86/x64) Windows® 7 Ultimate (x86/x64) Windows® 7 Home Premium (x86/x64) Windows Server® 2008 R2 Datacenter (x64) Windows Server® 2008 R2 Enterprise (x64) Windows Server® 2008 R2 Standard (x64)


項目		仕様
対応 OS	XPS	Windows Server® 2008 Datacenter (x86/x64) Windows Server® 2008 Enterprise (x86/x64) Windows Server® 2008 Standard (x86/x64) Windows Vista® Enterprise (x86/x64) Windows Vista® Business (x86/x64) Windows Vista® Ultimate (x86/x64) Windows Vista® Home Premium (x86/x64) Windows Vista® Home Basic (x86/x64)
内蔵フォント	PCL ^{*1}	MS 明朝 ^{*2} 、MS ゴシック ^{*2} 、欧文 80 フォント、 キリル文字 15 フォント ^{*2}
	PS3 ^{*3}	平成明朝、平成角ゴシック、欧文 136 fonts フォント

* 1 オプションのプリンターコントローラーキットが必要です。

* 2 PCL5e のみ

* 3 オプションのプリンターコントローラーキットと PS3 拡張キットが必要です。

■ スキャナー部仕様

項目	仕様
形式	カラーレスキャナー
最大原稿読み取りサイズ	基本仕様 / コピー仕様に準ずる
読み取り解像度	600dpi×600dpi、300dpi×300dpi、200dpi×200dpi、 100dpi×100dpi
原稿読み取り速度	28 枚 / 分 (A4  、コピー時、600dpi、片面原稿)
インターフェイス	USB2.0 (Hi-Speed)、Ethernet 10BASE-T/100BASE-TX
対応プロトコル	HTTP、CIFS (SMB)、FTP、TWAIN
対応 OS (TWAIN)	Windows® 7 Enterprise (x86/x64) Windows® 7 Professional (x86/x64) Windows® 7 Ultimate (x86/x64) Windows® 7 Home Premium (x86/x64) Windows Server® 2008 R2 Datacenter (x64) *1 Windows Server® 2008 R2 Enterprise (x64) *1 Windows Server® 2008 R2 Standard (x64) *1 Windows Server® 2008 Datacenter (x86/x64) *1 Windows Server® 2008 Enterprise (x86/x64) *1 Windows Server® 2008 Standard (x86/x64) *1 Windows Server® 2003 Datacenter x64 Edition Windows Server® 2003 Datacenter Edition Windows Server® 2003 Enterprise x64 Edition Windows Server® 2003 Enterprise Edition Windows Server® 2003 Standard x64 Edition Windows Server® 2003 Standard Edition Windows Vista® Enterprise (x86/x64) Windows Vista® Business (x86/x64) Windows Vista® Ultimate (x86/x64) Windows Vista® Home Premium (x86/x64) Windows Vista® Home Basic (x86/x64) Windows® XP Professional x64 Edition Windows® XP Professional Windows® XP Home Edition Windows® 2000 Professional
出力フォーマット	PDF、TIFF (白黒時のみ)、JPEG (カラー時のみ)

* 1 ネットワークのみ使用できます。

■ ファクス部仕様

項 目	仕 様
適用回線	加入電話回線
走査線密度	超高画質 主走査 600dpi× 副走査 600dpi または 主走査 16dots/mm × 副走査 15.4 本 /mm * ¹ 高画質 主走査 8dots/mm× 副走査 7.7 本 /mm * ¹ 標準 主走査 8dots/mm× 副走査 3.85 本 /mm * ¹
通信速度	33,600、31,200、28,800、26,400、24,000、21,600、19,200、16,800、14,400、12,000、9,600、7,200、4,800、2,400bps (自動切替)
符号化方式	MH、MR、MMR、JBIG
通信モード	スーパー G3、G3
送信原稿サイズ	原稿ガラス 最大 A3 自動原稿送り装置 幅 297mm× 長さ 500mm (1 枚読み取り、超高画質 600dpi) 幅 297mm× 長さ 900mm (1 枚読み取り、超高画質 600dpi 以外)
記録紙サイズ	A3、B4、A4、B5、A5
電送時間	2 秒台 (33,600 bps) * ²

* 1 該当モードを持たない装置とは交信できません。

* 2 A4 版 700 字程度の原稿を、標準画質 (8×3.85 本 /mm)、スーパー G3 モード (ITU-TV.34 基拠、33,600bps) で送ったときの時間です。これは画像情報のみの電送速度で通信の制御時間は含まれていません。なお、実際の通信時間は原稿の内容、相手機種、回線の状態により異なります。G3 機との通信 (同じ原稿を 14,400bps で送ったとき) では 6 秒台になります。

■ PC-FAX 仕様

項目	仕様
原稿サイズ	A3、B4、A4
符号化方式	MH、MR、MMR、JBIG
通信規格	T.30 (FAX)、T.37 (I-FAX)
通信速度	最大 33,600bps (FAX)、最大 100Mbps (I-FAX)
最大解像度	600dpi×600dpi
宛先表	2,000 件
同報最大件数	4,060 件
対応 OS ファクスドライバー	Windows® 7 Enterprise (x86/x64) Windows® 7 Professional (x86/x64) Windows® 7 Ultimate (x86/x64) Windows® 7 Home Premium (x86/x64) Windows Server® 2008 R2 Datacenter (x64) Windows Server® 2008 R2 Enterprise (x64) Windows Server® 2008 R2 Standard (x64) Windows Server® 2008 Datacenter (x86/x64) Windows Server® 2008 Enterprise (x86/x64) Windows Server® 2008 Standard (x86/x64) Windows Server® 2003 Datacenter x64 Edition Windows Server® 2003 Datacenter Edition Windows Server® 2003 Enterprise x64 Edition Windows Server® 2003 Enterprise Edition Windows Server® 2003 Standard x64 Edition Windows Server® 2003 Standard Edition Windows Vista® Enterprise (x86/x64) Windows Vista® Business (x86/x64) Windows Vista® Ultimate (x86/x64) Windows Vista® Home Premium (x86/x64) Windows Vista® Home Basic (x86/x64) Windows® XP Professional x64 Edition Windows® XP Professional Windows® XP Home Edition Windows® 2000 Professional

■ インターネット FAX 仕様

項目	仕様
通信プロトコル	送信：SMTP/ESMTP 受信：SMTP/POP3
通信規格	ITU-T T.37 (Simple Mode、Full Mode)
符号化方式	MH、MR、MMR、JBIG
送信原稿サイズ	A3、B4、A4
走査線密度	超高画質 主走査 600dpi× 副走査 600dpi または 主走査 16dots/mm × 副走査 15.4 本/mm ^{*1} 高画質 主走査 8dots/mm× 副走査 7.7 本/mm ^{*1} 標準 主走査 8dots/mm× 副走査 3.85 本/mm ^{*1}
データフォーマット	TIFF-FX、PDF

*1 該当モードを持たない装置とは交信できません。

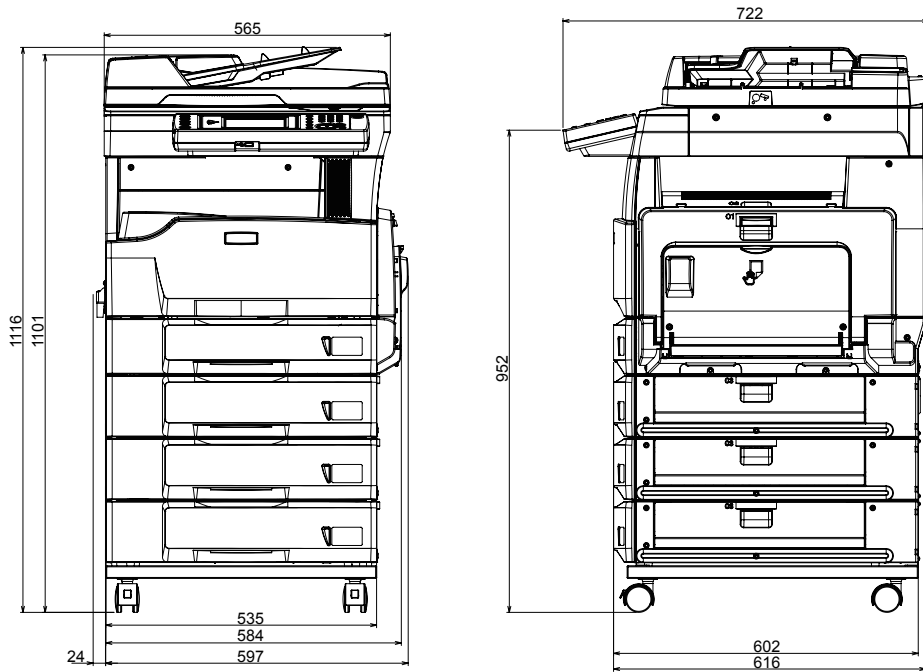
■ Information server 仕様

項目	仕様
対応ブラウザ	Microsoft Internet Explorer 6 以降 Mozilla Firefox 2.0 以降
動作環境	対応ブラウザおよび各ドライバー・ユーティリティが動作する Windows 環境
メモリー ^{*1}	標準：256MB (オプション：1GB)
蓄積枚数	標準：約 3,000 枚 (オプション装着時：約 20,000 枚) A4 標準原稿の場合
宛先表登録件数	2,000 件 グループ:200 件
登録可能ユーザー数	200 ユーザー
LDAP 対応サーバー	Active Directory : Windows 2000 Server、Windows 2003 Server、Windows 2008 Server、Windows 2008 Server R2 OpenLDAP on Linux
対応認証サーバー・プロト コル	Windows 2000 Server (Active Directory) Windows Server 2003 (Active Directory) Windows Server 2008 (Active Directory) Windows Server 2008 R2 (Active Directory) Kerberos v5

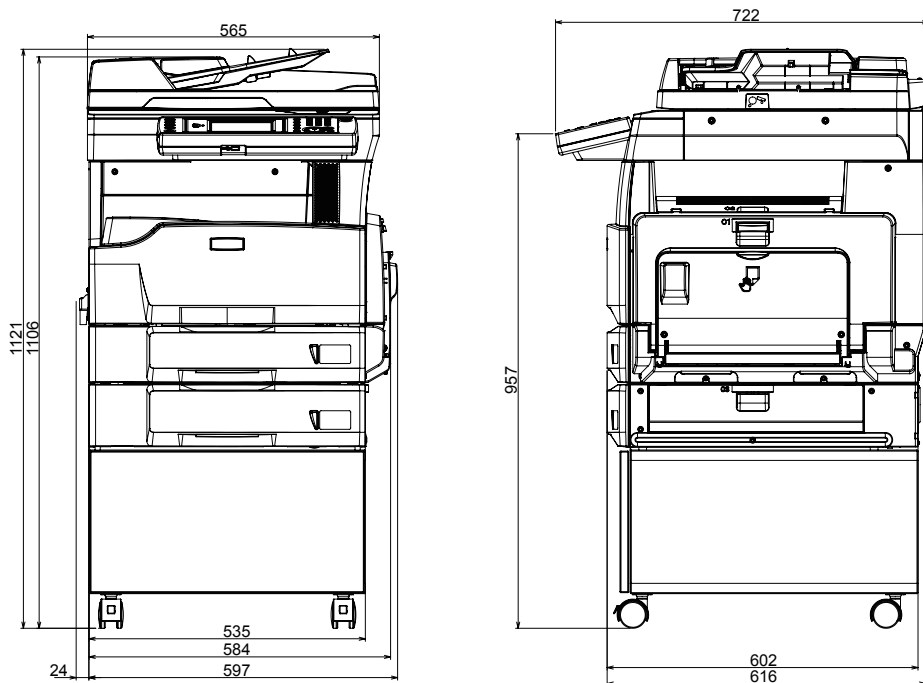
* 1 Web コンテンツのデータ領域を含みます。

外形寸法

4 段タイプ



2 段タイプ



5

主な仕様

(空白ページ)

第6章

商標および著作権について

商標および著作権などについて	6-2
登録商標および商標について	6-2
オープンソースライセンスについて	6-2
環境対応などについて	6-21

商標および著作権などについて

登録商標および商標について

- Microsoft®、Windows ロゴ、Windows®、Windows Server®、Windows Vista®、Internet Explorer® は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面写真を使用しています。
- Intel は、米国 Intel Corporation の登録商標です。
- RSA® は RSA Security Inc. の登録商標です。BSAFE® は RSA Security Inc. の米国およびその他の国における登録商標です。本製品は、RSA Security Inc. の RSA® BSAFE™ ソフトウェアを搭載しています。
-  Monotype Imaging
 - ◆ Monotype is a trademark of Monotype Imaging, Inc. registered in the United States Patent and Trademark Office and may be registered in certain jurisdictions. The Monotype Imaging logo is a trademark of Monotype Imaging, Inc. and may be registered in certain jurisdictions.
 - ◆ UFST is a trademark of Monotype Imaging, Inc. and may be registered in certain jurisdictions.
- Mozilla および Firefox は Mozilla Foundation の商標です。
- Apple、Mac および Mac OS は、米国アップルコンピュータ社の登録商標です。
- Adobe、Adobe ロゴ、Acrobat、Adobe® Flash® および PostScript は、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の商標です。
- 日本語変換はオムロンソフトウェア(株)のモバイル Wnn を使用しています。“Mobile Wnn” OMRON SOFTWARE Co.,Ltd. 1999-2002 All Rights Reserved.
- PCL は、米国 Hewlett-Packard Company Limited の登録商標です。
- Ethernet は、Xerox Corporation の登録商標です。
- EVERNOTE は、Evernote Corporation の登録商標または商標です。
- その他の社名および製品名は各社の商標または登録商標です。

オープンソースライセンスについて

■ BSD License

Copyright © 1994–2007 The NetBSD Foundation, Inc. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement:

This product includes software developed by the NetBSD Foundation, Inc. and its contributors.

4. Neither the name of The NetBSD Foundation nor the names of its contributors

may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE NETBSD FOUNDATION, INC. AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE FOUNDATION OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Copyright 1979, 1980, 1983, 1986, 1988, 1989, 1991, 1992, 1993, 1994

The Regents of the University of California. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement:
This product includes software developed by the University of California, Berkeley and its contributors.
4. Neither the name of the University nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE REGENTS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE REGENTS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Acknowledgement

This product includes software developed by the NetBSD Foundation, Inc. and its contributors.

This product includes software developed by the University of California, Berkeley and its contributors.

This product includes software developed by WIDE Project and its contributors.

This product includes software developed by Charles D. Cranor and Washington University.

This product includes software developed by Adam Glass.

This product includes software developed by Jonathan Stone for the NetBSD Project.

This product includes software developed by Michael Graff.

This product includes software developed by Niels Provos.

This product includes software developed by Christos Zoulas.

This product includes software developed by Winning Strategies, Inc.

This product includes software developed for the NetBSD Project. See <http://www.NetBSD.org/> for information about NetBSD.

This product includes software developed by Eduardo Horvath.

This product includes software developed by the Alice Group.

This product includes software developed by Christopher G. Demetriou for the NetBSD Project.

This product includes software developed by Rolf Grossmann.

This product includes software developed by John Polstra.

This product includes software developed by Frank van der Linden for the NetBSD Project.

This product includes software developed for the NetBSD Project by Wasabi Systems, Inc.

This product includes software developed for the NetBSD Project by Frank van der Linden.

This product includes software developed by Softweyr LLC, the University of California, Berkeley, and its contributors.

This product includes software developed for the NetBSD Project by Jason R. Thorpe.

This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (<http://www.openssl.org/>).

This product includes cryptographic software written by Eric Young (ey@cryptsoft.com).

This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

This product includes software developed by Eric Young (ey@cryptsoft.com).

This product includes software developed by Leo Weppelman.

This product includes software developed by Jonathan Stone and Jason R. Thorpe for the NetBSD Project.

This product includes software developed by Berkeley Software Design, Inc.

This product includes software developed by Darrin B. Jewell.

This product includes software developed by Manuel Bouyer.

This product includes software developed for the NetBSD Project by Perry E. Metzger.

This product includes software developed at the Information Technology Division, US Naval Research Laboratory.

This product includes software developed by the University of California, Lawrence Berkeley Laboratory and its contributors.

This product includes software developed by the Computer Systems Engineering Group at Lawrence Berkeley Laboratory.

This product includes software developed by Yen Yen Lim and North Dakota State University.

This product includes software developed by Bruce M. Simpson.

This product includes software developed by Michael Shalayeff.

This product includes software developed by Jason L. Wright.

This product includes software developed by Jonathan R. Stone for the NetBSD Project.

This product includes software developed by Chuck Silvers.

This product includes software developed by Gordon W. Ross and Leo Weppelman.

This product includes software developed by Gordon W. Ross.

This product includes software developed by TooLs GmbH.

This product includes software developed by Mats O Jansson.

This product includes software developed by Adam Glass and Charles M. Hannum.

This product includes software developed by Charles D. Cranor, Washington University, and the University of California, Berkeley and its contributors.

This product includes software developed by Charles M. Hannum.

This product includes software developed by HAYAKAWA Koichi.

This product includes software developed by Charles Hannum.

■ ACME Labs Freeware License

Copyright © 2000 by Jef Poskanzer <jef@mail.acme.com>. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE AUTHOR AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

■ Net-SNMP License

Various copyrights apply to this package, listed in various separate parts below. Please make sure that you read all the parts.

---- Part 1: CMU/UCD copyright notice: (BSD like) ----

Copyright 1989, 1991, 1992 by Carnegie Mellon University
Derivative Work - 1996, 1998-2000

Copyright 1996, 1998-2000 The Regents of the University of California
All Rights Reserved

Permission to use, copy, modify and distribute this software and its documentation

for any purpose and without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice appears in all copies and that both that copyright notice and this permission notice appear in supporting documentation, and that the name of CMU and The Regents of the University of California not be used in advertising or publicity pertaining to distribution of the software without specific written permission.

CMU AND THE REGENTS OF THE UNIVERSITY OF CALIFORNIA DISCLAIM ALL WARRANTIES WITH REGARD TO THIS SOFTWARE, INCLUDING ALL IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS. IN NO EVENT SHALL CMU OR THE REGENTS OF THE UNIVERSITY OF CALIFORNIA BE LIABLE FOR ANY SPECIAL, INDIRECT OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM THE LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, NEGLIGENCE OR OTHER TORTIOUS ACTION, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.

---- Part 2: Networks Associates Technology, Inc copyright notice (BSD) ----

Copyright © 2001-2003, Networks Associates Technology, Inc. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- * Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

- * Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

- * Neither the name of the Networks Associates Technology, Inc nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDERS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

---- Part 3: Cambridge Broadband Ltd. copyright notice (BSD) ----

Portions of this code are copyright (c) 2001-2003, Cambridge Broadband Ltd. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- * Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

- * Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

- * The name of Cambridge Broadband Ltd. may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDER "AS IS" AND ANY

EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDER BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

--- Part 4: Sun Microsystems, Inc. copyright notice (BSD) ---

Copyright © 2003 Sun Microsystems, Inc., 4150 Network Circle, Santa Clara, California 95054, U.S.A. All rights reserved.

Use is subject to license terms below.

This distribution may include materials developed by third parties.

Sun, Sun Microsystems, the Sun logo and Solaris are trademarks or registered trademarks of Sun Microsystems, Inc. in the U.S. and other countries.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- * Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

- * Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

- * Neither the name of the Sun Microsystems, Inc. nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDERS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

--- Part 5: Sparta, Inc copyright notice (BSD) ---

Copyright © 2003-2008, Sparta, Inc. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- * Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

- * Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

- * Neither the name of Sparta, Inc nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior

written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDERS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

---- Part 6: Cisco/BUPTNIC copyright notice (BSD) ----

Copyright (c) 2004, Cisco, Inc and Information Network Center of Beijing University of Posts and Telecommunications. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- * Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

- * Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

- * Neither the name of Cisco, Inc, Beijing University of Posts and Telecommunications, nor the names of their contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDERS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

---- Part 7: Fabasoft R&D Software GmbH & Co KG copyright notice (BSD) ----

Copyright © Fabasoft R&D Software GmbH & Co KG, 2003oss@fabasoft.com

Author: Bernhard Penz

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- * Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

- * Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

- * The name of Fabasoft R&D Software GmbH & Co KG or any of its subsidiaries, brand or product names may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDER "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDER BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

■ CMU libsasl

Tim Martin

Rob Earhart

Rob Siemborski

Copyright (C) 1998-2003 Carnegie Mellon University. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. The name "Carnegie Mellon University" must not be used to endorse or promote products derived from this software without prior written permission. For permission or any other legal details, please contact
Office of Technology Transfer
Carnegie Mellon University
5000 Forbes Avenue
Pittsburgh, PA 15213-3890
(412) 268-4387, fax: (412) 268-7395
tech-transfer@andrew.cmu.edu
4. Redistributions of any form whatsoever must retain the following acknowledgment:
"This product includes software developed by Computing Services at Carnegie Mellon University (<http://www.cmu.edu/computing/>)."

CARNEGIE MELLON UNIVERSITY DISCLAIMS ALL WARRANTIES WITH REGARD TO THIS SOFTWARE, INCLUDING ALL IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS, IN NO EVENT SHALL CARNEGIE MELLON UNIVERSITY BE LIABLE FOR ANY SPECIAL, INDIRECT OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, NEGLIGENCE OR OTHER TORTIOUS ACTION, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.

■ Info-ZIP License

This is version 1999-Oct-05 of the Info-ZIP copyright and license.
The definitive version of this document should be available at
<ftp://ftp.cdrom.com/pub/infozip/license.html> indefinitely.

Copyright (C) 1990-1999 Info-ZIP. All rights reserved.

For the purposes of this copyright and license, "Info-ZIP" is defined as the following set of individuals:

Mark Adler, John Bush, Karl Davis, Harald Denker, Jean-Michel Dubois, Jean-loup Gailly, Hunter Goatley, Ian Gorman, Chris Herborth, Dirk Haase, Greg Hartwig, Robert Heath, Jonathan Hudson, Paul Kienitz, David Kirschbaum, Johnny Lee, Onno van der Linden, Igor Mandrichenko, Steve P. Miller, Sergio Monesi, Keith Owens, George Petrov, Greg Roelofs, Kai Uwe Rommel, Steve Salisbury, Dave Smith, Christian Spieler, Antoine Verheijen, Paul von Behren, Rich Wales, Mike White

This software is provided "as is," without warranty of any kind, express or implied. In no event shall Info-ZIP or its contributors be held liable for any direct, indirect, incidental, special or consequential damages arising out of the use of or inability to use this software.

Permission is granted to anyone to use this software for any purpose, including commercial applications, and to alter it and redistribute it freely, subject to the following restrictions:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, definition, disclaimer, and this list of conditions.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, definition, disclaimer, and this list of conditions in documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. Altered versions--including, but not limited to, ports to new operating systems, existing ports with new graphical interfaces, and dynamic, shared, or static library versions--must be plainly marked as such and must not be misrepresented as being the original source. Such altered versions also must not be misrepresented as being Info-ZIP releases--including, but not limited to, labeling of the altered versions with the names "Info-ZIP" (or any variation thereof, including, but not limited to, different capitalizations), "Pocket UnZip," "WiZ" or "MacZip" without the explicit permission of Info-ZIP. Such altered versions are further prohibited from misrepresentative use of the Zip-Bugs or Info-ZIP e-mail addresses or of the Info-ZIP URL(s).
4. Info-ZIP retains the right to use the names "Info-ZIP," "Zip," "UnZip," "WiZ," "Pocket UnZip," "Pocket Zip," and "MacZip" for its own source and binary releases.

■ The zlib/libpng License

TinyXML is released under the zlib license:

This software is provided 'as-is', without any express or implied warranty. In no event will the authors be held liable for any damages arising from the use of this software.

Permission is granted to anyone to use this software for any purpose, including commercial applications, and to alter it and redistribute it freely, subject to the following restrictions:

1. The origin of this software must not be misrepresented; you must not claim that you wrote the original software. If you use this software in a product, an acknowledgment in the product documentation would be appreciated but is not required.
2. Altered source versions must be plainly marked as such, and must not be misrepresented as being the original software.
3. This notice may not be removed or altered from any source distribution.

Copyright (C) 1995-1998 Jean-loup Gailly and Mark Adler

This software is provided 'as-is', without any express or implied warranty. In no event will the authors be held liable for any damages arising from the use of this software.

Permission is granted to anyone to use this software for any purpose, including commercial applications, and to alter it and redistribute it freely, subject to the following restrictions:

1. The origin of this software must not be misrepresented; you must not claim that you wrote the original software. If you use this software in a product, an acknowledgment in the product documentation would be appreciated but is not required.
2. Altered source versions must be plainly marked as such, and must not be misrepresented as being the original software.
3. This notice may not be removed or altered from any source distribution.

Jean-loup Gailly Mark Adlerjloup@gzip.org madler@alumni.caltech.edu

■ Net-SNMP License

Boost Software License - Version 1.0 - August 17th, 2003

Permission is hereby granted, free of charge, to any person or organization obtaining a copy of the software and accompanying documentation covered by this license (the "Software") to use, reproduce, display, distribute, execute, and transmit the Software, and to prepare derivative works of the Software, and to permit third-parties to whom the Software is furnished to do so, all subject to the following:

The copyright notices in the Software and this entire statement, including the above license grant, this restriction and the following disclaimer, must be included in all copies of the Software, in whole or in part, and all derivative works of the Software, unless such copies or derivative works are solely in the form of machine-executable object code generated by a source language processor.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, TITLE AND NON-INFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDERS OR ANYONE DISTRIBUTING THE SOFTWARE BE LIABLE FOR ANY DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

■ The OpenLDAP Public License

Version 2.8, 17 August 2003

Redistribution and use of this software and associated documentation ("Software"), with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions in source form must retain copyright statements and notices,
2. Redistributions in binary form must reproduce applicable copyright statements and notices, this list of conditions, and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution, and
3. Redistributions must contain a verbatim copy of this document.

The OpenLDAP Foundation may revise this license from time to time. Each revision is distinguished by a version number. You may use this Software under terms of this license revision or under the terms of any subsequent revision of the license.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OPENLDAP FOUNDATION AND ITS CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OPENLDAP FOUNDATION, ITS CONTRIBUTORS, OR THE AUTHOR(S) OR OWNER(S) OF THE SOFTWARE BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS

OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The names of the authors and copyright holders must not be used in advertising or otherwise to promote the sale, use or other dealing in this Software without specific, written prior permission. Title to copyright in this Software shall at all times remain with copyright holders.

OpenLDAP is a registered trademark of the OpenLDAP Foundation.

Copyright 1999-2003 The OpenLDAP Foundation, Redwood City, California, USA. All Rights Reserved. Permission to copy and distribute verbatim copies of this document is granted.

■ Freeware Public License - Version 1.0

1. Definitions.

- 1.1. "Contributor" means each entity that creates or contributes to the creation of Modifications.
- 1.2. "Contributor Version" means the combination of the Original Code, prior Modifications used by a Contributor, and the Modifications made by that particular Contributor.
- 1.3. "Covered Code" means the Original Code or Modifications or the combination of the Original Code and Modifications, in each case including portions thereof.
- 1.4. "Electronic Distribution Mechanism" means a mechanism generally accepted in the software development community for the electronic transfer of data.
- 1.5. "Executable" means Covered Code in any form other than Source Code.
- 1.6. "Initial Developer" means the individual or entity identified as the Initial Developer in the Source Code notice required by Exhibit A.
- 1.7. "Larger Work" means a work which combines Covered Code or portions thereof with code not governed by the terms of this License.
- 1.8. "License" means this document.
- 1.9. "Modifications" means any addition to or deletion from the substance or structure of either the Original Code or any previous Modifications. When Covered Code is released as a series of files, a Modification is:
 - A. Any addition to or deletion from the contents of a file containing Original Code or previous Modifications.
 - B. Any new file that contains any part of the Original Code or previous Modifications.
- 1.10. "Original Code" means Source Code of computer software code which is described in the Source Code notice required by Exhibit A as Original Code, and which, at the time of its release under this License is not already Covered Code governed by this License.
- 1.11. "Source Code" means the preferred form of the Covered Code for making modifications to it, including all modules it contains, plus any associated

interface definition files, scripts used to control compilation and installation of an Executable, or a list of source code differential comparisons against either the Original Code or another well known, available Covered Code of the Contributor's choice. The Source Code can be in a compressed or archival form, provided the appropriate decompression or de-archiving software is widely available for no charge.

1.12. "You" means an individual or a legal entity exercising rights under, and complying with all of the terms of, this License or a future version of this License issued under Section 6.1. For legal entities, "You" includes any entity which controls, is controlled by, or is under common control with You. For purposes of this definition, "control" means (a) the power, direct or indirect, to cause the direction or management of such entity, whether by contract or otherwise, or (b) ownership of fifty percent (50%) or more of the outstanding shares or beneficial ownership of such entity.

2. Source Code License.

2.1. The Initial Developer Grant.

The Initial Developer hereby grants You a world-wide, royalty-free, non-exclusive license, subject to third party intellectual property claims:

(a) to use, reproduce, modify, display, perform, sublicense and distribute the Original Code (or portions thereof) with or without Modifications, or as part of a Larger Work; and

(b) under patents now or hereafter owned or controlled by Initial Developer, to make, have made, use and sell ("Utilize") the Original Code (or portions thereof), but solely to the extent that

any such patent is reasonably necessary to enable You to Utilize the Original Code (or portions thereof) and not to any greater extent that may be necessary to Utilize further Modifications or combinations.

2.2. Contributor Grant.

Each Contributor hereby grants You a world-wide, royalty-free, non-exclusive license, subject to third party intellectual property claims:

(a) to use, reproduce, modify, display, perform, sublicense and distribute the Modifications created by such Contributor (or portions thereof) either on an unmodified basis, with other Modifications, as Covered Code or as part of a Larger Work; and

(b) under patents now or hereafter owned or controlled by Contributor, to Utilize the Contributor Version (or portions thereof), but solely to the extent that any such patent is reasonably necessary to enable You to Utilize the Contributor Version (or portions thereof), and not to any greater extent that may be necessary to Utilize further Modifications or combinations.

3. Distribution Obligations.

3.1. Application of License.

The Modifications which You create or to which You contribute are governed by the terms of this License, including without limitation Section 2.2. The Source Code version of Covered Code may be distributed only under the terms of this License or a future version of this License released under Section 6.1, and You must include a copy of this License with every copy of the Source Code You distribute. You may

not offer or impose any terms on any Source Code version that alters or restricts the applicable version of this License or the recipients' rights hereunder. However, You may include an additional document offering the additional rights described in Section 3.5.

3.2. Availability of Source Code.

Any Modification which You create or to which You contribute must be made available in Source Code form under the terms of this License either on the same media as an Executable version or via an accepted Electronic Distribution Mechanism to anyone to whom you made an Executable version available; and if made available via Electronic Distribution Mechanism, must remain available for at least twelve (12) months after the date it initially became available, or at least six (6) months after a subsequent version of that particular Modification has been made available to such recipients. You are responsible for ensuring that the Source Code version remains available even if the Electronic Distribution Mechanism is maintained by a third party.

3.3. Description of Modifications.

You must cause all Covered Code to which you contribute to contain a file documenting the changes You made to create that Covered Code and the date of any change. You must include a prominent statement that the Modification is derived, directly or indirectly, from Original Code provided by the Initial Developer and including the name of the Initial Developer in (a) the Source Code, and (b) in any notice in an Executable version or related documentation in which You describe the origin or ownership of the Covered Code.

3.4. Intellectual Property Matters

(a) Third Party Claims.

If You have knowledge that a party claims an intellectual property right in particular functionality or code (or its utilization under this License), you must include a text file with the source code distribution titled "LEGAL" which describes the claim and the party making the claim in sufficient detail that a recipient will know whom to contact. If you obtain such knowledge after You make Your Modification available as described in Section 3.2, You shall promptly modify the LEGAL file in all copies You make

available thereafter and shall take other steps (such as notifying appropriate mailing lists or newsgroups) reasonably calculated to inform those who received the Covered Code that new knowledge has been obtained.

(b) Contributor APIs.

If Your Modification is an application programming interface and You own or control patents which are reasonably necessary to implement that API, you must also include this information in the LEGAL file.

3.5. Required Notices.

You must duplicate the notice in Exhibit A in each file of the Source Code, and this License in any documentation for the Source Code, where You describe recipients' rights relating to Covered Code. If You created one or more Modification(s), You may add your name as a Contributor to the notice described in Exhibit A. If it is not possible to put such notice in a particular Source Code file due to its structure, then you must include such notice in a location (such as a relevant

directory file) where a user would be likely to look for such a notice. You may choose to offer, and to charge a fee for, warranty, support, indemnity or liability obligations to one or more recipients of Covered Code. However, You may do so only on Your own behalf, and not on behalf of the Initial Developer or any Contributor. You must make it absolutely clear that any such warranty, support, indemnity or liability obligation is offered by You alone, and You hereby agree to indemnify the Initial Developer and every Contributor for any liability incurred by the Initial Developer or such Contributor as a result of warranty, support, indemnity or liability terms You offer.

3.6. Distribution of Executable Versions.

You may distribute Covered Code in Executable form only if the requirements of Section 3.1-3.5 have been met for that Covered Code, and if You include a notice stating that the Source Code version of the Covered Code is available under the terms of this License, including a description of how and where You have fulfilled the obligations of Section 3.2. The notice must be conspicuously included in any notice in an Executable version, related documentation or collateral in which You describe recipients' rights relating to the Covered Code. You may distribute the Executable version of Covered Code under a license of Your choice, which may contain terms different from this License, provided that You are in compliance with the terms of this License and that the license for the Executable version does not attempt to limit or alter the recipient's rights in the Source Code version from the rights set forth in this License. If You distribute the Executable version under a different license You must make it absolutely clear that any terms which differ from this License are offered by You alone, not by the Initial Developer or any Contributor. You hereby agree to indemnify the Initial Developer and every Contributor for any liability incurred by the Initial Developer or such Contributor as a result of any such terms You offer.

3.7. Larger Works.

You may create a Larger Work by combining Covered Code with other code not governed by the terms of this License and distribute the Larger Work as a single product. In such a case, You must make sure the requirements of this License are fulfilled for the Covered Code.

4. Inability to Comply Due to Statute or Regulation.

If it is impossible for You to comply with any of the terms of this License with respect to some or all of the Covered Code due to statute or regulation then You must: (a) comply with the terms of this License to the maximum extent possible; and (b) describe the limitations and the code they affect. Such description must be included in the LEGAL file described in Section 3.4 and must be included with all distributions of the Source Code. Except to the extent prohibited by statute or regulation, such description must be sufficiently detailed for a recipient of ordinary skill to be able to understand it.

5. Application of this License.

This License applies to code to which the Initial Developer has attached the notice in Exhibit A, and to related Covered Code.

6. Versions of the License.

6.1. New Versions.

Floris van den Berg may publish revised and/or new versions of the License from time to time. Each version will be given a distinguishing version number.

6.2. Effect of New Versions.

Once Covered Code has been published under a particular version of the License, You may always continue to use it under the terms of that version. You may also choose to use such Covered Code under the terms of any subsequent version of the License published by Floris van den Berg. No one other than Floris van den Berg has the right to modify the terms applicable to Covered Code created under this License.

6.3. Derivative Works.

If you create or use a modified version of this License (which you may only do in order to apply it to code which is not already Covered Code governed by this License), you must (a) rename Your license so that the phrases “Freelimage”, “Freelimage Public License”, “FIPL”, or any confusingly similar phrase do not appear anywhere in your license and (b) otherwise make it clear that your version of the license contains terms which differ from the Freelimage Public License. (Filling in the name of the Initial Developer, Original Code or Contributor in the notice described in Exhibit A shall not of themselves be deemed to be modifications of this License.)

7. DISCLAIMER OF WARRANTY.

COVERED CODE IS PROVIDED UNDER THIS LICENSE ON AN “AS IS” BASIS, WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, WARRANTIES THAT THE COVERED CODE IS FREE OF DEFECTS, MERCHANTABLE, FIT FOR A PARTICULAR PURPOSE OR NON-INFRINGEMENT. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE COVERED CODE IS WITH YOU. SHOULD ANY COVERED CODE PROVE DEFECTIVE IN ANY RESPECT, YOU (NOT THE INITIAL DEVELOPER OR ANY OTHER CONTRIBUTOR) ASSUME THE COST OF ANY NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION. THIS DISCLAIMER OF WARRANTY CONSTITUTES AN ESSENTIAL PART OF THIS LICENSE. NO USE OF ANY COVERED CODE IS AUTHORIZED HEREUNDER EXCEPT UNDER THIS DISCLAIMER.

8. TERMINATION.

This License and the rights granted hereunder will terminate automatically if You fail to comply with terms herein and fail to cure such breach within 30 days of becoming aware of the breach. All sublicenses to the Covered Code which are properly granted shall survive any termination of this License. Provisions which, by their nature, must remain in effect beyond the termination of this License shall survive.

9. LIMITATION OF LIABILITY.

UNDER NO CIRCUMSTANCES AND UNDER NO LEGAL THEORY, WHETHER TORT (INCLUDING NEGLIGENCE), CONTRACT, OR OTHERWISE, SHALL THE INITIAL DEVELOPER, ANY OTHER CONTRIBUTOR, OR ANY DISTRIBUTOR OF COVERED CODE, OR ANY SUPPLIER OF ANY OF SUCH PARTIES, BE LIABLE TO YOU OR ANY OTHER PERSON FOR ANY INDIRECT, SPECIAL, INCIDENTAL, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OF ANY CHARACTER INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, DAMAGES FOR

LOSS OF GOODWILL, WORK STOPPAGE, COMPUTER FAILURE OR MALFUNCTION, OR ANY AND ALL OTHER COMMERCIAL DAMAGES OR LOSSES, EVEN IF SUCH PARTY SHALL HAVE BEEN INFORMED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES. THIS LIMITATION OF LIABILITY SHALL NOT APPLY TO LIABILITY FOR DEATH OR PERSONAL INJURY RESULTING FROM SUCH PARTY'S NEGLIGENCE TO THE EXTENT APPLICABLE LAW PROHIBITS SUCH LIMITATION. SOME JURISDICTIONS DO NOT ALLOW THE EXCLUSION OR LIMITATION OF INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES, SO THAT EXCLUSION AND LIMITATION MAY NOT APPLY TO YOU.

10. U.S. GOVERNMENT END USERS.

The Covered Code is a "commercial item," as that term is defined in 48 C.F.R. 2.101 (Oct. 1995), consisting of "commercial computer software" and "commercial computer software documentation," as such terms are used in 48 C.F.R. 12.212 (Sept. 1995). Consistent with 48 C.F.R. 12.212 and 48 C.F.R. 227.7202-1 through 227.7202-4 (June 1995), all U.S. Government End Users acquire Covered Code with only those rights set forth herein.

11. MISCELLANEOUS.

This License represents the complete agreement concerning subject matter hereof. If any provision of this License is held to be unenforceable, such provision shall be reformed only to the extent necessary to make it enforceable. This License shall be governed by Dutch law provisions (except to the extent applicable law, if any, provides otherwise), excluding its conflict-of-law provisions. With respect to disputes in which at least one party is a citizen of, or an entity chartered or registered to do business in, the The Netherlands: (a) unless otherwise agreed in writing, all disputes relating to this License (excepting any dispute relating to intellectual property rights) shall be subject to final and binding arbitration, with the losing party paying all costs of arbitration; (b) any arbitration relating to this Agreement shall be held in Almelo, The Netherlands; and (c) any litigation relating to this Agreement shall be subject to the jurisdiction of the court of Almelo, The Netherlands with the losing party responsible for costs, including without limitation, court costs and reasonable attorneys fees and expenses. Any law or regulation which provides that the language of a contract shall be construed against the drafter shall not apply to this License.

12. RESPONSIBILITY FOR CLAIMS.

Except in cases where another Contributor has failed to comply with Section 3.4, You are responsible for damages arising, directly or indirectly, out of Your utilization of rights under this License, based on the number of copies of Covered Code you made available, the revenues you received from utilizing such rights, and other relevant factors. You agree to work with affected parties to distribute responsibility on an equitable basis.

EXHIBIT A.

"The contents of this file are subject to the Freemage Public License Version 1.0 (the "License"); you may not use this file except in compliance with the License. You may obtain a copy of the License at <http://home.wxs.nl/~flvdberg/freemage-license.txt>

Software distributed under the License is distributed on an “AS IS” basis, WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, either express or implied. See the License for the specific language governing rights and limitations under the License.

■ LibTIFF License

Copyright (C) 1988-1997 Sam Leffler

Copyright (C) 1991-1997 Silicon Graphics, Inc.

Permission to use, copy, modify, distribute, and sell this software and its documentation for any purpose is hereby granted without fee, provided that (i) the above copyright notices and this permission notice appear in all copies of the software and related documentation, and (ii) the names of Sam Leffler and Silicon Graphics may not be used in any advertising or publicity relating to the software without the specific, prior written permission of Sam Leffler and Silicon Graphics.

THE SOFTWARE IS PROVIDED “AS-IS” AND WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS, IMPLIED OR OTHERWISE, INCLUDING WITHOUT LIMITATION, ANY WARRANTY OF MERCHANTABILITY OR FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE.

IN NO EVENT SHALL SAM LEFFLER OR SILICON GRAPHICS BE LIABLE FOR ANY SPECIAL, INCIDENTAL, INDIRECT OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OF ANY KIND, OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER OR NOT ADVISED OF THE POSSIBILITY OF DAMAGE, AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.

■ Boost Software License

Boost Software License - Version 1.0 - August 17th, 2003

Permission is hereby granted, free of charge, to any person or organization obtaining a copy of the software and accompanying documentation covered by this license (the “Software”) to use, reproduce, display, distribute, execute, and transmit the Software, and to prepare derivative works of the Software, and to permit third-parties to whom the Software is furnished to do so, all subject to the following:

The copyright notices in the Software and this entire statement, including the above license grant, this restriction and the following disclaimer, must be included in all copies of the Software, in whole or in part, and all derivative works of the Software, unless such copies or derivative works are solely in the form of machine-executable object code generated by a source language processor.

THE SOFTWARE IS PROVIDED “AS IS”, WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, TITLE AND NON-INFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDERS OR ANYONE DISTRIBUTING THE SOFTWARE BE LIABLE FOR ANY DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

■ The Independent JPEG Group’s JPEG software

This software is based in part on the work of the Independent JPEG Group.

■ Cyrus SASL License

This product includes software developed by Computing Services at Carnegie Mellon University (<http://www.cmu.edu/computing/>).

The Independent JPEG Group’s JPEG software

This software is based in part on the work of the Independent JPEG Group.

環境対応などについて

■ 国際エネルギースタープログラムについて

当社は、国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

国際エネルギースタープログラムは、省エネルギー化推進の国際プログラムです。このプログラムは、“エネルギーを必要なときに効率よく使う”という省エネルギーの観点から、長時間電源を入れた状態になっていることが多いオフィス機器の消費電力の削減を目的としたもので、事業者の自主判断により参加することができる任意制度となっています。



■ エコマークについて

本製品はエコマーク認定商品です。



■ 物質エミッションに関する認定基準について

粉じん、オゾン、スチレン、ベンゼンおよび TVOC の放散については、エコマーク No.117 「複写機 Version 2」の物質エミッションの放散速度に関する認定基準を満たしています。

(トナーは本製品用に推奨していますナーカートリッジを使用し、白黒複写を行った場合について、試験方法：RAL-UZ122：2009 の付録 2 に基づき試験を実施しました。)

■ 電波障害規制について

この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者は適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

■ 高調波の抑制について

本製品は、JIS C 61000-3-2 電源高調波規格に適合しています。

■ FASEC 機能について

この製品には、FASEC 機能（セキュリティー機能）が搭載されています。
FASEC（ファセック）とは、情報通信ネットワーク産業協会が制定した、FAX セキュリティーガイドラインに準拠したファクシミリ・複合機の呼称です。



お問い合わせ窓口

■ 製品の仕様・取扱方法やアフターサービスに関するご相談

インフォメーションセンター

0120-610-917

※電話番号をお確かめのうえ、お間違えにならないようお願いいたします。

●受付時間 月～土曜日（日曜日・祝日を除く）

平日 9:00～18:00 土曜日 9:00～17:00

■ 消耗品のご注文・お問い合わせ

消耗品受付窓口

0120-176-109

※電話番号をお確かめのうえ、お間違えにならないようお願いいたします。

●受付時間 月～土曜日（日曜日・祝日を除く）

平日 9:00～18:00 土曜日 9:00～17:00

ホームページ <http://www.muratec.jp/ce/>

●この取扱説明書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。